

第六十九回帝國議會
衆議院

臺灣拓殖株式會社法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

臺灣拓殖株式會社法案(政府提出)
臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十一年五月十五日(金曜日)午前九時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君

理事眞鍋 勝君 理事木下 信君

理事川島正次郎君

栗山 博君 松尾 四郎君

中村不二男君 中村 又一君

佐藤洋之助君 東條 貞君

宮古啓三郎君 肥田 琢司君

片山秀太郎君 東郷 實君

岡 幸三郎君 井阪 豐光君

鈴木 文治君

出席國務大臣左ノ如シ

拓務大臣 永田秀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

拓務政務次官男爵 稻田 昌植君

拓務參與官 林 路一君

拓務省管理局長 萩原 彦三君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

拓務省拓務局長 高山 三平君

拓務書記官 小河 正儀君

拓務書記官 副島 勝君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

臺灣總督府財務局長 平塚 廣義君

臺灣總督府財務局長 嶺田 丘造君

樺太廳長官 今村 武志君

南洋廳長官 林 壽夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臺灣拓殖株式會社法案(政府提出)

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

○櫻井委員長 ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シ

マス、私設鐵道法中改正法律案ノ質疑ハ、マダ終了致シテ居リマセヌガ、其方ハ暫ク

留保ヲ致シテ置キマシテ、今日ハ臺灣拓殖株式會社ノ法案ノ質疑ニ入りタイト思ヒマ

ス、通告順ニ依リマシテ、發議ヲ許シマ

ス——中村不二男君

○中村(不)委員 臺灣ノ拓殖株式會社ト、ソレカラ南洋拓殖株式會社ト、同時ニ二會社

ノ設立ノ御趣意デアリマスガ、事業ニ於テ大體同一ノ種類ニナツテ居リマス、是ハドウ

ヤウナ所ニ同時ニ設立セラレルノデアリマスカ

○永田國務大臣 是ハ御尤ナ御尋デ、實ハ

南洋拓殖ト臺灣拓殖、是ハヤハリ南洋ヲ目標ニシテ居ルノダカラ、一ツノモノデモ宜

クハナイカト云フヤウナ御疑念ノ起ルコトハ御尤ニ考ヘマス、唯ソレハ自然會社ノ成

立チガ違フノト、地域ガ自ラ違フ關係上一緒ニハシ惡イノデアリマシテ、臺灣拓殖ノ

方ハ御承知ノ臺灣ノ土地ヲ一千五百万圓程ニ相當スルモノヲ提供シテ、サウシテ臺灣

ヲ本位ニシテ南支、南洋ニ仕事スルト云フノデアリマス、又南洋拓殖ノ方ハ、是ハ

南洋ノ燐礦ニ出資シテ、サウシテ會社ノ基礎ヲ固メテ、ソレニ依ツテ南洋ノ水産業ヲ主

ニスルコトト、海運ノコトヲ主ニスルト云フノデアリマシテ、拓殖ト云フヨリハ植民

スルト云フコトハ極ク二ノ次デアッテ、主トシテ水産業、ソレカラ海運業ト云フヤウナ

コトニナツテ居リマス、其地域ハ交通ノ關係上自ラ地域ガ分レルノデ、南洋拓殖ノ方ハ

委任統治ノ「マリヤナ」「マーシャル」「カロリン」ノ群島ト、南洋方面ニ掛ケテハ「セ

レベス」カラ「ニューギニア」ノ方面、ソレカラ濠太刺利「ニュージラント」アタリ迄進

ンデ行クト云フヤウナ、サウ云フ方面ニナツテ居リマス、臺灣拓殖ノ方ハ蘭領印度、主

トシテ「ボルネオ」カラ「スマトラ」「ジャワ」先ヅアア云フ方面ガ自然ノ交通上、一番臺

灣ヲ中心トシテ考ヘルノニ都合ガ好イノデアリマシテ、交通ノ關係等カラ自ラ地域ガ

分レテ居ル、南洋ト云ツテモ非常ニ廣イモノデアリマスカラ、海運ノ都合上自ラ分レテ

居リマスカラ、出資ノ際、ソレカラ地域モ自ラ區劃サレル、斯ウ云ツタヤウナ關係上、

二ツニ分ツコトガ便利デアルカラ、之ヲ合一ニスルト云フコトハ一寸出來兼ネルノ

デ、ソナヤウナ都合ニナツテ居リマス

○中村(不)委員 臺灣拓殖ハ——南洋ノ方モサウデアリマスガ、結局南ノ方ニ對スル

日本ノ國策ノ進展ヲ、更ニ強化セシメラレルト云フ御方針ノヤウデスガ、最近南進政

策ト云ウヤウナモノガ能ク世間ニ述ベラレテ居リマス、ソレニ關聯致シマシテ海軍ノ

方ノ御方針モ、ソコニアルコトト思フノデアリマス、其事實ハ私共能ク分リマセヌガ、

兎ニ角政府トシテモ更ニ南ノ方ノ經營ニ對シテ、事實上相當ナカラ伸シテ行カレル、其中心ヲ成スモノガ臺灣總督府デア、現在ノ總督府ノ力ト申シマス、ソレニ不足ヲ感ズル、色々ナ點ニ於テ不都合ヲ感ズル、其爲ニ臺灣總督府ノ制度ハ其儘デアリマセウガ、實質上ニ於テ武官ノ總督ヲ任用スル、斯ウ云フコトガ盛ニ世間ニ傳ハツテ居ルノデアリマスガ、其點ニ付テ何カ御考ガアルノデアリマセウカ

○永田國務大臣 臺灣總督ノ地位ト云フモノハ異民族統治ノ關係上、十分ノ威嚴ヲ保チ、一種ノ重望ヲ負フ所ノ人デナクテハナラヌコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、サウ云フヤウナ關係ガゴザイマスガ、併シサウ云フコトハ武官デナクテハイカヌ、文官デナクテハイカヌト區別ヲスル必要ハドウモナイノデ、ヤハリ何トシテモ人間、人次第デゴザイマスカラ、將來ニ於テ臺灣總督ノ地位ヲ高メルト云フヤウナコトニ付テハ、ソレハドウ云フ風ニシテ高メルカト云フコトハ、今具體的ニ考ヘテ居リマセヌケレドモ、重ク視ルト云フコトニ付テハ、私ナドハ非常ニ必要ナコトデア、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレデ武官文官——武官ニナツタカラ重ク視ルト云フコトハ決シテナイト

思フノデ、文官デアツテモ武官デアツテモ重ク視ルト云フコトハ視ルノデアツテ、是ハ本會議ノ時ニモ、文武兩方面ノ適材ヲ求メルヨリ外ナイト、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアツテ、此心持ハ朝鮮ニ對シテモ同ジ考ヲ私トシテハ持ツテ居リマス、朝鮮總督ト云フモノハ武官ニ限ルトカ、文官ニ限ルトカ云フヤウナコトハナイ筈デ、ヤハリ其時ノ情勢ヲ見テ、適材ヲ其處ニ置クト云フコトニ付テハ、文武兩方面カラ採ルノガ然ルベキコトデア、但シ臺灣總督ニ付テハ現役ノ人ガナルト云フ場合ニハ、司令官ヲ兼ネルコトヲ得ト云フヤウナ、何カサウ云フ規定ハアルノデアリマスガ、現役ノ軍人ヲ使フト云フヤウナ意味ノコトハ考ヘテ見ナイノデアリマス、併シサウ云フコトモ唯大キイ將來ノコトニ付テ申シタコトデアリマシテ、現在何モ文武官ノコトヲドチラガ善イ惡イト云ツタヤウナコトヲ、故ラニ今考ヘテ居ルノデヤゴザイマセヌ、デスカラ唯御尋ニ依ツテ、ドチラカラ將來採ルノダト云ツタヤウナコトガゴザイマシタカラ、文武兩方面ノ中ノ適材ヲ得ルト、斯ウ申上ゲタノニ過ギナイノデアリマス

○中村(不)委員 臺灣總督ノ職責ノ上カラ特ニ威嚴ヲ保チ、重望ヲ負フ、サウ云フコトガ必要デア、勿論當然ノ事デアリマス、唯世間デハ今日ノ國策上ノ要求モアリマセウガ、何トナク現在ノ臺灣總督府ノ幹部ノ組織ニ於テ、拓務大臣ノ要求セラルル威嚴ヲ保チ、重望ヲ負フト云フ點ニ付テ、甚ダ缺陷ガアルノデヤナイカ、左様ナ事ガ、自ラ一般ノ氣持ノ中ニ動イテ、現役デハアリマスマイガ、兎ニ角軍人ヲ總督トシテ用ヒラルルノデア、ト云フコトガ傳ツタ一ツノ原因デハナイカト思フノデアリマス、殊ニ拓殖會社ダケカラ申上ゲマシテモ、半官半民ノ事業會社デアリマスカラ、種々ノ利權ガ件ヲ問題デアリマシテ、總督ノ地位ハ、或ハ總督府ノ幹部ノ地位ト云フモノハ、此會社ニ對シテ非常ニ重大ナル地位ニアリマス、或ハ社長ヲ任命セラルル場合ニ致シマシテモ、其他事業ノ監督ヲサレルノデアリマス、從來必シモ臺灣ニ限リマセヌガ、殊ニ臺灣ニ於テハ色々網紀ノ上ニ於テ、風紀ノ上ニ於テ種々ノ批評ガ世ノ中ニ流レテ居リマス、拓務大臣ハ結局總督ハ人次第デア、更ニ總督ヲ重ク視ル必要ガアルト云フコトヲ仰セラレルノデアリマスガ、現狀ニ即シテ、今ノ臺灣總督府ノ幹部ノ人、其者ヲ御覽ニナツタ時ニ、今斯様ナ事業ヲ或ハ計畫セラレ、或ハ日本ノ南進ト

申シマス、南ノ方ニ對シテ更ニ日本ノ國策ノ進展ヲ期セラレルニ付テ、現在ノ幹部組織ニ對シテ、何等カ不滿ヲ感ジテ居ラルコトハナイカ、何等カ之ヲ改善シ、強化スルコトガ必要ダト云フヤウナコトヲ、御認ニナツテ居ナイカ、少シ突入ツタコトヲ申上ゲルヤウデアリマスケレドモ、其邊ノ心持ガ多少動イテ居ルノデハナイカ、世間ニ現役ノ武官デヤナイヤウデスガ、總督武官制ノ說ノ起リマスルノモ、サウ云フ要求ガ自ラノ間ニアルノデハナイカ、其邊ニ付テノ御考ガアリマスナラバ、承リタイト思ヒマス

○永田國務大臣 サウ云フ人事問題ニ付テ、殊ニ親任官ノ地位ヲ持ツテ居ル人ノ人事問題ニ付テハ、容易ニ兎角ノ言辭ヲ爲スベキモノデヤナイト心得マス、又特ニ異民族統治ト云フヤウナ場合ニ、其地位ニ現在居ル人ニ對シテ、中央ノ者ノ信賴如何ト云ツタヤウナコトヲ云々セシムルヤウナコトハ、統治上非常ニ有害ナモノデア、ト考ヘマス、ソレデ如何ナル場合デモ、其職ニ居ル人ニ對シテハ、十分其職ニ居ル間、其職責ヲ盡シ得ルヤウニ、コチラカラ仕向ケテ行カナクテヤナラスモノデアリマシテ、苟且ニモ現在其職ニ居ル人ヲシテ、仕事ヲシ惡

クセシメルト云フヤウナコトガアリマシテハ、ソレハ日本民族トシテ、異民族統治ニ對スル能力ナシト云フコトニナルト考ヘルノデ、斯ウ云フ點ニ付テハ特ニ慎重ニ考慮シテ行カナクテハナラヌト思ヒマスカラ、人事ノ事ニ關スル限リハ、斯ウ云フ席上デ色々御質問下サルコトハ、洵ニ迷惑ニ存ズルノデアリマス、何等申上ゲルコトハゴザイマセヌ、苟モ其職ニ居ル人ニ對シテハ、絶對ニ信賴ヲ致シマス、其點ハ成ダケ……

○中村(不)委員 人事ニ付テ色々申上ゲルコトハ御迷惑デアリマセウ、ソレカラ異民族ヲ統治シ、新附ノ民ニ信賴ヲ深カラシメテ置カナケレバナラヌコトモ、御同感デアリマス、併ナガラソレガ爲ニ私共ガ申上ゲルコトヲ憚リ、人其處ヲ得ナイガ爲ニ、統治ノ上ニ重大ナル惡影響ヲ及ボス、却テモノヲ曖昧ノ裡ニ葬リマスルガ爲ニ、新附ノ民ノ統治セラルル異民族ノ信賴ヲ失墜スルト云フコトニナリマスレバ、考究スベキ事ハ考究シテ、最善ノ處置ヲ執ルト云フコトガ私ハ當然ト思フ、御迷惑カモ知レマセヌ、私共ハ餘リ多クハ申上ゲタクハアリマセヌガ、私ハ申上ゲナケレバナラヌ事ガアル、此非常ニ重大ナ際ニ於テ、總督府ノ風紀ト云フモノハ、近來頗ル紊亂致シテ居ル、統

治スベキ異民族ニ對シテ信賴ヲ保タナケレバナラヌ總督府ノ内部ニ於テ、自ラ信賴ヲ失墜スルガ如キ行爲ガアリ、言動ガ確ニアツタ、是ハ或ハ極ク輕イ適切デナイ例カモ知レマセヌケレドモ、先年昭和七年ノ頃デアツタト思ヒマス、世間ノ一部ニ可ナリ強ク流布サレタ、而モ其出所ハ總督府ノ内部ニアルト信ゼラレル、所謂祝盆問題ト云フモノガアル、ソレハ茲ニ前長官デ關係アリトセラレタ木下氏ヲ前ニシテ申上ゲルノハ、御氣ノ毒カモ知レマセヌガ、其當時ノ總督、或ハ木下長官ガ職ヲ辭セラレテ其後任者ガ就任セラレタ其直後デアリマス、祝盆事件ナルモノガ盛ニ喧傳セラレタ、總督府アタリカラ發セラレタト思フヤウナ電報ガ大分内地ニ飛ンダ、新聞アタリニ色々ノ材料ガ大分提供セラレタ、ソレハ何カト申シマス、昭和七年ノ一月デアリマスガ、櫻田門事件ガ起リマシテ、其實ヲ負ウテ内閣ハ辭職致シタ、當時ノ内閣ハ政友會デアッタ、前ノ總督長官ハ民政黨内閣ノ時代ニ任命セラレテ居ル、而シテ更迭セラレタノデアリマスガ、職ヲ去ッタ人ヲ尙ホ傷ケントスル意思ヲ以テカドウカハ私ニハ分リマセヌガ、櫻田門事件ノ報導ガ臺灣ニ傳ツテ、洵ニ不祥事件デアアル、全國民恐懼謹慎シテ居ル

際ニ當ツテ、總督府官邸ニ於テ總督以下ノ高官連ガ、政友會内閣ノ倒壊ト云フコトヲ喜ブ爲ニ祝盆ヲ舉ゲタ、斯ウ云フ事ガ總督府内部カラ傳ヘラレタ、可ナリ世間ノ問題ト相成ツテ、而モソレガ事實デアツタカドウカ、其後ノ南總督ノ時代ニ政府ノ方カラ總督府ニ對シテ、其真相ヲ調査報告ヲ求メラレタ、今ノ平塚長官ハ當時カラノ長官デアリマシタガ、其取調ベタ報告ハ頗ル曖昧ナモノデアアル、如何ニモ左様ナ事件ガナカッタカノ如キ内容デアツタト私ハ承ツテ居リマス、世間ニハ其報告ノ傳ヘラレタ結果トシテ、更ニ疑雲ガ捲起リマシタ、更ニ總督ガ更迭サレマシテ、現總督時代トナツテ又調査報告ヲ求メラレタ、寧ロ調査報告ノ責任ヲ執ラレル平塚長官ハ、前ノ南總督時代ノ長官トシテ居坐ツテ居ラレル、其後ノ調査報告ニ於テハ、明ニ其事實ガアツタト云フコトガ明瞭ニナツテ居ル、前ノ調査ハ何故ニソナ粗漏ナモノデアツタカ、其調査報告ヲ求メラレナケレバナラヌヤウナ事柄ガ流布サレタノハ何ノ爲メデアルカ、總督府ノ幹部其人ヲ得ナイガ爲ニ、斯様ナ不都合ナ行爲ガ前任者タリト雖モアツタト云フコトガ世間ニ傳ヘラレタ、サウ云フヤウナ總督府ノ内部ノ人事組織デアツテ、ソレデ拓務大臣ノ要求セラレ

ルヤウナ異民族ノ統治ニ對スル信賴、信望ト云フモノヲ繋グコトガ出來ルカ、近頃總督府ノ幹部ニ對スル廳ノ内外ノ信賴ト云フモノハ頗ル失墜致シテ居リマス、私ハ斯様ナコトハ餘リ申上ゲタクナイノデアリマスルガ、拓務大臣ガ御迷惑ト仰シヤルカ知レマセヌガ、私ハ言ツテ寧ロ本ヲ淨メタ方ガ、却ツテ大臣ノ御迷惑ヲ一掃スル所以デアルト存ジマスカラ、率直ニ申上ゲマス、一言ニシテ申セバ總督府ノ上層幹部ノ中ニ於テ、頗ル風紀ガ頹廢シテ居ル、總督府ノ内部ニ於テ事實トシテ信ジラレ、而シテ他ノ色々ノ方面ニ是ガ正確ナル事實トシテ傳ヘラレテ居リマスル一二ノ實例デアリマス、人ハ申シマセヌ總督府ノ重要ナル幹部ガ、去ル頃皇族 殿下ガ臺灣ニ御出デニナツテ、草山トカ云フ溫泉ニ御宿泊ナサレ、扈從シ奉ル御警衛ノ重責ノアル總督府ノ高官ハ、草山溫泉ニアリマス所ノ何カ俱樂部ニ宿泊スルノガ普通デアアルノデアリマスガ、特ニ附近ノ總督府經營デアリマセウ林間學校ニ宿ラレテ、洵ニ不愉快ナコトデアリマスガ非常ニ其處ニ於テ醜態ガ演ゼラレタ、其學校ニ勤メテ居リマスル女ノ事務員トノ間ニ、何等カノ交渉ガアツタ、ソレガ段々總督府關係等ニ於テ事實ガ蔽フベカラザルモノ

トナッテ、其間ニ於テ奇怪ニモ其婦人ガ臺灣總督府ノ調査課デアリマスルガ、其不愉快ナル關係ノアルト言ハレタ人ノ膝下ニ轉動セシメラレテ居ル、事態ハ隠レモナイコトトシテ、總督府ノ内部デ盛シニ喧傳セラレタ、左様ナ婦人ヲ課員ニ迎ヘタノデ、他ノ官吏ナドハ非常ニ憤慨シテ、寧ロ事態ヲ明ニシテ肅正スルガ宜シイ、斯様ナ氣持ヲ持ッテ居ルコトヲ察知シタ結果、是ハ果シテ事實デアルカ私ハ直接耳ニシタノデハアリマセヌガ、私ノ傳聞——寧ロ確聞シタ所ニ依ッテ信ジマスレバ、此婦人ノ事務員ヲ情實のニ總督府ニ入レマシタコトニ付テ、特ニ憤慨ノ極ニアッタ官吏ヲ撫メル爲ニ、世間ニ其醜聞ノ暴露ヲ恐レル爲ニ、窃ニ之ヲ擁シテ或ハ總督府ニ於テノ相當ノ地位ヲ、希望ニ依ッテハ與ヘテモ宜シイ、或ハ海外ニ遊バシテモ宜シイト云フヤウナコトヲ提示サレタト云フコトモ、事實ナリトシテ傳ヘラレテ居リマス、或ル宮殿下ノ御渡臺ノ際ニ、下檢分ヲ爲サントシテ臺中ニ參ラレタ際ニ、其宿舍ニ於テ藝妓トノ間ニ關係ヲ生ジタ、關係ガ生ジタ點ハ宜シイトシテ——善イコトハ勿論アリマセヌガ、ソレガ後ニ於テ其藝妓ガ妊娠シタト云フ口實ノ下ニ脅迫ヲ加ヘラレタ、サウシテ慰藉料カ何カノ請

求ヲ受ケタ、中ニ人ヲ介シテ之ヲ揉潰シテ、小額ノ金額デ問題ハ潰サレタ、其中ニ入ッタ人ニ其弱點ヲ握ラレタ爲ニ、其邊カラ種々ノ情弊ガ起ッタ、是ハ私ハ洵ニ穢イコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、ホンノ一二ノ例ヲ申上ゲタニ過ギマセヌ、是ハモウ總督府内デ何人モ信ジテ居ル事實トシテ盛ニ喧傳サレテ、冷笑ヲ以テ風評サレテ居リマス、總督府内ノミナラズ總督府外ニ於テモ既ニ周知ノ事實トシテ傳ヘラレテ居ル、斯ルコトガ拓務大臣ノ御耳ニハ全ク入ッテ居ナイカドウカ、少クトモ過去ニ於ケル拓務省ノ幹部ノ中ニハ、此事實ハ明ニ耳ニシタ人ガアル筈デアリマス、ソレガ今日ニ於テモ尙ホ其肅正ノ途ヲ講ゼラレテ居ナイ、此事實ヲ顧ミテ眞ニ調査サレタコトガアルカ、吏道ノ振肅ナドト云ッテ居ラレル際ニ、アナタガ仰セラレマシヤウニ、新附ノ民ヲシテ信賴信望ヲ厚クセシメナケレバナラス秋ニ、今ノヤウナ醜聞ノミニ依ッテ徒ニ刺戟シテ行クノカ、唯徒ニ默ッテ之ヲ見テ居ルト云フノカ、文句ヲ言ハナイ、言ヘバ迷惑ダ、ソナナ氣持デ居ラレテ本當ニアナクノ仰セラレルヤウナ臺灣ノ統治ガ出來ルカ、日本ノ南進國策ノ強化ガ出來ルカ、例ヘバ臺灣拓殖會社ノ幹部ヲ任命セラレルニ致シマシ

テモ、政府ノ方デ任命セラレルデアリマセウガ、總督府ノ總督ヲ輔佐スル人達ノ建言ト云フモノガ、最モ本ニナラナケレバナラス、單ナル統治ノ行政上ノ問題バカリデナクテ、斯様ナ幾多ノ事業ヲ行ヒ、幾多ノ權益ノ伴フ、利權ノ伴フ會社ノ、或ル意味ニ於テ經營ノ實際ノ衝ニ當ラナケレバナラスト云フヤウナ總督府ノ今日ノ組織ガ、一二ノ卑近ナ例ダケ申シマシテモ斯ノ如キ狀態デアッテ、ソレデ可ナリト御信ジニナルカ、其邊ノ御心持ヲ承ッテ置キマス

○永田國務大臣 臺灣總督府ノ内部ニ於テ、種々ノ面白カラヌ事柄ガアル、例ヘバ内閣更迭ノ際ニ於ケル何カ間違ッタ心得方、或ハ婦人ニ關スル問題トカ、色々ナ事柄ガ常ニアッテ、新附ノ民ヲシテ信賴ヲ失ハシメルト云フ御話ニ付テハ、斯ウ云フ事實ニ付テ的確ニ私トシテハ承知致シマセヌガ、又時々色々ノ風評ヲ聞カヌコトモゴザイマセヌ、斯ウ云フ際ニ於テ拓務省トシテ外地ヲ統治スル上ニ付テハ、常ニ偉大ナル常識ヲ以テ、之ヲ適當ニ判斷シテ行クコトガ、最モ大切ナコトデアアル、遠方ニ離レテ居リマス爲ニ、ソレ等ニ對スル風評ト云フコトニ付テハ、時ニハ誤ッタコトモアリマスシ、時ニハ又中傷スルヤウナ場合ノコトモアリマ

ス、ソレデスカラハハ餘程物ノ大小輕重ヲ考ヘテ、適切ナル判斷ヲ加ヘナクテハナラヌモノト思ッテ居リマス、又總督ノ更迭ト云フヤウナコトニ付テ、從來色々内閣更迭毎ニ更迭スルヤウナ慣例ガドウカスルト行ハレテ、其間ニ一般國民ヲシテ納得セシムルコトノ十分ナラザル場合モアッタカノヤウニ考ヘラレルノデ、斯ウ云フヤウナコトニ付テハ、總督府ノ内部ノ幹部ノ處置、考ヘ方ノ惡イコトハ、是ハ少シモ容赦スベキコトデハゴザイマセヌガ、是ト同時ニ内地ノ政治ノ中心ニ於テモ、是ハ考ヘテ行カナクチヤナラヌ事柄デアルト思ヒマス、中央ノ政治ニ與ッテ居ル者モ、外地ノ總督ト云フヤウナ者ノ地位ニ對シテハ、餘程ハ重キヲ置イテ考慮シナケレバナラス、容易ニ、苟且ニ、十分ナル理由ナクシテ、輕々ニ動カスト云フヤウナコトヲ避ケナクテハナラヌモノダト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、又只今中村君ノ言ハルル通りニ、サウダト云ッテヒドク紊亂シテ居ルモノヲ、其儘ニ捨テテ置イテハ、異民族ノ統治、信賴ト云フコトニ付テ缺クル所ガアルヂヤナイカ、ソレデハ駄目デハナイカト仰シヤルコトモ、是モ全ク御尤モデアリマス、其點ニ付テハドウシテモ偉大ナル常識デ、大小輕

重ヲ判斷シテ、確トシタ大見地ニ立ツタ確
信ノ下ニ、處斷ヲスルト云フ外ナイト心得
マス、只今ノヤウナ御話ノコトニ付テハ、
篤ト私ニ於キマシテモ其事實ナリ、事情ナ
リヲ能ク考慮シテ善處スル考デ居リマス

○中村(不)委員 餘リ朗カナコトデアリマ
セヌカラ、是以上ハ偉大ナル常識ノ所有者
デアリマス拓務大臣ノ御處置ニ信賴致シマ
ス、要スルニ左様ナ單ナル一部ノ風評デナ
ク、色々ノ方面ニ信賴ヲ失墜シ、假ニ事實
ナラズトシテモ、少クトモ不徳ノ致ス所、
其不徳ガ統治上ニ重大ナル影響ヲ及ボスベ
キ程度ニアリト私共ハ信ジマスカラ、ソレ
ダケデモ、餘程御考慮ニナラナケレバナリ
マスマイガ、殊ニ其間ニ事實アリトスレバ、
尙更ノコトダト存ジマスガ、是以上私申上
ゲマセヌ、ドウカ、拓務大臣ノ偉大ナル常
識ヲ十分ニ發揮セラレマシテ、適當ナル處
置ヲ速ニ執ラレテ、色々ノ忌ハシイ風紀ヲ
一新セララルコトヲ希望致シマシテ、私ノ
質問ハ打切りマス

○木下委員 只今中村君ノ御話ノ中ニ私ノ
名モ出テ居リマスノデ、一身上ノ辯明ヲ致
シタイト思ヒマス

○櫻井委員長 其意味ニ於テ御發言ヲ許シ
マス

○木下委員 只今中村君ノ御質問ノ中ニ、
祝盃問題ト云フ事件ニ關聯シテ、太田政弘
氏竝ニ私ノ名ガ出テ居リマスノデ、此機會
ニ一身上ノ辯明ノ爲ニ申上ゲテ置キタイト
存ジマス、當時——昭和七年ノ一月八日ノ
コトデアリマスルガ、祝盃問題ト云フコト
ガ喧傳サレタノデアリマス、ソレハ櫻田門
外ニ於キマシテ洵ニ不祥ナル事件ガアリマ
シタ、其當時吾々ガ何カ不純ナル考ヲ以テ、
總督官邸ニ於テ總督竝ニ私其他ノ幹部ノ者
ガ、祝盃ヲ舉ゲタト云フコトガ流布サレタ
ノデアリマス、是ガ永イ間色々ノ方法ヲ以
テ喧傳ヲセラレマシテ、私共實ニ迷惑ヲ致
シタノデアリマスルガ、事ノ起リハ斯ウ云
フコトデアリマス、極ク簡單ニ申上ゲテ置
キタイト思ヒマス、一月八日ニハ其當時ノ
軍司令官デアリマシタ所ノ眞崎大將ガ、參
謀本部ノ次長ニ相成ッテ轉任ヲセラレタノ
デアリマス、吾々ハソレヲ送ッタノデアリマ
シテ、丁度午後ノ二時ニ臺北ヲ出發シタ汽
車デ送ッタノデアリマスルガ、其汽車ノ中デ
櫻田門ノ不祥事件ヲ聞イタノデアリマス、
吾々洵ニ驚愕ヲ致シマシテ、兎ニ角眞崎氏
ヲ基隆ノ港外ニ送ッテ、午後ノ五時頃臺北ニ
歸ッテ、五時半頃總督官邸ニ參ッテ、天機奉伺
ノコト、御機嫌奉伺ノコトナドヲ種々協議

ヲシ、尙ホ時ノ總理大臣犬養毅氏、竝ニ秦
拓務大臣アタリニ、其事件ニ付テノ御見
舞ノ電報ヲ打ッテ、是ハ私自身ガ起案ヲシ
テ、總督ノ御許シヲ得テ打ッタノデアリマ
シテ、左様ナコトヲ致シテ約四五十分總督
官邸ニ居リマシタガ、其ノ後私ハ歸ッテ、サ
ウシテ常ニ臺灣ニ於テ恒例トナッテ居リマ
スガ、私ガ政府委員トシテ上京ヲ致シマス
ノデ、其際土地ノ有力者カラ色々ノ希望ヲ
聽キマスコトガ恒例ニナッテ居リマスガ、
丁度其晩ガ左様ナ恒例ヲ行フ晩デアリマ
シテ、臺灣銀行ノ幹部、新聞社長、辯護
士會長、其他土地ノ有力者ガ集ッテ午後ノ
七時カラ色々ノ話ヲ致シテ居ッタノデアリ
マス、ソレガ事實デアアルノデアリマス、然
ルニ所謂此祝盃問題ト云フノハ、其晩總督
官邸ニ幹部ガ皆集ッテ亂酒亂舞、午後ノ十一
時マデモ大イニ騒イダ、斯ウ云フコトヲ流
布サレタノデアリマス、而シテ是ハ如何ニ
モ眞シヤカニ盛ニ電報ヲ以テ東京ニモ報ゼ
ラレタ、左様ナコトデ非常ナル迷惑ヲ私ハ
受ケタノデアリマス、其後總督府ニ對シテ
ソレノ調査ヲ要求シタノデアリマスルガ、
如何ニモ十分ナル調査ヲシテ下サラナイ、
隨テ私ハ内閣書記官長ニ向ッテ調査ノ要求
ヲシタノデアリマス、其結果内閣書記官長

カラ拓務大臣ニ通牒ガアリ、又拓務大臣カ
ラ通牒ガアリマシテ、臺灣總督ニ於テ調査
ヲシタ結果ニ依リマス云フト、是ハ全然
事實ハナイ、其當時或ル不純ナ考ヲ持ッテ
居ッタ所ノ新聞雜誌記者四五名ガ集マッテ、
全ク是ハ捏造シテ拵ヘタ所ノ事實デアアル、
然ルニ是カラ以後ハ洵ニ奇怪千萬デアリマ
スルガ、私ガ官ヲ辭シタコトヲ非常ニ好都
合トスル不正ナル者共ガ、再ビ私ガ官界ニ
出ルコトヲ防グト云フヤウナ惡辣、卑劣ナ
ル考カラ、ドウカシテ此虛偽ノ事ヲ事實デ
アルカノ如クニ拵ヘルト云フコトヲ考ヘマ
シテ、而モソレハ總督府ノ或ル一部、又ハ
警務局ニ奉職シテ居ル者共ガ之ヲ作り上ゲ
テ、事實ヲシクシタノデアリマス、是ハ後
ノ調査ニ依ッテ明ニナッテ居ルノデアリマス
ガ、殊ニ其當時臺灣總督ノ太田氏ノ料理方ヲ
シテ居リマシタ所ノ男ヲ捕マヘマシテ——
藤木ト申ス男デアリマスガ……

○櫻井委員長 木下君、成ベク簡單ニ……

○木下委員 承知シマシタ、其男ヲ捕マヘ
テ總督府ノ警務局ノ人間ガ料亭ニ連レテ
行ッテ、之ニオ酒ヲ飲マセ、尙ホ基隆ノ署長
官舍ニ連レテ行ッテ、酒間ニ其事實ヲ告白ヲ
命ジタノデアリマスガ、其男ハ事實ナイノ
デアリマスカラト、左様ニ申シタノニ、アッ

タカノ如キ聴取書ヲ作ッテ、何等讀聞ケモセズシテ判ヲ捺サシタ、ソレハ其當時立會ツタ所ノ他ノ警察官二名ガ、明瞭ニ證明シテ居ルノデアリマス、左様ナコトヲ致シテ何等事實ノナイ、毛頭事實アリ得ベカラザルコトヲ作りマシテ、サウシテ之ヲ臺灣總督府トシテハ書類ニ作ッテ、拓務省ニ迄出シテ居ルノデアリマス、事實デナイコト迄出シテ居ルノデアリマス、而シテ後ニ調査ノ結果左様ナコトハ事實デナイ、斯ウ云フコトガ分リマシテ再ビ拓務省ニ出シタ、是ハ拓務省ニモ、内閣ニモ其書類ガアルノデアリマス、左様ナ惡辣極マルコトヲヤリマシテ、サウシテ人ヲ傷ケル、現在平塚長官ハ、其當時左様ナコトガアルト云フコトヲ信ジラレタ形デ以テ書類ヲ出シテ居ラレル、而シテ又後ニハ是ハ全然ナカッタト云フコトニ付テ、再ビ拓務省ニ書類ヲ出シテ居ル、ソコデ其間ニ如何ニモ——勿論惡意、故意ハナカッタと思フノデアリマスガ、甚ダ輕卒ナコトデアッタノデハナイカト云フコトヲ、私ハ残念ニ思ッテ居ルノデアリマス、斯様ナ事實デアリマスルノデ、此點ダケ私ハ一身上ノ辯明ト致シマシテ、各位ニ十分御諒承ヲ願ヒタイト云フコトヲ、一言申上ゲル次第デアリマス

○平塚政府委員 只今私ノ名前ガ出マシタノデ、此際一寸申上ゲテ置キタイと思フノデアリマス、初メノ調ヲ拓務省ニ出シテ、又次ノ調ヲ拓務省ニ出シタト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、正式ノ調トシテ私ノ名前デ出シマシタモノハ、最近——一昨年デアリマシタカ出シタモノ以外ニハナイノデアリマス、其間ニ何カ私ノ取調ノ惡イヤウナ意味ノ御話モアッタヤデアリマスルガ、出シマシタノハ昨年デアッタ考ヘテ居リマス

○川島委員 今回政府ハ臺灣拓殖株式會社設立ノ御計畫ガアリマシテ、茲ニ法案ヲ御提出ニナリマシタノハ、先般本會議ニ於キマスル拓務大臣ノ御演說、茲ニ委員會ニ於ケル政務次官ノ御說明ニ依リマシテ、設立ノ趣旨ノ大要ハ拜承致シタノデアリマスルガ、私共考ヘマスルニ、臺灣ハ既ニ始政以來四十年モ閱シテ居リマシテ、相當ニ産業上ノ進歩發展ヲ見テ居ル、此時ニ當ッテ新ニ斯ノ如キ御計畫ヲ必要トスル理由ハ、全ク時局ノ影響デアリマシテ、此法案ト同時ニ政府ガ御計畫ニナッテ居リマスル南洋拓殖株式會社ト相並行ヲシテ、日本ノ南方政策ヲ遂行スル大キナ國策ノ見地ニ立ッテノ御計畫ナリト考ヘラレルノデアリマスルガ、

此點ニ付キマシテ、更ニ大臣ヨリ御說明ヲ御願申上ゲタイと思フノデアリマス

○永田國務大臣 全ク其考ヘ方デゴザイマシテ、臺灣ノ島内ヲ開拓スル、島内ニ於ケル遺利ヲ開拓スルト云フ目的ヲ持チマスルト共ニ、現在ノ日本ノ實情ニ鑑ミマシテ、ドウシテモ臺灣ノ地位ト云フモノハ、島内ノモノヲ開拓スルニ止マラズシテ、アノ天然ノ世界ニ於ケル、東洋ニ於ケル地位ト云フモノ、持ッテ居ル重大ナル使命ヲ果サシメル、斯ウ云フコトガ國策上最モ必要デアル、斯ウ云フコトデ此拓殖會社ト云フモノヲ計畫スルノデアリマシテ、自然此計畫ガ進ンデ、遂行シテ行キマスルト同時ニ、必ズ南支、南洋ノ方ニ於ケル事業ガ自ラ最モ重キヲ爲シ、平和的ニ且ツ經濟的ニ其使命ヲ發揚スルコトヲ期待シテ、此案ヲ提出シタ次第デアリマス

○川島委員 法案ノ第六條ヲ拜見シマスルト、社長、副社長、理事、監事ト云フ風ナ重役ノ人ノ其職務、權限、任命、選任ノ方法及任期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ、會社ノ重役ノ選任方法、職務權限ト云フコトハ、會社ノ設立上根本問題デアッテ、極メテ重要ナル事項デアリマス、他ノ特殊會社ノ法律ニ見マシテモ、何レモ法律ノ中

ヘハッキリト選任ノ方法其他ヲ明記シテアルノデアリマス、殊ニ今回同時ニ政府カラ御出シニナリマシタ東北興業株式會社法案モ、同様ニナッテ居リマスニ拘ラズ、臺灣拓殖株式會社法案ニ限ッテ、之ヲ勅令ニ讓ルト云フ特殊ノ事情ハ何處ニオアリニナルノデアリマスルカ、一應之ヲ承リタイノデアリマス

○永田國務大臣 御尤ナ御尋デアリマス、唯臺灣拓殖會社ト云フモノノ地位ハ、餘程對外的ノモノデアアル爲ニ、相當ニ其運用上ニ付テ伸縮スル餘地ヲ持ッテ居ルコトガ必要ダト云フコトデ、此法律ニ固定セシメナイデ、勅令ヲ以テ定メルト云フコトニシテ行ク方ガ、運用上都合ガ宜カラウト、斯ウ云フ氣持デ勅令ト致シタヤウナ次第デアリマス

○川島委員 對外的ノ關係ガアルノデ勅令ニ讓ッタト云フ御話デアリマスケレドモ、東洋拓殖株式會社法案ノ第一條ニハ「東洋拓殖株式會社ハ朝鮮及外國ニ於ケル拓殖資金ノ供給」云々ト書イテアル、先達テ來ノ御說明ニ依ッテモ、東拓ト此臺灣拓殖會社トノ仕事ノ範圍ト云フモノハ殆下違ハナイ、然ルニ東洋拓殖株式會社法案ノ中ニハ、重役ノ選任其他ノコトヲハッキリ規定シテアルノデ

アリマスケレドモ、何故之ヲ勅令ニ讓ルカト云フ理由ガ、只今ノ御説明デハマダハッキリシナイヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ、是ハ政府委員ノ御答辯デモ差支アリマセヌ

○北島政府委員 私カラ御答致シテ置キマス、大體ノ趣旨ハ只今大臣カラ御答辯ニナリマシタ通りデアリマシテ、ヤハリ島内ノコトモヤリマスガ、島外ノコトモヤリマスノデ、色々ナ關係上餘リ窮窮デアリマスレバ、何カト不便ナ點モアルカト思ヒマシテ、實ハ勅令ニ讓ツタノモ一ツノ理由デアリマス、ソレカラ先例ト致シマシテハ、只今御話ノ東拓ノ方ハ、法規ノ中ニ政府任命ノ規定ガアリマス、併シ又外ノ例ヲ取テ見マスレバ滿鐵ノ如キハ、ヤハリ勅令デ此役員ノ任免、其他殆ド全部ノコトヲ勅令デ規定致シテ居リマス、デアルカラマア例ト致シマシテハ必ズシモナイ譯デハゴザイマセヌ

○川島委員 私ハ能ク法律ノコトハ分リマセヌケレドモ、滿鐵ガ出來ル時ニハ——是ハ一體滿鐵ノ規則ト云フモノハ法令デナイノデアリマスカラシテ、憲法ノ施行サレナイ所デヤルノデアリマスカラ、是ハ勅令ニ依ッテヤルノガ當リ前、東洋拓殖ノ方ハ之ニ當嵌マルノデアリマスカラ、之ト同ジ方針

ヲ取ルノガ一番適當デアルト思フ、殊ニ外國ト關係ガアルカラ、成ベク融通性ヲ持タスト云フコトデアリマスガ、重役ノ任免ノ方法デアルトカ、任期トカ、職務權限ノ如キモノハ、特ニ融通性ヲ付ケナケレバナラヌト云フ理由ガ何處ニアルノデアリマスカ、之ヲモウ一應承ッテ置キタイ

○北島政府委員 滿鐵ハ元來最初拵ヘル際ニ、ヤハリ根據ハ法律ニ置イテゴザイマス、其法律ハ外國ニ於テ營ム鐵道事業ヲ經營スル會社ニ關シテハ、勅令ヲ以テ別段ニ規定ヲ設クルコトヲ得ト云フ、其勅令ニ基イテ制定シ、其勅令ニ依リ更ニ組織、任免ニ關スル規定ヲ全部置イテ居ルノデアリマス、ヤハリ滿鐵ニ關スル規定ノ制定ノ趣旨モ、外國ニ於テ鐵道ヲ經營シ、ソレヲ法律デ非常ニ窮窮ナ規定ヲ設ケルト云フコトハ、非常ニ不便デアルカラ、ヤハリ勅令ニ成ベク讓ツテ、融通性ヲ置イタ方ガ宜イデハナイカト云フ趣旨カラ今デモ來テ居リマスガ、サウ云フ趣旨デ大體勅令ニ委ネタノデハナイカト考ヘテ居リマス

○川島委員 大臣ニ御同致シタイノデアリマスガ、今日御配付受ケマシタ「南洋拓殖株式會社設立趣旨並要綱」ノ中ヲ見マスルト、役員トシテ社長ハ政府之ヲ命ズト書イ

テアリマスガ、此社長ノ任免ハ拓務大臣ノナサル仕事ニナッテ居リマスガ、如何デアリマスカ

○永田國務大臣 此南洋拓殖株式會社ノ社長ノ任免ハ、拓務大臣ガ命ズル積リデ居リマス

○川島委員 先般本會議ニ於キマシテ鈴木君ノ御質問ニ對シテ、拓務大臣ハ臺灣拓殖株式會社ノ社長ハ政府モ相談ニハ與カルケレドモ、臺灣總督ニ任命權ヲ與ヘルノダ、斯ウ云フ風ナ御話ガアリマシタ、其理由ノ一ツトシテ臺灣總督ノ所管ニ屬スル土地ヲ出資スルカラダト、斯様ニ仰セラレタノデアリマスケレドモ、南洋拓殖株式會社ノ資本構成ノ所ヲ見マシテモ、ヤハリ南洋廳ノ所屬ニ係ル嶺南區ヲ會社ニ出費シテ成立セシメルノデアアル、此關係ハ兩者同ジデアルト私共考ヘルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ臺灣拓殖株式會社ノ社長ノ任免ハ、之ヲ臺灣總督ニ委ネ、一方南洋拓殖株式會社ノ方ハ拓務大臣ガ之ヲ持ツト云フコトハ、ドウ云フ理由デサウ云フ差ヲ生ズルノデアリマスガ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○永田國務大臣 以前ヨリ外地等ニ對スル監督ト云フモノハ、各地ニ依ッテ其境遇ニ應ジテ違ヒマスノデ、朝鮮ニ對スル監督ガ

又臺灣ニ對スル監督トモ違ヒ、臺灣ニ對スル監督方法ト南洋ニ對スル監督方法ト又自然違フノデ、南洋廳ノ方ハ拓務大臣トシテハ、南洋廳ヲ指揮監督スト云フヤウナ風ニナッテ居ッテ、臺灣ノ方ハ臺灣ノ事務ヲ監督スル、斯ウ云フ風ニナッテ居ル、ソナ風デ南洋廳ニ對シテハ、重大ナル事ニ付テハ直接ニ指揮監督スル態度、立前ニナッテ居リマスカラ、斯ウ云フ重大事項ニ付テ直接ニ之ヲ指揮シ監督シマスカラ、自然ニ拓務大臣ガ直接任命スルコトニナルノデアリマス、臺灣ノ方ハ監督スト云フコトニナッテ居ルノデ、此點ニ付テハ拓務大臣ガ直接任命シテモ、道理上差支ハナイト考ヘルノデアリマス、唯此場合ニ臺灣ガ一千五百万圓ノ土地ヲ出シテ居ル關係ト、其土地ニ於テ拓殖事業ヲ島内ニ營ム場合モ、相當重大ナ性質ヲ帶ビテ居ルト云フ點、竝ニ臺灣總督ノ地位ト云フヤウナコトヲ種々考慮致シマシテ、身分上ハ臺灣總督ニ任命權ヲ持タシメル、サウシテ實際的ニハ其事柄ニ付テ、拓務大臣ノ指揮ヲ受ケサスヤウナ方法ハ、内部ノ監督關係トシテ如何様ニデモ執レルノデアリマスカラ、斯ウ云フ重大事項ニ付テハ打委セテシマハズニ、間違ヒノナイヤウニ伺ハシメテ決メルト云フヤウナ方法ヲ

執リタイ、斯ウ思ッテ居ルノデアリマス

○川島委員 大臣ノ御説明ニ依リマスルト、本會議ノ御説明ノ如ク、唯臺灣ノ土地ヲ出資シテ會社ヲ造ラセルガ爲ニ、社長ノ任免權ヲ總督ニ與ヘルダケデハナクテ、ソレ以外ノ事情モアルノダト云フ只今ノ御話デアリマスガ、東洋拓殖株式會社ハ現ニ社長——總裁ノ任免ハ政府ガ之ヲシテ居ル、其關係ニ於テハ只今ノ答辯ト甚ダ矛盾スルノデアリマスガ、東洋拓殖株式會社ト、ソレカラ新ニ出來マス朝鮮拓殖株式會社、南洋拓殖株式會社、此三社ノ性質ナリ、法文ノ立前ナリヲ御考願ッテモ、ヤハリ是ハ同ジヤリ方デアアル、言換ヘレバ政府ガ社長ノ任免權ヲ御持チニナルト云フヤリ方デヤルト云フ風ニ、御考ナサッテハ如何デアアルカト云フコトヲ、モウ一應承ッテ置キタイノデアリマス

○永田國務大臣 其御意見ニ付キマシテモ御尤モナ根據ノアルコトと思ヒマス、是ハ絶對性ノモノデハゴザイマセスガ、唯臺灣拓殖會社ノ成立ト其狀況、臺灣總督ノ地位ト云フヤウナ種々ノコトヲ考慮致シマシテ、臺灣總督ニ任免權ヲ與ヘル方ガ穩當デアラウト云フ程度ノ意味デ、原案トシテ臺灣總督ニ任免權ヲ與ヘルト云フ風ニ決メテ

居ル次第デアリマス

○川島委員 新ニ出來マス臺灣拓殖株式會社ノ事業ガ、單ニ臺灣内地ノ産業ノ開發ニ止マルナラバ、是ハ私共何モ申上ゲナイノデアリマスガ、先日來大臣、或ハ政務次官ノ御説明ニ依ルト、此會社ト云フモノハ南洋拓殖株式會社ト並行シテ、大キナ國策ノ上ニ立ッテ居ル會社ナノデアアル、而シテ本會議ニ於テ鈴木君ノ質問ニ對シ、或ハ片山君ノ質問ニ對シテ大臣モ仰セノ如ク、實ニ此會社ノ成否ト云フモノハ、其衝ニ當ル人ノ如何ニ依ルノダ、斯ウハッキリ仰シヤッテ居ル、又サウ御考ニナッテ居ル、斯ノ如キ重大ナ人ノ選任、言換ヘレバ單ニ此會社ノ成功スルカシナイカト云フコトデナシニ、日本ノ國策上極メテ重要ナ仕事ヲスベキ會社ノ社長ノ任免權ヲ、一總督ニ其實權ヲ委セルト云フコトハ、極メテ不穩當デハナイカト私共ハ考ヘル、先程中村君ノ御話モアリマシタガ、私ハ敢テ之ヲ信ズルノデアアリマセス、臺灣總督以下ノ人々ガ、今日ドウ云フ仕事ノヤリ振リヲシテ居ルカト云フコトニ付テモ私ハ存ジマセス、ケレドモ中央ヲ遠ク離レテ、中央ノ事情ニ比較的暗イ人々ガ、狭イ範圍カラ人ヲ求メルト云フ結果、結局ハ有用ナ人ハ求メ難イト思フ、ドウシ

テモ政府ガ大キナ眼界カラ、廣ク人材ヲ帝國內地全部ニ求メルト云フ御方針ヲ御採リニナルコトガ、此會社ヲ成功サセル唯一ツノ途ダト私共ハ思ヒマス、又一方カラ考ヘテ、鈴木君ノ如キハ其平生御主張ノ立場カラ、從來ノ東拓其他ガ政黨ノ犧牲ニナツタコトガイカスト云フヤウナ御演說モアリマシタガ、是モ一ツノ見方デアリ、現ニサウ云フ過去ノ事實モアリマシタラウ、併シソレト同時ニ、現ニ問題トナリツツアル臺灣總督ニ、將來武官ヲ當テルカモ知レスト云フヤウナコトガ、假ニ實現シタ場合ニ於テ、其當ル武官ノ頭ニ依ッテ人ヲ求メルト云フコトニナレバ、選擇範圍ハ一層狭クナル、内閣ニ於テ拓務大臣ガ他ノ閣僚其他ノ人々ト廣ク協議ヲシテ人ヲ求メルト云フコトニナサルノデナケレバ、到底人材ハ私共求メ得ラレナイト考ヘマス、此點ニ付テハ私共トシテハ、相當ニ此議案ヲ審査スル根本ノ問題デアリマスカラ、考慮スル必要ガアルノデアリマスガ、尙ホ此際一應大臣ノ御説明ヲ參考ニ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○永田國務大臣 此法律案ソレ自體ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトナッテ居リマスカラ、此案自體ハ社長ヲ拓務大臣ガ任命スルト勅令ニ

於テ書イテモ、或ハ總督ニ於テ之ヲ任命スルト書イテモ、其點ハ融通ノ利クヤウニナッテ居ルノデアリマス、而シテ只今ノ御意見ニ付テハ、ソレハ相當ノ理由ノアルコトデアリマシテ、實ハ餘程考慮ヲ廻ラシタノデアリマス、ソシテヤハリ臺灣總督ノ地位竝ニ此設立ノ事情ニ鑑ミテ、明文上臺灣總督ニ任免權ヲ與ヘタ方ガ宜カラウカラ、サウ云フ意味デ勅令ニ書カウト云フ下心ヲ持ッテ居ルト、斯ウ云フコトニ過ギナイノデアリマス、サウ致シマシテモ、ヤハリ只今御話ノ通り、總督ガ臺灣ニ居ッテ考ヘルダケデハ、實ハ本當ニ適當ナ人ヲ銓衡スルノニ不便デアラウカラ、ソレハ宜シク拓務大臣ノ方デ、總督ト内部的ニ連絡ヲ十分ニ取ッテヤレバ、大キナ不都合ナシニ出來ルノデハナイカ、此程度ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○川島委員 私ハ此重役ノ選任ノ方法ニ融通性ノアルコトガイカスト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、大臣ハ融通性ノアルコトガ非常ニ宜イヤウナ今御説明デアリマスガ、斯ウ云フモノニ融通性ヲ考ヘルコトハナイ、融通性ノアル所ニ弊害ガ起ルノデアリマスカラ、是ハドウシテモ私ガ先程來申上ゲテ居ル如ク、政府ニ此任免權ヲ御與ヘニナルト云フコトガ、必要ダト思フノデア

リマスルカラシテ、此點ニ付テハ是非一ツ當局ニ於テモ深イ考ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○東條委員 今ノ川島君ノ質問ニ關聯シテ、一寸今ノ任命ニ關スル件ニ付テ……

○櫻井委員長 ドウゾ……

○東條委員 一寸簡單ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス、一體此社長、副社長ノ任免權ヲドウスルカト云フコト、ソレカラ第十一條、第十二條ノ監督權等ニ關スル問題デアリマス、ドウモ私共考ヘマスルノニ、拓務省ノ監督シテ居ラレマスル會社ナドニ對シテ、ドウモ拓務省ノ力ガドチラカト云フト割合ニ弱クテ、却テ株主ノ立場ニ立ッテ居ル大藏省ノ力ノ方ガ、非常ニ強ク働キヤウニ考ヘル、之ヲ何トカシテ本當ニ拓務省ノ監督ノ下ニ於テ、統一シタ方針ニ依ッテ、其業務ナリヲ監督シテ行キマスルコトガ必要ダト思ヒマス、此點ガ徹底致シマセヌ爲ニ、動モスレバ拓務省ノ廢止論モ起ツタリスルコトニナルノデアラウト思フ、今川島君カラ再三質問ガアリマシタ社長、副社長ノ任免ニ關スル扱方デアリマスガ、サウ云フ點モ御考慮ニナリマシタ上デ、方針ヲ御立テニナルコトガ必要ダト思ヒマスルガ、此點ニ付テノ打明ケ話ヲ伺ヒタイト思フノデア

リマス、殊ニ今川島君ノ言ハレル通り、仕事ガ非常ニ重大ナ事柄デアリマス、又先程中村君ノ質問ニ對シテ、拓務大臣ハ單ニ臺灣バカリデモアリマスマイガ、臺灣總督ト云フヤウナ外地ノ長官ニハ隨分有力ナ人ヲ入レルコトガ必要デアルト云フコトヲ答辯ヲセラレタノデアリマスガ、サウ云フコトニナリマシテ、段々外地ノ長官ノ力ガ強クナルヤウニナリマスルト、拓務本省ノ影ガ薄クナルヤウニナリハシナイカ、拓務本省ノ影ガ薄クナルト云フコトハ、別ニ差支ハアリマセヌガ、要スルニ外地ニ對スル國策トシテ行ヒマスル色々ナ仕事ニ對シテノ統制ガ取レナイ、サウシテ外地ガ個々別々ニ勝手ニ仕事ヲシテ行クト云フヤウナ傾向ニナリマスルコトハ、非常ニ是ハ考ヘネバナラスコトデアリマス、確ニ拓務省トシテハ、外地ニアリマスル特殊會社ニ對シテノ監督權ト云フモノヲ、實際問題トシテシッカリト拓務省ニ握ッテ居ラレナイヤウニ私ハ思フ、是ハ有ユル機會ニシッカリト拓務省ノ下ヘ掌握サレルコトガ、國策遂行ノ上カラ私ハ必要ダト思フ、此見地カラドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ、御意見ヲ承ッテ置キタイノデアリマス

○永田國務大臣 中々實際問題トシテムヅ

カシイ點ヲ御質問ニナリマシタガ、拓務行政ノ必要ナ點ト、サウシテヤリ惡イ點、又ヤリ様ノ態度ト云フヤウナコトニ付テハ、御想像ノ通りニ非常ニムヅカシイノデス、斯ウ云フヤウナ會社ニ付テ、大藏省ノ監督ノ方ガ、拓務省ヨリモ睨ガ利クト云フヤウナ意味ノ御話ガアリマシタガ、ソレハ金融ノ問題ヤ何カニ付テ、大藏省ニ關係ヲ持つコトガアリマスヤウナ際ニハ、相當大藏省ノ睨ノ利ク場合モアルト思ヒマス、併シ臺灣總督トカ、朝鮮總督トカ云フモノヲ、劃一的ニ拓務省デ監督ヲ徹底サスト云フヤウナコトハ、出來難イノデアリマス、アノ外地ト云フモノハ本島ト離レテ居ルカラ、距離ヤ何カニ付テモ色々又影響ヲ及ボシマス、又其場所ノ内容、例ハ朝鮮ノ内容ト云フコトニ付テモ、臺灣ト同ジヤウニ考ヘルコトガ出來ナイト云フ事情ガアリマスルシ、臺灣ト南洋廳トカ、或ハ樺太トカニ對シテハ、又マルデ考ヘ方ヲ違ヘナクチャナラス、劃一的ニ物ヲ考ヘルト云フコトノ出來ナイ狀態ニアルノガ、所謂外地ノ實情デスカラシテ、同ジヤウニ睨ガ利カスト云フヤウナ風ニハ、事實ヤルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレカラヤハリ外地ノ事情ニ即シテ特殊ノ權限ヲ與ヘナクテハ、外地ノ

總督ト致シ、支配者トシテ異民族ニ臨ムト云フヤウナ場合ニハ、外國ノ例デモ能ク御承知ノ通りニ、殆ド半獨立國ノヤウナ、或ハ總督ガ一種ノ主權者ノ如キ權威ヲ以テ臨ンデ居ルヤウナ例モ隨分アル、アリマスケレドモソレ等ハ又其土地ノ民度如何ニ依ッテ、色々相違ガアリマシテ、要スルニ何處ノ眞似モ出來ナイ、朝鮮ハ朝鮮トシテ何處ノ地方ノ眞似モ出來ナイ、臺灣ハ臺灣デアッテ何處ノ眞似モ出來ナイト云フ特異性ガ、此外地ノ特異性デアル、ソレニ對シテ拓務省トシテハ、要スルニ朝鮮總督府デヤッタ仕事、臺灣總督府デヤッタ仕事、サウシテ拓務省デヤッタ仕事、總テノモノヲ括メテ年末ノ計算デ其成績ガドウナルカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルベキモノデアリマシテ、拓務省トシテノ仕事ハ舉ッテ居ルガ、朝鮮、臺灣ノ仕事ハ舉ッテ居ラナイデ、總テノ總計算ニ於テハ良クナイガ、拓務省自體ノ仕事ハ舉ッテ居ルト、サウ云フコトデモイケナイノデ、ヤハリ包括シタ上ノ成績ヲ舉ゲテ行クト云フコトニシテ、臺灣總督府、朝鮮總督府ノ功績ハ即チ拓務省ノ功績ナリト云フ太腹デ、之ヲ統治監督シテ行クト云フ態度ガ、私トシテハ必要デアルト思ヒマス、サレバト言ッテ何等實質的ノ監督ガ出來ナイ、睨ガ

利カナイト云ツタヤウナコトデハ、離レテ居ル土地デアルダケニ種々氣儘勝手ナ、色々紊亂ノ事實ガ拾テ置ケバ起リ易イ、其間ノ寬嚴ト云フコトガ中々ムヅカシイノガ此拓務行政デアリマス、サウ云フコトニ付テ色々只今御話ガアリマシテ、洵ニ御尤デアリマスガ、私ノ考ト致シマシテハ、拓務省ノ仕事ハ總テ他ノ總督ナシカノ仕事ヲ、踰ユベカラザル大キナ範圍ヲ拵ヘテ、其範圍ニ於テ治メテ行ク、其範圍ヲ踰ユルヤウナコトハ嚴ニ之ヲ監督スルガ、其範圍デハ相當ノ自由ナ地位ヲ總督ニ與ヘルト云フノデナクチヤイケナイダラウ、私共トシテハ其間ニ非常ナ苦心ガ存スルノデアリマス、ソレデスカラヤリ様ガ惡ケレバ、無用ニ見エルクトモ出テ來ルノデアリマスケレドモ、其判斷ヲスル點ニ付テハ、餘程ニ各方面ヲ能ク常識的ニ見テ、判斷シテ行カクチヤナラスモノダト、マア大體ノ心持ハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○東條委員 ドウモ少シ願ミテ他ヲ言フト云フヤウニ聞エマス、ドウモ監督ト云フ奴ハ結局ドシナ規定ガアリマシテモ、ソレダケデハ連モ旨ク行カスト思フ、結局人事ノ上ニ於テノ首ッ玉ヲ擱ンデ置カナケレバ、本當ノ監督ハ出來スト思フ、今御話ノヤウニ

遠隔ノ地ニアツテ、一々仕事ニ對シテ指圖モ監視モ出來ナイ所デアリ、異民族ヲ統治サセルノデアルカラ、絶對無上ノ權ヲ持ツガ如キ地位ニ置カナケレバナラスト云フ話ハ御尤デアリマスガ、サウ云フ風ニシテ自由ニヤラシテ、尙ホ本當ノ監督權ヲ握ッテ居ルト云フコトハ、首ッ玉ヲ擱ンデ居ルト云フコト以外ニナイ、ソレデアリマスカラ此社長、副社長ノ任命權ト云フモノハ、拓務大臣ガシカリト握ッテ居ラレコトガ必要ダ、ソレカラ又今ノ朝鮮、臺灣等ノ御話モアリマシタガ、是ハ要スルニ臺灣總督、朝鮮總督ナドハ拓務省ヨリモ先ニ生レテ居ル、拓務省ハ後カラ出來タノデス、丁度大キナ息子サンノアル所ニ、後妻ニ入ッタヤウナ拓務省デアリマスカラ、威令ガ行ハレナイノハ無理モアリマセヌガ、是モヤハリ機會アル毎ニ、其人事ノ上ニ於テノ拓務大臣ノ權限ト申シマスカ、之ヲ伸張シテ行カレルコトガ私ハ必要デアルト思フ、サウ致シマセヌト外地行政デモ、外地ニ於ケル事業デモ、旨ク指揮監督ガ出來ナイ、私ハ川島君ノ質問ニ關聯シテ一寸御伺シタノデスガ、餘リ長クヤッテ居ルト邪魔ニナリマスカラ、此程度ニ止メマス、此問題ハ一ツ能ク慎重ニ御考ヲ願ヒタイ

○永田國務大臣 篤ト承ッテ置キマス

○鈴木委員 只今ノ事ニ付テ一言關聯シテ御聽キシタイノデスガ——ヤハリ同ジ人事ノ事デゴザイマスガ、多少之ヲ聽イテ置キタイト思ヒマス、社長、副社長、理事三人、監事二人ト云フノハ、任命選任ノ方法及任期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト書イテアリマスケレドモ、是ハ政府ノ在來ノ例カラ見マスルト、社長、副社長、理事、監事ト云フモノハ大抵ハ官吏上リノ人デアアル、若シ露骨ナル言葉ヲ以テ言フナラバ官僚ノ古手デアアル、臺灣ナント云フノハ殊ニサウデアリマス、臺灣ノ各地ノ會社ナドト云フモノハ悉クサウデアアル、臺灣ニ勤メタ官僚ノ古手ヲ以テ樞要ナル地位ニ充テテ居ルト云フナラバ、是ハ殆ド問題ニナラナイト思フノデアリマシテ、無論官僚ノ中ニハ良イ人モアリマセウケレドモ、良イ人デナイ人モアルカモ知レヌ、此人ノ範圍ニ付キマシテハ、勅令ヲ以テ定ムト云フ融通性ガアルト云フ御話ガ、先刻アリマシタケレドモ、融通性ガアルナラバ、之ヲ民間カラモ官僚カラモ、各方面ヲ十分ニ萬遍ナク見テ、而モ然ルベキ最モ適當ナ人ヲ選ブト云フコトデナケレバ、私ハ人ノ關係ニ於テ此拓殖會社ハ駄目ニナッテシマフ、官僚ノ飯ヲ食フ所トナリマ

シテ殆ド駄目ニナッテシマフ、例ヲ取リマスレバ澤山アリマスケレドモ、産業組合ナドニ於テモ産業組合ハ宜イノダケレドモ、其人ハ多ク農林省關係ノ役人ノ擱ケ場デアルト云フ風ニ言ハレテ居ル、其意味ニ於テ反對モアルト云フヤウナ譯デ、ドウモ政府ノヤリ方ト云フモノハ皆官僚デアリマス、悉ク官僚バカリヲ採ッテ居ルヤウナ形ガアルノデアリマシテ、此點ニ付テ如何ナル御意見デアリマスカ、ソレヲ一ツ念ヲ押シテ置キタイト思フノデアリマス

○永田國務大臣 私モ二十年程役人ヲ止メテ居ッタノデ、民間カラ見タスウ云フ特殊會社ニ付テハ、多少眼ニ濃ク映ッテ居ルコトガゴザイマス、隨テ鈴木君ノ言ハレルコトニ、成程ト共鳴スル所ハ多クアルノデス、マア今度ノ會社ニ付キマシテハ、熱帶産業調査會ト云フヤウナモノヲ特ニ臺灣デ開イテ、内地カラモ民間ノ有力者ガ行ッテ、色々等ノ希望ガアリ、又陸海軍カラモ種々ノ希望ガ出デ居ル、サウ云フ各方面ノ種々ノ希望ガ集ッテ出來タノガ、此臺灣拓殖會社デアリマス、決シテ臺灣總督一人ノ思付デ出來タト云ツタヤウナ簡單ナモノデヤナイノデアリマス、隨テソレノ社長ヲ選任スルニ當ッテモ、是等ノ成立ノ經過カラ考ヘテ見

マシテ相當何人モ納得シ得ル人ヲ選バナク
チヤナラヌト云フコトハ、十分承知シテ居
リマス、唯自分達ガマアアレナラ宜カラウ
ト云ツヤウナ者ヲ心中ニ描イテ居リマス
ガ、果シテソレガ承諾スルカドウカト云フ
コトヲ、非常ニ懸念シテ居ルヤウナ次第デ
アリマシテ、只今鈴木君ノヤウナ御話ニ付
テハ、今シカト胸ニ應ヘル所ガゴザイマス
カラ、能ク記憶シテ居リマス

○櫻井委員長 一寸此場合拓務大臣及ビ政
府委員ノ方ニ希望ヲ申上ゲテ置キマス、御
答辯ノ趣旨ヲ成ベク吾々ハ明確ニハッキリ
伺テ置キタイト思ヒマス、ソレニ付キマシ
テ、此法案ノ精神ガ何處ニアルカト云フコ
トニ付キマシテ、一ツノ一貫シタル御考ノ
下ニ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、ソ
レハ斯ウ云フ考ヘ方ガ起ルト思フノデアリ
マス、若シ單ニ臺灣ダケノコトヲ處理ス
ル、或ハ土地ノ事業デアルトカ、水利事業
デアルトカ、或ハ農業デアアル、林業デア
ル、ソナラバ殊更ニ特殊會社ヲ起スノ必要ハ
ナカラウト云フ考ガ起ツテ來ルノデアリマ
ス、總督ガ直接之ヲ助成シテ行ケバ宜シイ、
特殊會社ト云フモノハヤリ様ガ惡ケレバ、
非常ナ期待ニ外レル結果ヲ生ムノデアリマ
ス、是ハ重大ナ問題デアリマス、ソレニモ

拘ラズ茲ニ特殊會社ヲ作ッテ行キマスと云
フコトハ、單ニ是ハ臺灣ノミニ重點ヲ置イ
タモノデハアルマイ、殊ニ南洋拓殖ノ會社
ト比較致シマシテモ、是ハ精神ニ於テハ同
様ニ出發シテ居ルト云フ風ニ考ヘラレルノ
デアリマス、然ラバ南洋ノ方ハ沖繩縣位シ
カナイ所ニ、五万一千ノ我が邦人ガ入ッテ居
ル其群島内ニ、何處ニ特殊會社ヲ置ク餘地
ガアルノカ、斯ウ考ヘテ見レバ南洋拓殖會
社ノ設立セラレル所ノ精神ハ分ッテ居ルト
思フ、是ハ國際關係モアリマスカラ、餘リ之
ヲ細カク論議スルコトハ考ヘ物ダト思ヒマ
スガ、此一事ヲ以テ見テモ如何ニ對南方政
策ガ、經濟的ノ諸問題ニ重大性ヲ持ッテ居
ルカト云フコトヲ窺ハレルノデ、隨テ是ト
精神ヲ同ジウシテ出來ルモノガ、此臺灣拓
殖會社ダト思フノデアリマスガ、ソレガ臺
灣ヲ本位トスルト云フ御話モアッタヤウデ
アリマスケレドモ、併ナガラ法案ノ上ニ、
ドウモ通ジテ見ルト窺ハレヌヤウニ思ヒマ
ス、現ニ資本ノ三倍ニ相當スル所ノ債券モ
發行スルコトガ出來ルコトニナッテ居ル、將
來増資スル場合モ豫想サレテ居リマス、是
ハ主トシテ先ヘ延ビテ行ク所ノ方向ヲ目指
シテ居ルモノデアラウト思フ、併シ是ハ大
臣ノ御意見デアリマスカラ、イヤ臺灣ヲ本

位トシテヤルノダ、南支、南洋ノ發展、重
大性ハ附タリデアアル、斯ウ云フ御趣旨デア
ルナラバ之ヲ明確ニシテ戴キタイ、若シサ
ウデナケレバサウデナイノダト——國際關
係ニ於テ餘リ細カイコトヲ論ズルコトハ好
マナイガ、精神ハサウデハナイノダト云フ
ヤウナコトヲ、御答辯ノ中ニ一貫シタル御
意見ヲ現ハシテ戴キタイ、吾々ハ大臣ニ意
見ヲ出シテ戴キタイト云フノデハナクテ、
ソレニ依ッテ贊否ヲ如何ニシテ行クカト言
フ岐路ニ立ッテ居ルノデアリマスカラ、ドウ
カ拓務大臣竝ニ政府委員ノ方ニ於カレマシ
テハ、其精神ヲ一貫シテ吾々ニ窺ヒ得ルヤ
ウニ御願致シマス

○永田國務大臣 一寸速記ヲ止メテ貰ヘマ
セヌカ

○櫻井委員長 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○櫻井委員長 松尾四郎君

○松尾委員 私ハ成ベク重複ノ點ヲ避ケ
テ、簡潔ニ此法案ノ條文ニ付テ御伺ヲ致シ
タイ、此業務ノ目的ニ付キマシテハ、何カ
此仕事ガ特異性ガアルノカト云フコトヲ、
本會デ鈴木委員ガ御尋ニナツタ時ニ御答辯
ガアリマシタガ、ドウモモウ一ツ意ニ解セ
ナイコトガアッタノデアリマス、只今大臣カ

ラ委員長ノ御注意ニ依ッテ御説明ガアリマ
シテ、十分其點ガ分リマシテ満足致シマシ
タ、ソレデ私ハ第一條ニ「命令ノ定ムル所
ニ依リ定期預リ金ヲ爲スコトヲ得」トアリ
マス、此預金ヲヤハリ條文ノ中ニ一ツニ
掲ゲラレテ居ラレマスルガ、此預金ハ金融
機關ノ關係カラ云ヒマス、我國デハ色々
ナ銀行ノ系統ト信託ノ系統、信用組合系統
等ニ區別サレテ居リマス、ソレヲモウ一ツ
監督シテ居ルノハ大藏省ト農林省デアリマ
スガ、是ハ本業デハナイ、斯ウ云フコトモ
出來ルト云フノデアッテ、此目的ヲ別ニ示サ
レタ要綱ノ中ニハ、預金ト云フコトハ掲ゲ
テアリマセヌカラ、本業デハアリマセヌケ
レドモ、此預金ノ制度ノ定メ方ニ依リマス
ト、中々金持ハ利潤ニ敏イカラ、少シ歩ガ
好ケレバ、コンナモノニ隨分金ガ集ル、ソ
レガ爲ニ金融ノ統制ノ案レル場合ガアッテ、
監督ノ方デ非常ニ困ルヤウナコトガアル
ガ、一體ドウ云フヤウナ、所謂銀行ノ系統
ニ關係スルヤウナ金融機關デアルカ、或ハ
信託法ニ依ルモノデアルカ

〔委員長退席、眞鍋委員長代理著席〕
詰リ信託法ニ依ルト、二箇年ヨリ短イ期限
ノ定期預金ヲ預ルコトハ出來ナイト云フヤ
ウナコトニナッテ居ルガ、其根本ノ方針ト

云ヒマスカ、サウ云フモノハドウ云フコトヲ定メラレルノデアリマスカ

○北島政府委員 第一條第二項ニ掲ゲマシタ定期預リ金ト申シマスノハ、大體ハ例ト致シマシテハ、現在東洋拓殖株式會社ニ實例ガゴザイマスガ、御承知ノヤウニ東洋拓殖ハ所謂金融ヲヤッテ居ルト同時ニ、一方事業モヤッテ居リマスガ、此定期預金ノミノ途ヲ開イテ、普通ノ當座其他ノ預金ハヤッテ居リマセヌ、大體其例ニ則ッテ此法律案ヲ拵ヘタ譯デアリマス、御話ノ定期預金ノ内容ニ付キマシテハ、是ハ現在臺灣ニハ勸業銀行ガ行ッテ居リマスシ、勿論臺灣銀行モゴザイマスガ、サウ云フ金融機關トノ關係モゴザイマスノデ、廣イ意味ノ預金業務ヲ此會社ニヤラセルト云フコトハ、是ハ金融ノ系統ノ上カラ申シマシテモ餘リ面白クナイ、唯全然此會社ニ金融ノ途ガナイト云フコトニナリマス、此會社ト致シマシテハ、之ニモ書イデアリマスヤウニ、移民其他ノ業務モヤリマスシ、或ハ又色々ノ貸付モヤルノデアリマスシ、取引ノアル、或ハ株ヲ持ッテ居ル關係ノ會社モ將來出來ルカモ知レマセヌ、サウ云フモノトノ關係上、斯ウ云フ預金ノ途モ開イテ置イタ方ガ、サウ云フ業務ノ遂行上便宜デモアリマスシ、ト云ッテ餘リ

廣クナッテモ工合ガ惡イト云フノデ、命令ノ定ムル所ニ依ッテ非常ニ狹イ意味ノ定期預金ヲ認メル、ソレカラ御話ノ信託預金ノ性質カドウカト云フ御質問ニ對シマシテハ、是ハ東拓ノ例ニモ大體則ッテ居リマシテ、普通ノ銀行ノ定期預金ト同ジヤウナ性質ノモノト了解願ヒマス

○松尾委員 預金ヲ預ッテ居リマス金融機關ニ對シマシテハ、大藏省ハ之ニ嚴重ナ監督ヲ致シテ居リマス、信用組合ノ預金ヲ取扱ッテ居リマスモノニ對シマシテ、都會ノ信用組合ニハ、ヤハリ大藏省ハ検査員ヲ出シテ検査シテ居ル、是ハ東拓ノ關係モアリマスシ、合セテ御尋致シマスガ、サウ云フ東拓ノ業務ノ上ニアルト云フコトカラ考ヘマシテ、大藏省ハ之ヲ監督スルモノト見テ宜シウゴザイマセウカ

〔眞鍋委員長代理退席、委員長著席〕

○北島政府委員 此會社ハ大體拓務省並ニ臺灣總督府デ、監督スルコトニナルト思ヒマス、監理官ナンカモ恐ラク臺灣總督府内ニ置クコトニナリマシテ、直接大藏省トシマシテハ、此會社ニ監督スルト云フコトハ、目下ノ所ハ考ヘテ居リマセヌ

○松尾委員 私ハソレデハ其次ノ條項ニ對スル御尋ヲ致シタイ、此株式ノ資本ノ出資

方法ガ、政府ガ一千五百万圓、アト一千五百万圓ハ政府以外ノ出資ニ求メルト云フコトニナルガ、其株式ノ申込ノ仕方等ハ、ヤハリ商法ノ規定ニ依ッテ總テ御取扱ニナルノデスカ、又ソレトモウツハ一般ニ公募スルヤウナ方式ヲ執ラレマスカ、或ハ他ニ特定シタル何カ出資ノ目標ガ、今日大體付イテ居ラレルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○北島政府委員 會社ノ設立ニ付キマシテハ、本法ノ附則ニモ極ク簡單ナ條項ヲ入レテ、細目ハ勅令ニ規定スル積リデアリマシテ、其勅令モ御手許ニ差上ゲテアッタ思ヒマスガ、要スルニ此會社ノ設立ニ付キマシテハ、設立委員ヲ政府デ任命致シマシテ、設立委員ガ定款ヲ作ル、其外一切ノ事務ヲヤリマシテ、サウシテ大體十月時分ニナリマシタナラバ、新シイ會社ノ者ニ引渡スト云フ順序ニナルノデアリマス、其點ニ於キマシテハ商法ノ普通ノ設立方法デナクテ、特別立法ノ此特別法ニ基イテ設立ノ方法ニナル譯デゴザイマス、出資ノ點ニ於キマシテハ、此資本金三千萬圓ノ中千五百萬圓、半額ダケハ官租地ヲ現物出資スル譯デゴザイマス、現物出資ト云フコトハ、此法律ノ中ニモ金錢以外ノ財産ヲ出資スルト云フ條

項ガ入ッテ居リマスガ、出資ニ關スル規定ハ大體商法ノ規定ニ準據シテ、出資ノ手續ヲ致ス積リデゴザイマス、ソレカラ其他ノ民間ノ千五百萬圓ノ株式ニ付キマシテハ、或ハ臺灣内ニ於ケル特殊ノ、例ヘバ製糖會社トカ、サウ云フ特殊ノモノニ對シテ、一部株式ヲ引受ケテ貰フト云フヤウナコトハ、是ハ將來會社ガ出來マシタ上ニ於キマシテモ、土地ノ經營其他ノ關係上、或ハ必要カト思ッテ居リマスガ、一般ノ民間ニ對シマシテモ或ル程度株式ヲ公募スル必要ガアルト思ッテ、其豫定デ以テ進ンデ居リマス

○粟山委員 松尾君ノ質問ニ關聯シテ一寸……政府ガ出サレマス代物出資ノ評價ト云フモノハ、至極是ハ大切ナモノト考ヘマスガ、其評價委員會ヲ設ケラレル委員ノ種類ハ何デスカ、官吏ノ方バカリデスカ、民間カラモ御選定ニナリマスカ

○北島政府委員 評價委員ノ組織ハ大體勅令ヲ以テ規定スル豫定デゴザイマス、其類觸レハマダ決定致シテ居リマセヌガ、御話ノ通り關係ノ役人以外ニ、民間ノ人モ或ル程度入レル豫定デゴザイマス

○松尾委員 ソコデ政府ノ出資致シマス千五百萬圓ノ代物ノ第一回ノ拂込ハ、ヤハリ一般ノ株主ノ拂込ガ四分ノ一デスカラ、

是モ四分ノ一拂込ト見テ宜シイノデゴザイマスカ

○北島政府委員 政府ノ現物出資ニ付キマシテハ、一般ノ商法ノ規定ニ基キマシテ、全額拂込ノ株式ヲ交付スル積リデアリマス、隨ヒマシテ大體千五百萬圓ニ相當スル官租地ヲ、全額同時ニ最初カラ出資スル豫定デアリマス

○松尾委員 サウ致シマスト私ハ代物出資ノ評價ノ點ニ付キマシテ、利潤ヲ本トシテ評價スル場合、不動産ノ評價ノ如キハ利潤ノ少イモノデモ、相當ノ價格ヲ持ッテ居ルモノガアルノデスガ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、利潤ヲ本トシテ還元シテ、ソレノ價ヲ評價サレルト云フコトデナケレバナラスト思ヒマスガ、其點ヲ念ノ爲ニ御同致シテ置キマス

○北島政府委員 官租地ノ評價ニ付キマシテハ、評價委員ヲ設ケマシテ十分慎重ニ審議シテ戴ク豫定デゴザイマスガ、今ノ所目標ト致シテ居リマスモノハ、現在一萬八千甲バカリノ官租地ニ付キマシテ、小作料ノ收入ト致シマシテ、大體百十二萬圓見當ノ收入ガゴザイマス、之ニ對シマシテ之ヲ會社ニ出資シタ場合ニハ、地租附加税其他又徴收ノ費用モゴザイマスガ、サウ云フモノ

ヲ差引キマスト、大體約八十萬圓見當ニ利益ガナルドラウト思ッテ居リマス、サウシマスト八十萬圓ヲ之ヲ何分デ還元スルカト云フコトハ餘程問題ダト思ヒマス、假ニ五分五厘——六分足ラズデゴザイマスガ、サウシマスト千五百萬圓程度ガ適當デハナカラウカ、尤モ内地ノ土地ノ利潤カラ見マスルト云フト、五分トカ六分トカ云フコトハ、ソレハ非常ニ高イデハナイカト云フ御考ガ、當然湧イテ來ルカト思ヒマスガ、其點一般ニ御承知ノヤウニ、内地ニ較ベマスト朝鮮、臺灣ノ利子ハドウシテモ内地ヨリモ高クナッテ居リマス、其關係カラ多少考慮シナクテハナラヌカト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ現在國有財産ノ臺帳ニ登錄シテ居リマスガ、其登錄ノ價格ガ現在約千四百萬圓ト云フコトニナッテ居ル、其點ヲ睨合ヒマシテ、大體千五百萬圓見當ト云フコトニ、一應ノ決定ハ致シタノデアリマス、併シ勿論最後ノ決定ハ、評價委員會デ嚴正ナ評價ヲシテ貰フ積リデアリマス

○松尾委員 サウナリマスト斯ウ云フコトガ起ルヤウニ考ヘラレルノデスガ、是ハ既ニ總督府ノ毎年財産カラ上ル收入ハ、歲入ニ計上サレテ居ルト思フ、財産トシテハ今度ハ不動産ガ株式ニ變ルカラ、財産ニハ變

動ハナイト思ヒマスガ、此案ヲ見マスト數年間ハ少クトモ配當ガ出來ヌヤウニナッテ居ル、一般ノ株ニ六朱ノ配當ガ出來ル迄ハ、此政府ノ方ノ配當ハセナイト云フコトガ明ニ示サレテ居リマスカラ、會社ノ創業當時カラ直チニ大キナ利益ガ出ナイコトハ、普通ノ狀態デアリマスノデ、何年間ト云フモノハ臺灣總督府ノ歲入ガ是ダケ減ルノデハナイカト思ヒマス、ソレハモウ減ルト云フコトハ明カドラウト思ヒマス、減ッタ場合ハソレフドウスルカ、勿論大藏省デモ其點ハ承認ヲシテ居ラレルドラウト思ヒマスガ、其減ッタモノハ結局ヤハリ國民ガ負擔スル、不足ダケハ之ヲ一般ノ財政ノ方カラ繰入レナケレバナラヌト云フコトニナリハシナイカ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○北島政府委員 大體御話ノ通りデゴザイマシテ、現在百十二萬圓見當ノ收入ガアツテ、多少ノ經費ハ掛リマシテモ相當ノ財源ハ現在總督府トシテ入ッテ居ル譯デアリマス、然ルニ會社ニ現物出資致シマシテ、株式ヲ取得致シマシタ場合ニ於テハ、其會社ノ收支ハ只今御話ノ通りニ、初メノ間ハ恐ラク配當ヲ期待スルコトハ困難デアラウト、吾々モ豫想致シテ居リマス、唯配當ハゴザイマセヌデモ、當然地租或ハ所得税ト

云フモノガ多少ハ入ッテ參リマス、併シソレハ二十萬カソコノ金額デアリマシテ、到底現在ノ收入全額ヲ之ニ依ッテ補フト云フコトハ、無論不可能デアルト吾々モ考ヘテ居リマス、唯將來、或ハ十年ナリ、モット先ニナリマスレバ、多少ノ配當ヲ豫想シ得ルト思ヒマスガ、財源關係ニ於キマシテハ、或ル程度現在ニ較ベマシテ、臺灣總督府ノ歲入ガ、減ルモノト考ヘテ居リマス、唯現在臺灣總督府ノ財政ハ相當巨額ノ歲入モゴザイマスノト、又一方當然大キナ歳出モゴザイマスルガ、此程度ノ歲入ノ減少ヲ來シマシテモ、臺灣總督府ノ特別會計ノ財政上ニハ、非常ナ影響ハナカラウト考ヘテ居リマス

○松尾委員 ソレカラ私ハモウ一ツ最後ニ御尋シタイノハ、此第十四條ニ掲ゲラレテ居リマス政府以外ノ株式ニ對スル配當ガ年六分ヲ超過シテ、更ニ又總株式ニ年六分ノ配當ガ出來ルヤウニナッテカラ一ト四ノ割合ニナルノデスカ、是ハ一般ノ株式ニ對シテ六分ノ配當ガ出來ルヤウニナッテカラノ超過額ニ對シテハ、一ト四ノ割合ニ配當スル意味デスカ、其一ト四ノ割合ト云フノハ、何カ據ル所ガアツテ此割合ヲ決メテ居ラレルノデスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○北島政府委員 十四條ノ趣旨ハ後段デ申

サレマシタヤウナ趣旨デゴザイマスガ、大體政府ノ持株ニ對シテハ、民間配當ニ六分ノ配當ヲシ得ル迄ハ政府ノ持株ニ對シテハ配當シナクテモ宜シイ、ソレカラ六分ヲ越エテ、例ヘバ民間ニ對シテ七分配當ヲシ得ルヤウナ場合ニ於テハ、政府ニ對シテ四分ヲ配當スル、ダカラ民間配當七分ノ場合ニハ政府ニ對シテハ四分、八分ノ場合ニ於テハ政府ニ對シテハ八分、ソレ以上ハ勿論九分デシタラ九分、一割デシタラ兩方一割、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ斯ウ云フ例ト致シマシテハ、現在臺灣電力株式會社ノ實例ノ中ニ、大體是レト同ジヤウナ規程ガゴザイマスガ、是ハ所謂政府ノ持株ニ對スル率ガ是ト變ッテ居ル、臺灣電力ニ關スルモノハ此六分ト云フノガ八分ニナッテ居ル、ソレカラアトノ均一ノ割合ニ達スル迄ハ一ト四ト云フノガ、臺灣電力ハ一ト二トナッテ居ル、然ルニ臺灣電力ハサウ云フ風ニ非常ニ良クナッテ居リマスガ、此法案デハ多少下ゲマシタノハ、大體現在ノ色々ナ金利其他ノ關係カラ申シマシテモ八分トカ或ハ政府ニ對シテ一ト二ト云フノハ、現在カラ見マスト、ソレデハ少シ良過ギハセスカ、一ト四、此程度ノ方ガ宜クハナイカト

云フ譯デ、此程度ニ直シタ譯デアリマス

○松尾委員

甚ダ聽取りニクカッタノデスガ、超價額ヲ一ト四ノ割合ニ配當スル、其方法ハ超過シタ金額ヲ一ト四ノ割合ニ割ルノデスカ、超過シタラ七分ニナレバ一方四分、政府ノ方ニ四分配當スル、五分ノモノヲ四ト一ニ配當スル、超過シタモノヲ一ト四ニ配當スルノデスネ、一寸解釋ガシニクイ、今アナタノ御話デハ六分ノモノガ七分ニナッタ場合ニハ、其七分ニナッタ場合ノ一分ヲ四ト一ニ割ル、斯ウ云フ譯デスネ

○北島政府委員

是ハ御説明ノ仕方ガ拙カッタカモ知レマセヌガ、要スルニ六分ヲ越エタル利益金額ハ、一ト四ノ割合デ民間ト政府ニ分ケルト云フ趣旨デゴザイマシテ、結局民間ニ對シテ七分ノ場合ニハ、政府ニ對シテ四分、民間ガ八分ノ場合ニハ政府モ八分、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○松尾委員

私ハ是ダケデアリマス

○櫻井委員

片山秀太郎君

○片山委員

初メ二點ダケヲ拓務大臣ニ、アトハ政府委員ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、興中公司ト云フ民國ニ事業ヲスル會社ガ出來タ筈デアリマス、是ハ滿鐵ガ資本ヲ出シテ、事業家ノ各方面カラ贊成ガアッテ、相當大仕掛ケナ計畫ノ下ニ成立ッテ居ルト

私ハ承知ヲシテ居リマスガ、現在ドウ云フコトヲヤッテ居ルカ存ジマセヌケレドモ、其當時ノ話ニ依リマス、是ハ北支那ニ限ラズ寧ろ南支那、就中廣西地方ニ投資ヲスル目的ヲ以テ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、此會社ト今度造ラレマス臺灣拓殖株式會社トノ關係、詳シク申シマスレバ相提携シテヤルトカ、或ハ其分野ヲ定メルトカ、何カソコニ申合セデモアリマス、或ハ有利ナ事業デアレバ競争デモシテヤルト云フヤウナ、自由ナ立場ニ置カレテ居ルノデアリマス、其點ヲ一ツ伺ッテ置キマス

ソレカラモウ一ツ、私ハドウモ悪い方面ダケヲ見テ御尋ネシマスカラ、何ダカ反對ノヤウニ受取ラレルカモ知レマセヌガ、ソコハ白紙デアリマスカラドウゾ……今マデ南支、南洋地方ニ事業ヲシタ經驗ハ隨分アリマスガ、大抵成功シテ居リマセヌ、大正五六年頃、經濟界ガ非常ニ好景氣ノ波ニ乗ッテ居リマシタ當時ニ、南支、南洋進出ト云フ聲ガ甚ダ高クナリマシテ、色々事業ヲ計畫シタ者ガアッタノデアリマス、臺灣總督府ニ於キマシテモ、此當時ニ於テ相當之ヲ援助スルニ力ヲ盡シタノデアリマスガ、其經過ハ思ハシクナカッタ、殊ニ馬來半島ニ於ケル護謨事業ノ如キモノハ、我ガ國家ニ多大

ノ損失ヲ與ヘタト云フコトハ注目ニ値スルコトデアリマス、是等ノ原因ヲ能ク御究メニナッテ居ルコトトハ信ジマスガ、其邊ノコトヲドウカ出來ルダケ詳シク御説明ガ伺レバ幸ヒデアルト存ジマス、此二點ダケヲ大臣ニ御面倒ゴザイマセウガ御伺ヒ致シマス

○永田國務大臣

サウ云フ事柄ハ實ハ片山君ノ方ガ私ヨリ能ク知ッテ居ラレト考ヘルノデアリマスガ、第一ノ興中公司ノコトハ、是ハ滿鐵ガ控ヘテ居ッテ出來タ會社デアリマスガ、是モ南ノ方ニ於テモヤハリ其仕事ヲスルコトニナッテ居リマスカラ、自然地域ニ於テハ重複スルヤウナ場合モアリ得ルノデアリマス、唯事業性質其他ニ於テ、サウ云フ場合ニハ興中公司デヤルヤウニスルシ、又此方ノ方デヤル方ガ便利デアルト云フ時分ニハ、此方デヤル、其間ニ於テハ十分ノ協調ヲ保ツヤウニハ考ヘテ居リマス、既ニ興中公司ノ方デモ、此會社ノ要綱等ニ付テ色々内容ヲ調ベタリ、色々シテ居リマスヤウナ次第デ、能ク打合セテ行ケバ決シテ互ニ面倒ヲ起サウナコトガナク、却ッテ相扶ケテヤレルヤウナ工合ニ、十分統制ガ出來ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ今「マレー」半島護謨ノ栽培ニ失敗スルト云

フヤウナコト、或ハ其他アノ南洋デ色々ノ事業ヲ企テタリ、或ハ移民ナンカモヤッタリシテ、其間ニ製材事業ヲヤツタリシテ居ルヤウナ事柄ニ付テモ、失敗ノ歴史ガ實ニ多々アリマス、是ハドウシテモ冒險ガ伴フモノデアラカラ、ウマク行ク場合ト失敗スル場合トガアルシ、又ウマク行クベキ性質ヲ持ツテ居リナガラ、金融ノ都合ガ付カナイガ爲ニ、ミスノ有リナ事業ヲ棄テ、歸ラナケレバナラヌト云ツタヤウナ境遇ニ立ツタ、極メテ殘念ナ場合モ多々アルノデアリマシテ、是等ノ實情ハ、隨分是マデ日本ノ實業家トシテハ、皆苦シイ經驗ヲ嘗メテ居ルノデアリマス、隨テ此會社設立ニ付キマシテ、社長其人ニ對シテ非常ニ重キヲ置カナクチヤナラヌト云フ皆サンノ御意見ニ、全ク御同感ナ理由ハ、此會社ハ一面ニ於テ大イニ勇氣ヲ出シ、サウシテ冒險モ、多少ノ危險性モ見ナケレバナラヌノデアリマスガ、同時ニ又餘リニ無謀ノ行キ方ニ依ッテ調査ノ不十分ナ所、サウ云フヤウナ場合デ失敗ヲ來シタリ、或ハ氣ヲ付ケル所ノ行キ方、注意スベキ點ニ杜撰ナ所ガアル爲ニ失敗ヲ來ス場合ガアル、ソコデサウ云フ失敗ヲナクスル爲ニハ、是ハドウシテモ社長其人ニ、相當スウ云フ方面ニ付テ經驗モアル

シ、又サウ云フコトニ拔リノナイ人ヲ得ナケレバナラヌノデアリマシテ、斯ウ云フ所ヲ非常ニ苦心シテ居リマスガ、サウ云フ失敗ヲシタ事柄ニ付テノ實情ハ、少シ知り過ギル程知ツテ居ルノデアリマス、此點ニ付テハ十分氣ヲ付ケテヤル積リデアリマスガ、サウ云フコトガアツタカラト云ツテ、今默ッテ居ル譯ニ行カナイノデ、已ムニ止マレヌ此世界ノ、日本民族ニ對スル周圍ノ重壓ニ對シテ活動ヲ努メナケレバナラヌ、斯ウ云フコトデヤルノデアリマスカラ、十分注意スル積リデアリマス

○片山委員 洵ニ結構ナ御説ヲ承リマシタ

ガ、玆ニ一ツ申上ゲテ置キタイノハ、本會議ノ時ノ大臣ノ御説ニ依リマス、英領「ボルネオ」ダトカ、或ハ「マレー」半島トカト云フコトヲ御指摘ニナリマシタガ「マレー」半島ハ別トシテ、英領「ボルネオ」ト云フ所ハ、餘リ良イ所デハナイノデアリマス、ソコデ今ノ御趣旨カラ私ハ出發シテ考ヘマスノニ、ドウシテモ是ハ外交的ニ蘭領「ボルネオ」ノ方ニ進出スル途ヲ確立スルニアラザレバ好結果ハ得ラレナイ、斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、拓務大臣ニ於カレテハ十分ニ御打合ノ上、寧ロ鞭撻シテヤルヤウニ希望スルト共ニ、外務省ノヤリ口ヲ兎ヤ角言

フヤウデスガ、領事ハ斯ウ云フ事業ハ面倒デスカラ、餘リ關係シタガラナイ、是ハ吏道確立ノ上カラ是非熱心ニヤラスヤウニ、オヤリニナラヌトイカスト考ヘテ居リマスソレカラ是ハ臺灣ノ當局ノ御方ニ承リタイノデアリマスガ、移民事業ニ付テモ、調査資料ニ依リマスレバ、大變能ク出來テ居リマス、之ニ依リマス、東部臺灣ノ移民事業ガ好キ經驗ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ官營デヤリマシタ時ニハ、非常ナ艱難、手違ヒ等ヲ生ジタコトモアリマシタノデ、一時臺灣總督府ニ於テハ悲觀ヲシテ居ッタヤウナコトガアリマス、其後東部ノ臺灣ノ移民事業ハ、ドウ云フ經過ヲ辿ッテ進ンデ行キマシタカ、又新ニ煙草移民ダトカ、漁業移民ダトカ云フモノヲヤツテ居リマスガ、是ハ東部臺灣ノ移民事業ニ何等カノ改良ヲ加ヘタ點ガアリマス、其事ヲ一寸伺ヒタイ、問題ハ澤山アリマスカラ一ツ宛...

○平塚政府委員 本部臺灣ノ移民事業ハ、

參考書トシテ差上ゲマシタモノノ中ニアル通りデアリマスガ、從來經濟界ノ動搖ニ從ヒマシテ、非常ニ困難ヲ致シタ時代ガアツタノデアリマス、然ルニ近時經濟界ノ好況ニ伴ヒ、又一面ニ於キマシテハ移民ヲ致シタ人々ニ對シマシテ、多角形的ノ職業ヲヤ

ルト云フヤウナ方面ニ向ッテ注意ヲ致シマシテ、又其地方ノ移民村ノ中心トナリマシタ人々ガ能ク相談ヲ致シマシテ、更生ノ途ヲ圖リマシタ結果、又總督府ノ方ニ於キマシテモ、出來得ルダケノ援助ヲ致シマシタ結果、東部臺灣ニ於キマスル移民村ハ、益々良好ナル成績ヲ辿ルヤウニ相成ツタ次第デアリマス、尙ホ煙草移民或ハ西部ニ於テノ移民村ノ其後ノ經營ニ付キマシテハ、從來ノサウ云フ點ヲ考慮致シマシテ遺憾ノナイヤウニ注意ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、殊ニ煙草移民等ニ於キマシテハ、内地ノ人々ガ最モ特色トスル點デアリマスカラ、内地ノ移民ヲ招致スル上ニ於テ極メテ適切ナ移民事業デアルト信ズルノデアリマス、斯ク致シマシテ從來失敗ヲ致シタト考ヘテ居リマスル唯甘蔗ノ耕作ニノミ偏シマシタモノヲ、西部方面ノ移民村ニ於キマシテハ、其他ノ特殊ノ作物等モ獎勵致シマシテ、所謂多角形的ノ農業經營ヲヤツテ、效果ヲ擧ゲルヤウニ注意ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○片山委員 其次ニ御尋致シマスノハ、會

社ニ與ヘマス財産ノコトデアラガ、未開墾原野ガ相當ニ今日多イヤウニ心得テ居リマス、サウ云フ原野ヲヤハリ繰入レル御見込

デアリマス、若クハ官租地ダケニスル御考デアリマス、ソレカラ同ジ官租地見クヤウナ性質ヲ持ッテ居ル學租ト云フモノガアル、是等モ或ハ會社ニオヤリニナル積リデアリマス、或ハソレハ保存ヲシテ、何カ從來ノ通り御使用ニナル積リデアリマス、此點ヲ伺ヒマス

○平塚政府委員 提供ヲ致シマスル財産ハ、先刻説明ノアリマシタ通りニ、官租地ヲ提供ヲ致シテ、是デ目的ノ千五百萬圓ノ出資ニ充テ得ル見込ヲ持ッテ居ルノデアリマス、

唯本會社ノ事業ヲ進行スルニ伴ヒマシテ、色々ナ開發ノ事業ヲ行ヒタイト考ヘテ居リマスルカラ、此際ニ於キマシテハ、或ハ未開墾地ノ拂下ヲ受ケルトカ、貸下ヲ受ケルトカ云フヤウナ方法ニ依リマシテ、島内ノ開發ヲ圖ルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、サウ云フ風ニ發展ヲ致サセマシテ、島内ノ開發ヲ圖リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、學租財團ノコトニ付キマシテハ、之ニハ關係ハアリマセヌ、學租財團ハ學租財團トシテ從來通り存續セシムル考デアリマシマス

○片山委員 臺灣ノ教育制度ガ段々大キク

ナツテ來マシタニ付キマシテ、其基本財産ヲ作ルコトガ宜カラウト云フ意味デ、總督府ニ於キマシテハ是ガ計畫ヲ立テタコトガ

アツタヤウニ心得テ居リマス、其當時ニ於キマシテ官有林野、就中山林ノ有望ナモノヲ之ニ充ツルト云フノデ、是ハ當時ノ中央政府ニ對シマシテモ、相當進シテ交渉ヲシテ居ッタノデアリマスガ、此參考資料ニ依リマスルト、臺灣拓殖株式會社ハ林業ノ經營ヲモ爲ストナツテ居リマスガ、其邊ノ關係ハ御考慮ニ入レテアリマスルノデアリマセウカ、其邊ヲ御伺シマス

○平塚政府委員 教育ノ振興ニ伴ヒマシ

テ、其基本財産等ニ付キマシテハ、只今ノ所總督府直營ノ學校等ニ關シマシテハ考慮ヲ致シテハ居リマセヌデアリマス、唯片山君ノ御質問ハ大學田等ノコトデナカラウカト考ヘマスルガ、是ハ大學田ハ大學田トシテ、從來ノ通りニ存續致シテ居リマス、尙ホ教育制度ノ發達ニ伴ヒマシテ公學校其他ニ於テハ非常ナ經費ヲ要シマスルノデ、街庄詰リ地方團體ニ對スル基本財産ヲ提供シテ行キタイト云フ意味ヲ以チマシテ、總督府ノ方ニ於キマシテハ、街庄ニ基本財産トシテ與ヘタト云フモノガ澤山ゴザイマス、ソレハ取除イテゴザイマス

○永田國務大臣 片山君ヨリ先刻「ボルネオ」

ノコトニ付テ一寸御尋ガゴザイマシタガ、南洋各地ノ事情ニ付テ、他ノ政府委員カラ此

際申上ゲタラバ宜シカラウカト私ハ考ヘテ居リマス、若シ御差支ナケレバ速記ヲ止メテ、他ノ政府委員ヨリ申上ゲタイト思ヒマス

○櫻井委員長 一寸速記ヲ中止シテ……

〔速記中止〕

○片山委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

○栗山委員 私ハ先般來皆サンノ賢明ナル

御質問ニ對シ、大臣閣下竝ニ委員諸君ノ極メテ明快ナ御意見ヲ承ッテ居リマスル間ニ、何トシマシテモ此法案ハ無修正デ通過スルデアリマセウケレドモ、是ハ此會社法ノ中デ人事ニ關スルモノト、資本關係、此二ツガ重要ナ問題デアリマス、大臣ノ今ノ御答ト高山局長ノ御答ニ付テ私關聯シテ申上ゲルノデスガ、會社トシテハ徒ニ冒險ハ出來ナイ、利益ヲ目的トスルモノデス、併ナガラ大臣ノ抱負經綸ガ此法案トナツテ表ハレテ居ルノデアリマス、國策遂行——經濟的ニ強イ力デ所謂經濟外交ヲ實行シヨウ、力デ行クノダト云フ時ニハ、ヤハリ將來如何ナルコトガアツデモ、問題ノ起ラナイヤウナ用意ノ下ニ進メラレルト云フコトガ一番肝腎ダ、ソレニハ何ト云ッテモ金ガ要ル、早ク手ヲ著ケテ取ッテ置ケバ、先取特權デ權利ヲ強ク主張シテ行ク、對手國ガドンナ勝手ナ法律ヲ作ラウトモ、ソレニ抗議ヲ申込ンデ

行ケルダケノ先取權ト云フモノヲ得ラレル、ソコデ色々海軍大臣ノ仰セラレタ説明ヲ聽キマシテモ、成ベク早く取計ヒタイト云フヤウナ御希望モアルコトモ、伺ッテ居ルノデアリマス、何ニシテモ他人ノ國ニ行ッテ仕事ヲシヨウト云フノニハ金ガ要ル、所ガ此三千万圓ノ會社ガ、拂込ガ其四分ノ一ダトスレバ七百五十萬圓デスガ、是デ取敢ヘズ賄ッテ行クトスレバ洵ニ心細イ金デス、結局ハ社債ニ依ラナケレバナラス、社債ニ依ルト云フコトハ、是ハモウ政府ノ方デ、マア重イ負擔ヲ負フト云フコトニナル、ソコデ私ハ成ベク早く、僅カ七百五十萬圓位ノ金デハ心細イカラ、社債ヲ發行シマシテ相當ノ金額ヲ用意シテ、大臣ノ御懸念ニナル——高山局長ノ興味アル御話ヲ聽キナガラ懸念サレル點ヲ豫メ用意スルヤウニ、相當ノ金額ヲ私ハ用意シテ貰ヒタイト思フ、私大體是ダケノ大事業ヲスルニハ、三千万圓ト云フ資本金ハ洵ニ是ハ心細イ、大臣ノ抱負經綸カラ言ヒマスレバ、其物足リナイ金額ヲ眺メテ居タ位——併シ取敢ヘズ三倍ノ社債發行ガ出來ルノデアリマスルカラ此條項ヲ生カシテ、サウシテ十分手取り早く國策ヲ遂行ノ實ノ舉ガルヤウニシテ戴キタイト思フ、然ラバ合理的ニ鈴木サンノ杞憂モ段々

小サクシテ仕事ニ取掛カレル、高山サンノ御懸念モ段々小サナ範圍ニ狹バメラレルト思ヒマス、ソレカラ同時ニ人ノ問題デアリマスガ、是ハ會社ノ出來ル時ニハ何時モ特殊會社ニ付テハ、色々尤ラシイ御返事ヲ聽キマスガ、サテ人選ト云フコトニナリマス、必シモ一般ノ人ニ満足ヲ與ヘナイ例ガ少クナイノデアリマス、併シ斯ウ云フ時勢ニナツテ、所謂今日ノ財政、經濟デモ、經濟ノ原則マデニモ及ンデ論議サレルヤウナ時代ニナリ、又日本ノ經濟力ト云フモノハ昔日ノ如クデハナイ、又日本ノ國力ノ發展ト云フコトモ、昔日ノ狀態デハナイト云フ時機ニ當ツテ、此會社ノ進出スル事業ノ成果ト云フモノハ、私ハ是ハ十分期待ガ出來ルト思ヒマス、其時ニ當ツテ人其宜シキヲ得ルカ否カト云フコトハ、重大問題デアル、金ト人デアル、私ハ民間カラモ——成程民間デ五千万圓、一億萬圓ノ社長ナリ、事務ノ人ガ、半バ御役人ニナツテ極メテ僅ナ報酬ヲ貰ツテ、窮屈ナ想ヒヲシテ、サウシテ他ノ會社マデ辭メナケレバナラヌト云フコトデハ、中々金ノ點ニ於テハ承諾スル人ガアリマスマイ、併シ今日ノ國策打開ノ爲ニ大臣ガ先ヅ御進ミニナラレルナラバ、私ハ金ナント云フコトヲ考ヘナイデ、奮發スル

ダケノ人ガ出テ來ヤセスカト思フ、出ネバナラスト思フ、サウ致シマスルナラバ、私ハ本當ニ此事業經營ニ、申分ノナイ人材ガ得ラレルト思フノデアリマス、デアリマスカラ官吏ノ古手ト言フデモ、決シテ古手ト言フデ貶スベキモノデナイ、其中ニハ隨分立派ナ人モ居ルノデアルカラ、官吏ノ古手モ結構、會社ノ先輩デモ結構、サウ云フコトナシニ、ドウカ一ツ人材ヲ得ルト云フコトニ十分御力添ヘアラントコトヲ私ハ希望致シマシテ是デ私ノ質問ヲ終リマス

○櫻井委員長 ソレデハ正午ニナリマシタカラ是デ休憩ヲ致シマシテ、午後二時ヨリ開會ヲ致シマス

午後零時六分休憩

午後二時八分開議

○櫻井委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——木下信君

○木下委員 第一ニ此會社ノ活動サル、範圍ト云フコトニ付キマシテ、拓務大臣ノ御答辯ヲ御願致シタイト思ヒマスルガ、過日本會議ニ於キマシテ、拓務大臣ノ會社ノ事業ニ付テノ御話ノ中ニハ「各種ノ栽培事業其他拓殖事業並ニ之ニ關聯スル種々ノ施設ヲ致シマス、サウシテ更ニ又一面ニハ進シ

デ南支、南洋トノ經濟的提携ヲ密接ニシテ、其活動ヲ促シタイト云フ考デゴザイマシテ」云々ト云フ御話デアッタノデゴザイマス、隨テ私自身ニ於キマシテハ、大體此會社ノ施設經營ハ、臺灣ノ仕事ヲ中心ト致シマシテ、又一面ニ於テハ主力デハナイケレドモ、南支、南洋ノ方面ニ向ツテ相當ニ活動シヨウト云フ御考デアルト考ヘテ居ッタノデアリマス、然ルニ本日ノ御話ニ依リマスルト云フト、大分話ガ違フノデ、寧ロ私ハ一驚ヲ喫シタヤウナコトデアアルノデアリマス、全體此南支、南洋方面ニ向ツテ進出ト云フコトハ、一ツノ國策トシテ吾々モ衷心カラ贊同致シテ居ルコトデアリマスルガ、果シテ此會社トノ關聯ニ於テ、左様ナコトガ出來得ルモノカドウカ、又爲ス所ノ力ガアルモノカドウカ、其點ニ付テハ大ナル疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、第一ニ御伺シタイノハ、果シテ南支、南洋方面ニ向ツテ此會社ノ施設ヲ爲スベキヤウナ仕事ガアルデアリマセウカ、先程片山君ノ御話ニモ「サラワク」ノ農業移民ノ、極ク微々タル仕事ニ付テノ御話ガアッタノデアリマスガ、斯ノ如キコトハホンノ一端デアリマシテ、殆ド大シタ問題ニスル程ノコトモナイト思フノデアリマス、勿論「ニューギニヤ」方面ノコ

トニ付キマシテハ、是ハ南洋拓殖ノ方ノ關係デアリマスノデ、相當考慮スベキ餘地ガアルノデアリマス、南支、南洋方面、所謂表南洋方面ニ向ツテ、果シテドレ程ノ仕事ヲ豫期サレテ、御計畫ニナツテ居ルノデアアルカ、私ハ大ナル疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、從來臺灣總督府ニ於キマシテモ、南支、南洋方面ニ向ツテハ、非常ナル注目ヲ致シテ、ソレゾレ經營畫策ヲ致シテ居ッタノデアリマス、御承知ノ如ク南支、南洋方面ノ施設費トシテ、今日マデニ千五百万圓投ジテ居ルノデアリマス、併シ洵ニ遺憾ナガラ、先刻片山君カラ御話ノアリマシタ通りニ、殆ド其仕事ノ殘ツテ居ッテ見ルベキモノガナイ、是ハ勿論ソレノ經營者ハ努力ヲ致シタコトデアリマセウガ、併シ實際ソレダケノ總テノ事業家ガ活動シテモ、成功スルダケノ仕事ガナイト云フコトガ、大ナル原因デアッタノデハナカラウカ、今日マデ或ハ「ボルネオ」、比律賓、「ジャワ」、「セレベス」島アタリニ事業ヲ爲シテ居リマス所ノ者ハ、常ニ臺灣總督府ニ於ケル、南支、南洋方面ノ施設費カラ、補助ヲ得ルト云フコトガ先方ノ希望デアツテ、而モ其補助ヲ得テモ、更ニ發展スルヤウナ仕事ガ出來ナイ、結局借金埋ニ之ヲ使ツテ居ルト云フヤウナ實情デアリ

マシテ、私は是等ノ點カラ考ヘテモ、果シテ斯ウ云フ會社ガ出來テ、仕事ヲスル餘地アリヤ否ヤト云フコトニ、大ナル疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、此點ニ付テ第一ニ御答ヲ願ヒタイト存ジマス、次ニ萬一仕事ガアルト致シマスレバ、私ハ相當ニ大キナ資本、大キナ力ガ後ロニ備ハラナケレバナラス、然ルニ此會社ノ如クニ僅ニ三千万圓ノ資本金デアリ、又債券ノ發行ト合セテ一億圓位ノ金デアリマシテ、之ヲ臺灣ノ方面ニモ使ヒ、南支、南洋方面ニ使フト云フヤウニ致シマシテモ、何程資本ノ投下ガ出來マセウ、結局南洋方面ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルコトハ、其會社ノ羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルト云フヤウナ結果ニナツテ、失敗ニ歸スルノデハナイカ、之ヲ非常ニ私ハ憂フルノデアリマスガ、果シテ其金デ以テ十分デアルト思フカドウカ、斯ウ云フコトニ付テ拓務大臣ノ御意見ヲ承リタイト存ジマス

○永田國務大臣 木下君ハ臺灣ノ方デ豐富ナ御經驗ヲ御持チデアリマス關係上、此會社ノ活動ニ付テ大イニ憂慮セラレルト云フ、洵ニ堅實ナ御考方ハ御尤モダト存ジマス、今日マデ種々ノ難題ガ之ニ伴ッテ居ッタコトハ、爭フベカラザル事實デアリマス、併シ是ハ餘リニムヅカシイ方面バカリヲ見テ居

リマス、進ム譯ニイカナイノデアリマス、又同時ニ餘リニ樂觀シ過ギテモイカナイノデアリマシテ、南ノ方ニ發展シテ、種々ノ事業ヲ平和ノ裡ニ成シ遂ゲヨウト云フコトハ、容易ノ業デハナイノデアリマス、唯之ニハ有力ナル外交上ノ活動ニ俟タナクテハナラス點ガ多アルト思ヒマス、政府ニ於テモ所謂自主積極ノ外交ト云フコトヲ申シテ居リマスガ、然ラバ何ガ自主積極ノ外交カト申シマス、ヤハリ相手ノアルコトデアリマスカラ、具體的ニ色々申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、唯力強イ外交ト相俟ッテ、ドウシテモ日本ノ現狀ト云フモノハ此儘ニ退嬰主義、即チ縮マツテ現狀維持ノ儘デ彼處ヘモ出テ行ケナイ、此處デモ仕事ガ出來ナイト云ツテ、默ッテ居レナイヤウナ境遇ニ居リマスノデ、所謂現狀ヲ打破スルコトヲ望ム國ト致シマシテ、ソレダケノ努力ヲシナケレバナラヌ境遇ニ立ッテ居ルノデアリマス、ソレデ南支、南洋ノ方面ニ於テ出來ル仕事ガドレダケアルダラウト云フコトニ付テハ、只今ノ所ハアア云フコトモシテ見タイ、斯ウ云フコトモシテ見タイ、ソレハ會社自身ガヤラナイデモ、他ノモノガヤル場合ニ、ソレニ金融シテヤラセタイト云ツタヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリ

マシテ、之ヲ健實ニ御考ニナツテ御心配ニナルト云フコトハ、洵ニ無理ナイ御心配デアルト思ヒマス、併シ相當ノ希望ヲ持ッテ居リマスシ、又出來ルダケノコトヲ、外交ト相俟ッテ努力シテヤッテ見ナケレバ、已ムニ止マレナイ境遇ニ居ルト云フ此日本ノ現狀トシテ、ドウシテモ之ヲデットシテ居レナイノデアリマスカラ、ヤレルダケノコトヲヤッデ見ロト云フ覺悟デ、努力シテ見タイト思フノデアリマシテ、御話ノコトハ洵ニ御尤モニハ考ヘマスケレドモ、ドウデモ萬難ヲ排シテ進ム、サウシテ打突カッテ見テ又考ヘル、唯先ヲ心配シテ引込シテ居ルヨリモ、打突カッテ考ヘルト云フ覺悟デ進ミタイト思フノデアリマス、就キマシテ是ダケノ費用デハドウニモナラヌデヤナйкаト云フ御尋デアリマスガ、是モ御尤モデ、初メカラ確實ニ何處其處ニドレダケノ金ガ要ルト云フコトヲ、サウ確然ト場所ヲ決メテ居ル譯デヤアリマセヌノデ、又相當ノ難關ガ横ハッテ居ルノデアリマスカラ、其事業ノ進捗ノ情勢ニ依ッテ、又財源ノ方ハ考ヲ付ケル、既ニ社債ハ全額ノ拂込ガナクテモ、三倍マデノ社債ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトデアリマスカラ、一億位ノ金ガ先ヅ出來ル譯デアリマスカラ、進捗ニ依リマシテ資本ハ

相當ニ出來ル、ソレデモマダ足ラスト云フヤウナ場合ニハ、又考ヘ方ガ如何様ニモアラウト思ヒマスルノデ、只今ノ行キ方トシテハ是レ位ノ資本デ初メ取掛ッテ、如何様デモ必要ニ應ジテ擴大シ得ルト云フコトデ進ムノガ、實際ニ適應シタ行キ方デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデ、御尋ノコトハ洵ニ御尤トハ存ジマスケレドモ、又日本ノ現狀ニ鑑ミテ默ッテ居レナイト云フ、此境遇ヲ能ク御諒解下サイマシテ、此案ハ此程度ノモノヲヤルト云フコトニ付テノ眞意ヲ御諒察アラント願ヒマス

○木下委員 只今拓務大臣カラ我國ノ南方發展ニ付テノ力強キ御話ヲ承ッテ、私共南方方面ニ付テ常ニ關心ヲ持ッテ居リマス者ニ於キマシテハ、洵ニ喜バシキコトト存ズルノデアリマス、併シドウモ今ノ御話ニ依リマシテハ、此會社ガ果シテ成功スルカドウカト云フコトニ付テ非常ナル疑惑ト危懼ノ念ヲ懷クノデアリマス、私自身ノ考ト致シマシテハ、恐ラク此會社ガ南洋方面ト云フコトヲ主トシテ居ッタラバ、經濟的ニハ必ズ失敗スルダラウト云フヤウナコトヲ惧レルノデアリマス、然ルニ一面ニ於テハ相當ニ株金モ募リ、又一面ニ於テハ社債モ募ル、果シテ其際ニ吾々ガ協賛シタ所ノ此法律ニ

依ツテ、國民一般ノ者ニ迷惑ヲ掛ケルト云フコトニ相成リマスルト云フト、洵ニ相濟マヌコトデアリマスカラ、其點ハ篤ト研究ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス、本來私ノ知リマス限リニ於キマシテハ、臺灣拓殖株式會社ト云フモノハ、相當ニ古ク計畫ヲサレテ居ツタヤウニ聞イテ居リマス、而モ其第一ノ目的ト云フモノハ、臺灣ノ官租地ト云フモノヲ、何時マデモ總督府ト云フヤウナ所デ以テ小作料ヲ取ツテ居ルト云フヤウナコトハ如何ニモ面白クナイ、寧ロ是ハ臺灣總督府自身ガ地主トナツテ、小作料ヲ取ルト云フヤウナ關係ヲ去ラウト云フ一ツノコトト、モウ一ツハ土地政策上カラシテ之ヲ一般ニ拂下ゲルト云フコトモ面白クナイシ、殊ニ濁水溪ノ附近ニ於ケル所ノ數千町歩ノ無斷開墾ノ土地モアリ、又臺南臺中ノ海岸方面ニハ相當大キナ有望ナ未開墾ノ土地モアル、是等ノ土地ニ付テモ、大體土地政策トシテ之ヲ拂下ゲレバ、何時カ知ラナイ内ニ——此處デハ甚ダ言惡イコトデアリマスカラ——結局内地人ノ手カラ離レテ總テノ土地ガ色々ノ人ノ手ニ獲得サレテシマフ、ソレデハ臺灣統治上カラ面白クナイコトデアルカラ、寧ロ是ハ官租地ト云フ觀點カラ、一面ニハ土地政策ノ上カラ土地ヲ會社デ

持ッテサウシテ土地ノ分散ヲ防ガウ、其代リニ其會社ヲシテ臺灣ノ總テノ殖産方面ノ活動ヲ儼然ト致サウト云フコトカラ、此會社ノ成立ヲ、其當時——凡ソ最近マデハ臺灣總督府ト致シマシテハ、臺灣拓殖會社ノ立案ヲシタコトト思フノデアリマス、又私共ハ只今デモ斯様ナコトガ最モ堅實ナ、又然ルベキ計畫デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、又私ズツ前ニ漏レ聞イタコトデアリマス、又私ズツ前ニ亡クナラレタ高橋藏相ノ如キモ、非常ニ此點ニ付テハ御心配ニナツテ、此會社ノ仕事ト云フモノハ、臺灣ダケデ止メル譯ニハ行カス、又資金ノ融通ノ如キニ付テモ非常ニ考慮シナケレバナラスト云フコトヲ非常ニ心配サレテ居ツタト云フコトモ、是ハ役人以外ノ私ノ友人ガ直接聞イタト云フ話デアリマシテ、臺灣ノ實情ヲ知ラル、方ニ於テハ當然ナ御考デアルト私ハ敬服ヲ致シテ居ツタノデアリマス、然ルニ今日マデノ私ノ知ル限リニ於キマシテハ、臺灣總督府ノ此會社ニ對スル意思ト云フモノハ全ク抛擲サレテ、サウシテ寧ロ、先程拓務大臣ノ御話ノヤウナ方針ニ相成ツタト云フコトハ、私洵ニ驚クノ外ハナイ、勿論南支南洋方面ノ發展ノ爲ニ臺灣ガ犠牲ニ供セラレルト云フコトハ、國策ノ爲ニ犠牲ニ供セ

ラレルト云フコトハ致シ方ナイコトデアリマセウ、併ナガラ洵ニ不堅實ナ、ドレダケ成功ヲスルカ、寧ロ危險分子ノ多イト云フヤウナ其會社ノ爲ニ、臺灣ノ百万圓ノ收入ノアル官租地ヲ放シ、尙ホ恐ラク無斷開墾地又ハ未開墾地アタリニ付テモ、將來ハ提供スルト云フヤウナコトニ相成ルコトデアリマセウ、サウ云フ風ニ致シマシタナラバ、臺灣ニ於テソレ等ノ收入ヲ以テ開拓スベキ幾多ノ事業ガアルニ拘ラズ、ソレヲ更ニ抛擲シテ、サウシテ其金ナリ、又精力ヲ南方ニ使フト云フコトガ、果シテ臺灣統治ノ上カラ見マシテ、拓殖全部ノ上カラ見マシテ、果シテ適當ナコトデアアルカドウカ、私ハ之ニ對シテ大ナル疑問ヲ持ツノデアリマス、勿論南方發展ノ爲ニ國費ヲ投ジテヤル、又會社ヲ起シテヤルト云フコトハ、是ハ私モ頗ル贊同スルコトデアリマスガ、寧ロスノ如キ會社ニ於キマシテハ、臺灣開發ヲ大體ノ中心ト致シマシテ、而モ從來ノ臺灣當局ト致シマシテハ、南支南洋方面ニモ心ヲ配ツテ、サウシテ努力ヲ致シタコトデアリマスルカラ、此會社モヤハリ從來ト同ジヤウニ、臺灣ノ開發ト云フモノヲ兎ニ角堅實ニ打立テ、サウシテ一面ニ於テハ之ヲ南支南洋方面ニ力ヲ注グト云フ位ノ程度ニ致シテ置

クコトガ、寧ロ此會社トシテハ堅實デモアリ、又從來ノ關係カラ見マシテモ穩當デハナカラウカ、若シモ南洋方面ニ向ツテ是非國策上ヤラナケレバナラス、今日ノ情勢ハ左様ナコトハ許サナイト云フナラバ、私ハ國費ヲ以テ、又他ノ國有財産ヲモ入レテ、サウシテ大ナル會社ヲ以テ發展スベキコトガ、是ガ適當デヤナイカト思フ、勿論色々ノ國際上ノ關係モアリマセウ、隨テ臺灣拓殖會社ト云フヤウナ所ニ、一種ノ名ヲ出シテ置クト云フコトモ一ツノ策デアラウトハ思ヒマスケレドモ、臺灣自身ノ事情ガマダ開發スベキ、又資金ヲ要スベキ狀態デアリ、又今日南支南洋方面ノ事業ト云フモノガ洵ニ不堅實デアルト云フヤウナ立場カラシテ考ヘマシテ、徒ニ此南支南洋ト云フヤウナ言葉ニ幻惑サレテ、其方面ニ向ツテ大イニ活躍スルト云フヤウナコトヲ、夢ノヤウナコトヲ思ハレルト云フコトハ——勿論相當御計畫モアリ、御經綸モアルデアリマセウケレドモ、又見方ニ依リマシテハ、洵ニ夢ノヤウナ感ジノスル事情モアルノデアリマス、私ハ先程拓務大臣ノ仰セラレタ方針ニ付テハマダ納得ガ出來ナイノデアリマシテ、ドウカ臺灣ヲ中心ニシテ、サウシテ勿論南支南洋方面ニ向ツテハ從來ノ通り——

其後モサウデアアルケレドモ——會社トシテハ臺灣ヲ中心トシテヤルト云フ考ヲ懷カレルコトガ出來ナイデアリマセウカ、又若シモ必要ガアルナラバ他ノ方法ヲ以テ大ナル會社ヲ持ッテ行クト云フコトノ御考ハ御持チデアリマセウカドウデセウカ、之ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○永田國務大臣 臺灣ニ特殊ナ關心ヲ持タレ、且ツ苦イ御經驗ヲ嘗メテ居ラレル方トシテ、臺灣ヲ本位ニシテ過チ莫レト祈ル其御心持ニ付テハ、全ク敬意ヲ表シマス、尋常一樣ノ時期デアリマスレバサウ云フ考デ進ミタイモノデアルト存ジマス、併シ臺灣ノ位置ト云フモノヲ觀察スル觀察點ニ付キマシテ、是ハ政府トシマシテハ臺灣ノアノ儘ノ天然資源ヲ、其處デ其儘ニ開拓スルト云フコトダケガ臺灣ノ持ッテ生レタ何ト申シマスカ、臺灣ノ使命デハナイト思フ、所ガ領臺以後四十年間ニ長足ノ進歩ヲ致シマシテ、サウシテ内臺一緒ニナッテ進ンデ行キタイト云フヤウナ際ニ、臺灣ノ自然ニ持ッ所ノ使命ヲ考ヘテ見マス、今迄ノヤウニ唯臺灣ノ内部ノコトヲ啓發スルコトノミヲ考ヘルモノデナクシテ、寧ロ今マデ餘リ考ガ徹底シテ居ナイ所ノ東洋ニ於ケル地位ト云フコトカラ出發シタ物ノ見方ヲシテ、

其新シイ見方ニ付テ仕事ヲ始メテ見ル、斯ウ云フコトガドウシテモ現在ノ實情ヲ判斷スル上ニ付テ、變々物ノ見方カラ進ンデ行キタイト云フ所ニ吾々ノ氣持ガアルノデアリマシテ、其點ハ木下君ノヤウナ御考ノ事ハ洵ニ敬服スベキ現實性ヲ持ッタモノデアリマスケレドモ、所謂躍進シナケレバ立ッテモ居テモ居ラレナイト云フヤウナ日本ノ現狀ニ於テハ、出來ルダケノ試ミヲシテ見ナクチヤナラヌト云フコトニ想到致シマスルト、斯ノ如キ施設ト云フモノハ、是ハ兎ニ角ヤッテ見ルト云フコトヲ努力シテ見ナクチヤナラヌ境遇ニ居ル、就キマシテハ必ズ此南洋方面ノ事ハ失敗スルグラウト云フ御話デアリマスガ、此點ハ度々失敗ヲ繰返シテ來タ日本ノ南洋ニ於ケル施設ニ鑑ミマシテ、サウ云フ過チヲ度々繰返スト云フヤウナコトニ付テハ、今迄モ苦イ程經驗ヲ嘗メテ居リマスカラ、其經驗ニ鑑ミテ相當ニ調査ノ進ンダ上デ仕事ヲスルト云フコトニナリマスルシ、又種々投資ヲスルト云フ場合ニモ、餘程今迄ノヤリ損ヒガ藥ニナッテ行クト思ヒマス、ソレデスカラサウ云フ事ヲ考ヘタナラバ、モット大キナ金デ内地カラ物ヲ持ッテ行ッテヤッタ宜イト云フコトノ御話ハ、ソレハ矢張アノ實情ニ、餘リ突飛

ニ大キナ金ヲ唯其必要ニ——現實ニ要求サレテ居ラナイ金ヲ今用意スル必要ハナカラウト思フ、ソコニ伸縮性ガアッテ、兎モ角求メヨ然ラバ與ヘラレント云フ精神デ進ンデ行ク、サウシテ其或ル所ノ投資ヲ要スル事業ヲ見付ケルニ從ッテ、一億圓位ノ金ハ既ニ此會社デ生ミ得ルノデアリマスカラ、ソレカラ以上ニ必要ナ分ニハマダ考慮ノ仕方モアリマセウト思フ、今直グニ大キナ資本ヲ寧ロ内地デ集メテ、内地デ仕事ヲ見附ケルト云フコトハ、ソレハ實際ニ適シナイ、斯ウ云フヤリ方デ進ンデ行クト云フコトガ、現代ニ處シテ丁度好イ施設デナイガラウカ、斯ウ云フ考ノ下ニ進ムノデアリマシテ、今ノ御意見ニ對シテハ非常ニ敬意ヲ表シマスケレドモ、ヤハリ物ノ考ヘ方ニ付テハ多少御意見ノ相違ノアルコトハ甚ダ遺憾ニ存ジマスルガ、吾々ノ意見ト致シマシテハ、ドウシテモ此際南洋ニ手ヲ出シテ進ンデ行クト云フコトニ出來ルダケノ努力ヲ致シタイト云フ考ハ變ヘルコトノ出來ナイモノデゴザイマスカラ、ドウゾ御了承願ヒタイト思ヒマス

○木下委員 拓務大臣ノ御意思ノアル所ハ能ク了承致シマシタガ、是ハ意見ノ相違ニナリマスノデ、繰返シテ申シテモ仕様ガナイト思ヒマスガ、私ハ洵ニ憂慮致シテ居リマスト云フコトヲ、此處デ明ニ申上ゲテ置キマスト共ニ、臺灣ト云フモノヲ閑却サレルト云フコトハ甚ダ困ルコトデアラウト思ヒマス、實際臺灣ニ付テハマダ大ニ施設ヲスベキ事モ多クアリマスシ、又費用モ非常ニ要ルコトデアリマスカラ、今ノ御考、南支南洋ニ對シテノ發展ニ至ッテハ、勿論臺灣ニ致シマシテモ、南方發展ノ一ツノ飛石ト云フコトニ臺灣自身モ考ヘテ居ララウト思ヒマス、隨テ此施設ノヤウナコトハ臺灣ニシテモ悅ンデ應ズララウト思ヒマス、併シ全部自分ヲ空シウシテ、ソレニ力ヲ盡スト云フヤウナコトモ隨分困難ナ事情デアラウト思ヒマスカラ、ドウカ其仕事ノ實際ノ場合ニ於キマシテハ、私ハ相當ニ力強ク臺灣ニ付テ御考ヘ願ッテ、サウシテ徐々ト南支南洋方面ニ對シテハ、現實ニ御考ヲ進メテ行カレルヤウニ希望ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、是ハ意見ノ相違デアリマスカラ是デ止メマス

次デ大臣ノ先日ノ本會議ノ際ニ於ケル御答辯ノ中ニ、此會社ノ社長ノ任免ハ大體臺灣總督ニ委セタイト思フ、勿論拓務大臣モ之ニ關與ヲスルガ、方針トシテハ臺灣總督ニ委セタイ、又業務ノ監督ニ付テハ島内ノ

仕事ハ臺灣總督ニ委セルケレドモ、島外ノ事ニ付テハ拓務大臣ニ於テ直接爲サルト云フヤウナ御方針デアッタヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、會社ノ社長ノ任命ヲ臺灣總督ニ委セルト云フコトハ、私モ至極是ハ當然デアリ、又結構ナ事デアルト思フノデアリマス、實際私ノ意見ト致シマシテハ以前カラ申上ゲマスルヤウニ、臺灣ト云フモノニ相當重キヲ置イテ、サウシテ漸次南方ニ行クト云フコトガ私共ノ頭ニアル事デアリマスカラ、其結果デアルカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角相當ニ臺灣トシテハ經濟上ノ犠牲モ拂ヒ、又南支南洋方面ニ對シテハ特色ノ知識ヲ持チ、又經驗モ有ッテ居ルコトデアリマスノデ、サウ云フ方面ニ發展スルト致シマシテモ、臺灣總督ト云フモノハ此會社ノ社長ニ付テ任免權ヲ持ツ、勿論是ハ拓務省ト十分ナル協議ヲ爲サルコトデアラウト思ヒマスルガ、其下ニ任免權ヲ持ツト云フコトハ私ハ至極結構デアルト思フ、是ハ是非共サウ願ヒタイト思ッテ居ルノデアリマスガ、唯監督權ニ於キマシテハ私ハ寧ロ此臺灣總督ガ僅ニ島内ノ業務ニ對シテ監督權ヲ持ツバカリデナク、寧ロ島外ニ付テモ監督權ヲ持タシテ置イタ方ガ宜クハアリマセヌカ、島内島外ノ爲ニ直接監督スル者ガ

一元的ニ行カズニ、二ツカラ出ルト云フヤウナコトハ、屢々仕事ノ進展ノ上ニ於テ大ナル障害ヲ來ス虞モアルコトデアリマスルシ、又拓務大臣ハ常ニ總督ヲ監督スル當然ノ權限ヲ持ッテ居ルコトデアリマスカラ、一應ハ臺灣總督ニ其權限ヲ與ヘテ、サウシテ上カラ之ヲ見ル、先程拓務大臣ノ御話ニ、臺灣總督ノ如キハ非常ニ尊重ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ御話ガアリマシテ、私モ此異民族統治ノ上ニ於キマシテハ、ドウシテモ臺灣總督ト云フヤウナ總督ハ隨分重キヲ置イテ、拓務省アタリカラ十分ニ尊敬ヲシテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、隨テ出來ルダケ其權限ヲ與ヘテ、サウシテ拓務大臣ハ大所高所カラ、之ニ指揮ヲ與ヘテ居レバ宜イノデアッデ、餘リ小サイコトニ關與スルコトハ、殊ニ一ツノ省トナリマスルト、大臣自身ハ左様ナコトハ思ハナイカモ知レマセヌケレドモ、或ハ下ノ屬僚アタリハ得テ關與シテ見タイ、殊ニ今日ノ拓務省ハ色々關係カラ、滿洲トノ關係モ薄クナッテ參ッタクシ、又朝鮮ニ於テモ稍薄イ感ガアルノデ、隨テ臺灣アタリニ對シテハ餘リニ關與ガ密デアリ過ぎハシナイカト云フコトヲ、私共恐レテ居ルコトデアリマスルカラ、出來ルダケ總督ノ地位ヲ向上セシ

メルト云フ上カラモ、監督權ヲ十分ニ與ヘル、會社ノ業務監督權ノ如キモ總督ニ與ヘテ、サウシテ拓務大臣ハ高所大所カラ指揮ヲシ、監督ヲスレバ私ハ事足レリト思フノデアリマス、ドウカ此點ニ付テノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○永田國務大臣 外地ノ行政ニ關スル監督ノコトニ付テ、既ニ此委員會ニ於キマシテモ、只今承ハリマシタ木下君ノヤウナ御意見モアリマスルシ、又先刻モソレニ相反スル強イ御主張モアッタ次第デゴザイマシテ、此點ハ洵ニ私聞イテ居リマシテ、双方無理ノナイ根據ニ依ッテ之ヲ主張サレルモノト思ヒマス、ソコニ外地行政ト、内地行政トノ特異性ガアルノデアリマシテ、是ハ只今木下君ノ言ハレルコトハ、會社臺灣總督府ニ御在職ニナッタ時ノ御經驗カラ、サウ云フ御考ヲ持ツト云フコトニ付テハ、是モ無理カラヌコトデ、サウ云フ感じノ浮ブコトモ無理カラヌ點ガアルト思ヒマスガ、同時ニ外地ノ監督ト云フコトニ付テハ、餘リニ打棄テテ置イテモイケナイガ、又小サイコトニハ餘リ干涉シ過ぎテモイケナイト云フコトガ本當ノコトナノデアリマス、ソレデ私トシテハ大體ニ於テ、大所高所カラ見テ大綱ミノ所ハ、是ハ臺灣總督ノ威嚴ヲ保チ、權

能ヲ尊重スルト云フ風ニシテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ心持ハ私常ニ持ッテ居ルノデ、此會社ノ問題ニ付キマシテモ、實ハ社長任免ト云フコトハ明文上臺灣總督ニシタイト云フコトニ致シテ居リマスノモ、亦其心持カラ出テ來タモノデゴザイマス、先刻ハサウ云フコトハ宜クナイト云フコトノ強イ御意見ヲ承ッタノデアリマスガ、當局トシテハ總督ノ地位ヲ考慮シマシテ、此社長ノ任免ヲ明文上總督ニ委ネテ行ク、斯ウ云フ積リデ居リマス、然ラバ總督トコトヲ總督ニ委シテ置ケバ宜イデハナイカト云フコトニ付テハ、是ハ此法文デナク、勅令ニ讓ラレテ是カラ決メルコトデアリマスケレドモ、ヤハリ臺灣島内ニ於ケル事柄ト、ソレカラ南支南洋、外國ニ於ケル事柄トニ付テハ、拓務省トシテハ其仕事ノ内容ニ付テ自ラ監督ノ方法ヲ異ニスル方ガ實際ニ適スルノデハナイカ、サウ云フ場合デモ、私ノ心持トシテハ臺灣總督ノ意向ヲ聞キ、意見ヲ聞イテ參考ニシナケレバ、容易ニ外國トノ關係ノコトモ決メヨウトハ思ッテ居リマセヌケレドモ、併シ外國ノコトニナリマス云フト、外務省トモ交渉ガ常ニアルノデアリシ、又先刻カラ色々御尋ニナル所ノ他ノモノ――東拓トノ關係ガ出來タリ、興中公司トノ關

係が出來タリ、色々時ニハ又他ノ方面トノ交渉モ起キマス、サウ云フ風ナ場合ニ、臺灣總督府ガ直接ニ總テノコトヲ監督シテヤルト云フコトヨリモ、拓務省ガ直接ニヤルト云フ方ガ便利ナ場合モアリ得ルト思フノデ、ソレハ其仕事ノ内容ニ依ッテ或ル程度中央ノ方デ直接ニヤルコトガ寧ロ實際ニ適シテ居ル、サウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスカラ、勅令ニ於テハ先ヅ外國ニ關係シタ事柄ハ、主トシテ拓務省ガ直接ニヤルト云フヤウナ立前デ進ミタイト云フ積リデ居リマス、御意見ノ程、御精神ニ付テハ十分能ク此上トモ研究ヲ致シマス

○木下委員 大體拓務大臣ノ御意思ノアル所モ分ッタノデアリマシテ、其他ハ私ノ色々ナ意見デアリマスルカラ、申上ゲナイコトニ致シマス、次ニ御伺致シタイコトハ、過日本會議ニ於キマシテ、鈴木君ノ質問ニ對シテ拓務大臣カラ御答ノアリマシタ中、總督ハ文官制ガ宜イカ、武官制ガ宜イカト云フヤウナコトニ觸レテノ質問ガアリマシテ、ソレニ對シテハ、文官デモ武官デモ兎ニ角異民族統治ト云フコトガ重大ナコトデアルカラ、適當ナ人ガアレバ文武何レヲ問フト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラスト云フ御答ハ御尤ノコトデアッテ、斯ウ云フ御答ナ

ラバ恐ラク鈴木君モ何等質問スル必要ガナカッタウト思フノデアリマス、又左様ナコトハ常識上カラ考ヘマシテモ、何等御伺スル程ノ値打ノアルコトデハナイト思フノデアリマスルガ、鈴木君ハドウ云フ御意見デアツカ知リマセヌガ、私モ左様ナコトラ聞キタイト思ッテ居ッタノデアリマス、ソレハ今日臺灣總督ト云フモノガ文官デアッテ、非常ナル不都合ナコトデモアリマスレバ、兎ニ角デアリマス、併シ左様ナコトラシタコトヲ私ハ多ク耳ニシテ居リマセヌ、臺灣ト云フモノガ力ニ依ッテ占領サレテ、其當時軍事占領、ソレカラ軍政時代、又武官總督時代ト云フモノヲ經過シテ行クト云フコトハ是ハ何處ノ植民地、外地行政ト云フヤウナモノノ歴史ヲ見マシテモ明カナコトデアリマシテ、必ズ武官總督ト云フヤウナモノヲ經テ居ルノデアリマスルガ、併シヤハリ民政ト云フコトニ重キヲ置ク場合ニ於キマシテハ、ドウシテモ文官總督ニナルト云フコトガ普通ノ常識ダラウト思フノデアリマス、今日臺灣ニ於キマシテハ幸ニ文官ノ總督ノアルト云フコトハ臺灣ソレ自體ガ進歩ヲシ、又我國ノ異民族統治ニ付テ、此民政ト云フコトニ重キヲ置クト云フコトノ證左デアルト考ヘマシテ、欣ンデ居ルノデアリ

マス、既ニ朝鮮ノ如キモ從來ハ武官總督デアル、所謂武官總督トシテ、又憲兵警察ヲヤッテ居ッタノデアリマスルガ、其弊ヲ考ヘテ大體憲兵警察ト云フモノヲ廢シ、又今日事實ハ武官ガ居ルノデアリマスルケレドモ、併シ文武何レニ依ッテモ其地位ヲ占ムルコトガ出來ルト云フコトニナッテ居ルノハ、皆是ハ日本ノ外地行政ノ成功ヲ現ス一ツノ證左トシテ、私共非常ニ慶賀ニ堪ヘナイコトデアリマス、然ルニ近頃臺灣總督ヲ武官總督デナケレバイケナイト云フヤウナ聲ヲ時聞クノデアリマスルガ、是ハ寧ロ私ノ見ル所ニ依リマスルト、或ル野心家ノ叫ビト、又一面ニ於テハ不純ナルコトラ考ヘル臺灣在住ノ或ル一部ノ者ナドガ、サウ云フコトラ流布スルノデヤナイカト云フコトラ考ヘルノデアリマシテ、洵ニ私ハ遺憾ニ思ッテ居ルノデアリマス、結局鈴木君ノ武官總督ヲ要求スルヤウナ聲ガアルガ、ソレニ應ズルカト云フヤウナ質問モ、恐ラク私ト同ジヤウナ心配ヲ持ッテ聽イタノデハナイデセウカ、兎ニ角今日文官總督ト云フモノノ地位ヲ築キ、既ニ田總督以來、ズット文官總督デ統治ガ出來テ居ルノデアリマシテ、又一面軍事ニ於テハ軍司令官ガアリ、其他澤山ノ將官ガアッテ、サウシテ軍事方面ニ於テハ十

分ナル成績ヲ擧ゲ、又總督ハ文官トシテ十分ナル治績ヲ擧ゲテ居ルコトデアリマスノデ、若シ今日文官ガ宜イカ、武官ガ宜イカト云フヤウナコトラ質問スル者ガアリマシタナラバ、文官デハ特ニイケナイコトガアルカト云フコトラ、恐ラク聞キタカッタコトデアラウト思ヒマス、拓務大臣ノ御答辯ノ中ニハ斯ウ云フヤウナ文句ガアル、又文官ノ方モ都合ノ好イ點モアルシ惡イ點モアル、之ヲ一概ニドッチニ限ルト云フコトハ言ハレマセヌ、ト云フコトガ書イテアルノデアリマスガ、果シテドウ云フコトガ文官總督ニ於テハ都合ノ惡イコトデアルト御考ニナッテ居リマセウカ、此點ヲ御伺致シタイと思フノデアリマス、私ノ見ル所デハ軍務方面ニ於テハ司令官ガアッテ、之ヲ適當ニヤッテ居ル、又盛ニ民政ノ向上ヲスルニ於テハ、文官ノ總督ガ立派ニヤッテ居ルコトデアルカラ、今日文武何レデモ宜シイト云フコトラ、特ニ拓務大臣ガ御話ニナルコトハ、却テ總督ノ地位ニ對シテ一種ノ不安ヲ懷カシメルト思フ、先般私ノ友人ガ臺灣カラ歸ッタ時ニ、其當時高級ナ武官——將官デアリマスガ、其人ト同船シタ場合ニ、近ク總督ハ辭メルサウデヤナイカ、ソシヤウナ統治ニ付テノ意見ヲ話シタ時ニ、ソシヤウナコトハ

ドウデモ宜イ、今ニ武官總督ニナルト云フコトヲ漏ラシタサウデアリマスガ、拓務大臣ハソナ意思デ御話ニナツタノデハナイト思ヒマスガ、併シ先日ノヤウナ御話ガアリマスルト、得テ一般ノ者ハ文官ノ總督ヲ止メテ武官ニスルノデヤナイカ、特ニサウ云フ聲ガ出テ居ル時デアリマスルカラ、拓務大臣ノ肚ノ中ニ武官總督デモ宜シイ、シテ見ヨウト云フ積極的ノ考デモ有ッテ居ラルカノヤウニ疑ハレル處ノアルコトデアリマスカラ、私ハ此際ニ、文官ガドウ云フ點ニ於テ御都合ノ惡イ點ガアルカト云フヤウナコトヲ、具體的ノ御話ヲ承リ、又文官デ更ニ不都合デナイト云フ考ヲ私ハ有ッテ居リマスガ、斯ウ云フコトニ付テハ何カ特ニ御意見ヲ承ルコトガ出來マスレバ、大變仕合ニ存ジマス

○永田國務大臣 文官ト武官トノ得失ニ付テ色々御尋デゴザイマシタガ、是ハ要スルニ人ニ依ルノデ、唯武官ト云フモノハ斯ウ云フモノ、文官ハ斯ウ云フ傾向ガアルト云フコトヲ極ク抽象的ニ決メテ見ルト、兩方ニ得失ガアルト云フコトヲ申上ゲタノデ、要スルニ是人ニ依ルコトデアリマス、併ナガラ朝鮮ナラ朝鮮デ武官ノ人ガ或ル時期ズツ續イテヤッテ居ル、初ハ伊藤統監トカ、

曾根統監トカ云フ文官ノ方ガヤッテ居ッタコトモアルガ、後ハ續イテ武官ノ人ガヤッテ居ル、然ラバ武官ニドウ云フ惡イ點ガアルノダト、斯ウ云フ風ニ聞カレルト、ソレモヤハリ斯ウ云フコトガ惡イト言ヒ惡イノデス、ソレカラ臺灣ニ於テモ文官ガドウ云フ所ガ惡イノダト云フコトハ、ソレハ一寸申上ゲ惡イ、ソレハ要スルニ其人ニ在ルノデアリマシテ、決シテ今マデノ經歷ガ「サーベル」ヲ下ゲテ居ッタカラドウ、下ゲテ居ラナイカラドウト云フコトハナイノデス、抽象的ニ言ヒマスト異民族ノ統治デアリマスカラ、或ル時期ニモウ少シ恩威ヲ十分ニ兼備ヘシメル爲ニハ、或ル時期トシテハ恩ヲ多クスルコトヲ望ム場合ガアルシ、或ル時分ニハ威ヲ強クスルコトガ必要ダト感ズル場合ガアル、其時々ニ依ッテ文官ノ出身ノ人ノ方ガ都合ガ好イトカ、武官ノ人ノ方ガ都合ガ好ク感ズルト云フコトガ有リ得ルノデ、

是ハ極メテ抽象的ノモノデアリマス、總テハ其人ニアアルノデ、今マデノ經驗ノミニ依ルベキモノデハナイノデアリマス、隨テ故ラニ文官ガドウ云フ缺點ガアルノダ、武官ニハドウ云フ缺點ガアルノダト云フヤウナコトヲ申シマスルト、恰モ今ノ朝鮮總督ハ武官デアアルカラドウ云フ缺點ガアル、今ノ

臺灣總督ハ文官デアアルカラドウ云フ缺點ガアルト云フヤウナ指摘ヲシタルガ如ク、誤解ヲサレマススト洵ニ困ル、ソレデ共話ハ唯人ニ在ルト云フコトニシテ、從來ノ經歷ダケニ依ッテ、ドウ云フ經歷ノモノデナクチャナラスト決メルコトハ、任用ノ範圍ヲ狹クスルモノデ面白クナイ考ヘ方ダト、此程度ニ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○木下委員 御話ニ依リマス、文武何レガ宜イカト云フコトハ、結局人ダト云フ御話デアリマス、是ハ當然ノコトデゴザイマス、然ラバ先日ノ御話ノ文官ノ方ガ都合ノ好イ點モアルシ、惡イ點モアルト云フヤウナ御話ハ、結局其時代ニ依ッテハ、文官ニ於テ都合ガ惡イ點ガアルト云フヤウニ考ヘルト云フコトニ承知ヲ致シタイト思ヒマス、若モ私ノ考ガ違ッテ居ッタナラバ御教ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウデナケレバ今日文官ノ方ガ都合ガ惡イト云フヤウナ風ニ聞エル節モアリマス、時代ニ依ッテハ斯ウ云フ時代モアルト云フ風ニ今ノ御話デハ解決レマスノデ、斯様ニ私ハ觀測致シテ置キタイト存ジマス、尙ホ私ハ質問致スコトガアリマスガ、關聯シテ鈴木君ノ方デ御質問ガアルサウデスカラ……

○鈴木委員 先日私ガ文官カ武官カト云フコトノ御尋ヲ致シマシタ趣旨ハ、只今木下君ガ御話ニナツタノト全ク同一趣意デアリマシテ、アノ程度ノ御答辯デアリマスレバ、是ハ御話ヲ承ラスデモ私共分ルノデアリマス、唯問題ハ時節ガ時節デアリマスノデ、臺灣總督ト云フモノノ更迭ガアルノデハナイカト云フ風ナ疑ヲ有ッテ居ル人々ハ、臺灣ノ本島人ニモ内地人ニモ、或ハ内地ニモ可ナリ相當ニアルト思フ、又日本ニ於テモ之ヲ新聞紙上ニモ隨分露骨ニ、人ノ名前マデ擧ゲテ出テ居ルノデアリマス、此際名前ヲ擧ゲテ言フコトハドウカト思ッテ居ッタノデアリマスガ、例ヘバ小林躋造海軍大將ガ、海軍大將ヲ辭メルニ至ッタ事情ハ、後ニ臺灣總督ニスルト云フ約束ノ下ニ——約束ノ下ニト言ッテ、斯ウ云フコトガ約束出來ル譯ノモノデハナイノデアリマスガ、其様ナ一種ノ諒解ノ下ニ海軍大將ヲ辭メタノデアル、ソコデ海軍大將ノ此臺灣總督ノコトニ付テ、誰カ彼カト云フ風ニ新聞記者ガ想像サレマシテ、山下勇海軍大將ニ對シテ、臺灣總督ニナルサウデヤアリマセヌカト云フコトヲ聽イタ、所ガ山下勇氏ハ、ソレハ小林ダヨ、小林ニ聽ケヨト云フ風ナコトヲ言ウタト云フコトガ新聞ニ出テ居ッタノデアリマス、豫テ時勢ガ時勢デアアルノデ、文官

制ヨリモ武官制ノ方ガ宜イト云フ風ニ思ハ

レル節ガ世間ニアリマス、其上ニサウ云フ

風ナコトガ事實上出テ居ッタノデアリマス

ノデ、此點ヲドウカト思ヒマシテ御尋ヲ申

上ゲタ趣意デアリマス、デアリマスカラ、

拓務大臣ガ臺灣總督ヲ更迭スル意思アリヤ

否ヤ——更迭スルト云フコトハ親任官デア

リマスカラ、勝手ニ更迭ハ出來マセヌケレ

ドモ、更迭スル御意思ガナイカドウカ、御

意思ガナイトスルナラバナイト云フ風ニ承

リマスシ、アルトスルナラバアルト云フ風

ニ承リマスシ、此疑ノ點ヲ明ニ致シテ戴キ

タイト思フノデアリマス

○櫻井委員長 一寸拓務大臣ニ希望ヲ申上

ゲマスガ、ドウモ質問ニ對スル御答辯ガ少

シ外レテ居ルヤウニ思フノデアリマス、質

問セラルルノハ、現在竝ニ近キ將來ニ於テ

臺灣總督ヲ武官ニ更迭サレルヤウナ模様ガ

アルガ、ソレニ對シテドウ考ヘテ居ラレル

カト云フコトヲ質問サレテ居ルノニ對シ

テ、文官ト武官ノ優劣論ヲ以テ御答ニナッ

ニ對シテ外レテ居ルヤウニ思ヒマス、尙

ホ更ニ質問者ノ意思ハ、或ハ進ンデ現在

優劣論ヲヤルト云フコトハ、ソレ自體ガ既

ニ更迭ノ意思アリトモ考ヘラレルガドウ

カ、斯ウ云フ意味モ含ンデ居ルノデヤナイ

カト思ヒマスカラ、ソレヲノ點ヲ御含ミノ

上ニ一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○永田國務大臣 委員長ノ御心配ハ御尤ト

思ヒマス、其職ニ在ル人ニ對シテハ、拓務

大臣トシテハ絕對ニ信賴シテ居リマス、隨

テ今日何等更迭ノコトニ付テ私人トシテ

ハ考ヘテ居ル所ハゴザイマセヌ

○鈴木委員 能ク分リマシタ

○木下委員 今ノ拓務大臣ノ御答詢ニ感謝

致シマス、次ハ小サイコトデアリマスカラ、

政府委員ノ御方ニ御伺シテ見タイト思ヒマ

スガ、此出資ノ問題デアリマスガ、金錢以

外ノ財産ト云フヤウニナッテ居リマスルガ、

是ハ大體官租地ヲ提供スルト云フ御答ヲ得

テ居リマスルガ、アレハ官租地ト云フモノ

ハ現在官租地ニナッテ居ルモノダケデアリ

マスルカ、只今開墾地ノ如キ立派ナ水田ニ

ナッテ居ルモノモ含ム考デアリマスルカ、ソ

レヲ第一ニ御伺致シタイト思ヒマス

○平塚政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シ

マサルガ、現在ノ官租地ヲ提供致シマシ

テ、ソレデ大體ノ出資ノ目的ヲ達スルコト

ト考ヘテ居リマス

○木下委員 現在ノ官租地ヲ出資トスルト

云フコトニ伺ッタノデアリマスルガ、現在ノ

官租地ノ小作料ト云フモノハ大體ニ餘リ高

クナクシテ、臺灣ニ於ケル農民ト云フモノ

ハ相當ニ幸福ヲ感ジテ居ルコトト思フノデ

アリマス、就キマシテハ、此官租地ヲ會社

ニ提供シタ後ニ於キマシテ、會社ハ收入ヲ

増加スルト云フ其事バカリ考ヘテ、非常ニ

小作料ノ増加ヲスルト云フヤウナコトガア

リマシタナラバ、是ハ洵ニ統治ノ上カラ遺

憾ニ思フノデアリマス、ヤハリ異民族統治

ト云フモノハ信ヲ得ルト云フコトガ根本デ

アルト思ヒマス、其點ニ付テハ相當ニ御考

ノコトトハ思フノデアリマスルガ、會社ニ

提供シタ後ニ於キマシテモ、會社ノ監督ニ

付テ左様ナ農民虐メトナルヤウナコトヲシ

ナイヤウナ、何カ方法條件等ニ付テ御考ガ

アルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマ

ス

○平塚政府委員 會社ニ提供致シマシタ以

アリマスレバ、ソレニ伴ヒマシテ相當ノ増

額ヲ致サナケレバナラヌコトガアルダラウ

ト考ヘルノデアリマスルガ、先ヅ大體ニ於

テ無理ノナイヤウニ致シマシテ、小作ノ爭

ヲ惹起スルヤウナコトノナイヤウニ、農民

ニ苛酷ナル取扱ノナイヤウニ致シタイ、斯

ウ考ヘテ居リマス

○木下委員 モウ一ツ伺ッテ置キタイト思

ヒマスコトハ、此條文ノ中ニ、政府ト云フ字

ヲ盛ニ使ッテアルノデアリマスルガ、大體此

政府ト云フ意味ハドウ云フ風ナ考ヘデアリ

マスルカ、各條ニ依テ勿論違フノデアリマ

セウ、第二條又ハ第十條、第十二條、何レ

モ違フコトデアルト思ヒマスルガ、凡ソハ

是ハ臺灣總督ト云フ風ニ解シテ宜シイノデ

アリマスルカ、之ヲ一應御伺致シタイト思

ヒマス

○永田國務大臣 政府ガ之ヲ監督スルト云

フコトハ臺灣總督カ、或ハ拓務省カト云フ

コトニ付テハ、大體ノ方針ハ前ニ申述ベマ

シタヤウニ、島内ニ關係ノコトハ臺灣總督

ガ直接ニ監督ヲスル、島外ノコトハ拓務省

ガ直接ニ監督ヲスルト云フ立前デ行キタイ

ト思ッテ居リマス、又雙方ニ跨ルヤウナコト

ニ付テハ自然拓務省ガ直接ニ監督スルヤウ

ニナルト思ッテ居リマス

○木下委員

今ノ御答ガ甚ダ不明確ナコトデアリマスルカラ伺ヒマスルガ、例ヘバ第二條ニ於キマシテハ「臺灣拓殖株式會社」ノ資本ハ三千万圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得」ト云フ場合ニハ、私ハ臺灣總督ト云フ風ニ解シテ居リマス、ソレカラ第十條ノ「政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス」是ハ島ノ内外ニ依ッテ御達ヒニナルト云フコトハ先程ノ御説明ニ依ッテ分リマシタガ、第十二條ノ「政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ決議」云々ト、是ハ私ハ臺灣總督ト解シテ居リタノデアリマス、斯ウ云フ風ニ一ツノ法律ノ中ニ政府ト云フモノガ色色ニ解釋サレルヤウニナッテ居リマスルガ、是ハモウ少シ明確ニ御定メニナッテ置クガ適當デハナイデアリマセウカ、例ヘバ今日ノ御話ニ依リマシテ、第十條ノ政府ト云フモノハ、臺灣拓殖株式會社ノ業務ヲ監督スルコト云フ、此條項ノ政府ト云フモノハ臺灣島内ニ關スルコトハ臺灣總督、臺灣島外ニ關スルコトハ拓務大臣ト云フ風ニ御話ガアリマシタノデ、左様ニ解釋シテ法律ニ付テ協賛ヲ致シタト致シマシテ、若シモ後ニ於キマシテ、拓務省官制ヲ勝手ニ改正ヲ致シマシテ、拓務大臣ハ朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太並ニ東洋拓殖株式會社ヲ監督スト云フ

コトニナッテ居リマスガ、其アトヘ及臺灣拓殖株式會社ト云フヤウナ文字ヲ入レルコトダケニ依ッテ、此吾々ノ協賛シタ所ノ法律ノ内容マデモ變ッテシマフト云フヤウナ虞ノアルコトヲ私ハ心配スルノデアリマス、隨テヤハリ此法律デ以テ吾々ノ協賛スル場合ニ於テ、政府ト云フモノハドウ云フモノヲ指シテ居ルカト云フコトヲ明瞭ニ致シマスルカ、左モナケレバ吾々ノ協賛シタ當時ノ意思ガ相當ニ後ニマデ殘ッテ、サウシテ明瞭ニナッテ居ルト云フヤウニシテ置クニハ何カ方法ガアリマセウカ、之ニ付テ御伺ヲ致シマス

○永田國務大臣

皆様ノ御希望ノアル所ハ、勅令ヲ制定スル場合ニ當ッテ十分ニ研究ヲ加ヘテ決定シタイト思ッテ居リマス

○木下委員

大體ノ御考ハ分ッタヤウデアリマスガ、勅令デ決メルト云フコトハ、結局官廳限リノコトデ議會ノ協賛ト云フモノノ要ラナイコトデアリマスカラ、吾々ハ此法案ノ説明ノ際ニ政府ト云フモノハドウ云フ意味デアルカト云フコトヲ、念頭ニ置イテ此法律ト云フモノノ協賛ヲスルノデアリマスカラ、大體ソレニ依ッテイツ迄モ吾々ノ意思ガ相當ニ傳ッテ行クト云フコトガ又必要デアラウト思フ、勅令トカ或ハ官制ト

カ云フ風ニ、議會ト何等ノ關係ノナイ所デ以テ自由ニナルコトハ甚ダ吾々ノ意思ト伴ハナイ虞モアリマスルノデ、何カ其點ニ適當ナ方法ハナイカト云フコトヲ御伺シタノデアリマス、政府委員ノ御方デモ、誰デモ宜シウゴザイマスカラ、伺ヒタイノデアリマス

○北島政府委員

只今監督權ノ問題ニ關シマシテハ大臣カラ御答辯ノアリマシタ通り、何レ斯ウ云フ事項ニ付テハ何處デヤルカト云フ勅令審議ノ際ニ決定スベキモノト存ジマシテ、今此處デ以テ一寸ドノ點ハドウスルト云フコトハ私カラ申上ゲ兼ネルノデアリマス、唯普通立法ノ際ニハ斯ウ云フ會社ノ監督ナンカニ付キマシテハ、斯ウ云フ風ニ政府ト云フ文句ヲ使ヒマス、現ニ東洋拓殖株式會社モサウナッテ居リマスシ、他ニモ政府トカ何トカ云フ文句ヲ使ッタ例ハ澤山アルト思ヒマス、其場合ニ、場合ニ依ッテハ主務大臣ガ監督ヲスルト云フコトヲ勅令ヲ以テ規定シ、或ハ其以下ノ下級官廳デ之ヲヤルト云フコトヲ規定シタリ、或ハ全部主務大臣デヤルト云フコトヲ規定シタリ、要スルニ政府ノ權限ノ内容ニ付キマシテハ、所謂官制ノ規定デアリマシテ、自ラ別箇ノ方法デ決メテモ、先例カラ申シマ

シテ別段差支ナイノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○木下委員

御考ハ御尤デアリマス、唯吾々ノ意思ヲ相當ニ勅令ノ上ニ現シテ、サウシテ輕々シクソレヲ變ヘナイ方法ガアルナラバ、私共ハ第六條ノ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトニ心カラ御一任シタイト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ此處デ話ヲシタケレドモ、後デ以テ考ヘテ自由ニスルゾト云フヤウナ考ダト云フト、此第六條ト云フモノハ相當ニ考ヘナケレバナラス、又其他ノ政府ト云フヤウナ文字ノ中ニ、或ハ臺灣總督トカ或ハ拓務大臣トカ云フヤウナ名前ヲ現サナケレバ安心ガ出來ナイヤウナ虞ガアツタカラシテ申上ゲタノデアリマシテ、官制ノコトハ當然ノ權限トシテヤッテ居ルコトハ私承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味デナクシテ、相當ニ吾々ノ意思ノアル所ハ尊重ヲシテ、サウシテヤル、又ソレニ付テハ特ニ閣議ノ決定デモ求メテ置クト云フヤウナ御意思ガアルヤ否ヤト云フヤウナコトニ付テ御考ヲ伺ッタ譯デアリマス

○櫻井委員長

木下君、ソレデ済ミマシタカ

○木下委員

是デ済ミマシタ

○櫻井委員長 ソレデハ宮古君

○宮古委員 幸ヒ拓務大臣ガオ居デスカ
ラ一寸御聽キシタイノデスガ、主ナル問題
ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、先ヅ人口問題
ニ付テ御尋ヲシタイト思ヒマスガ、其前提
トシテ一ツ御伺シタイコトガアリマス、ソ
レハ他ノ委員會ニ於キマシテ拓務省廢止ニ
關スル質問ガアツタト云フコトヲ承テ居リ
マス、ソレニ對シテ拓務大臣ハ廢止ハ考ヘ
テ居ラヌト云フコトヲ御答ニナツテ居ル、御
承知ノ通り只今方々ニ於テ拓務省ハ廢シテ
宜シイデハナイカト云フヤウナ意見ガア
ル、私自身ハ決シテ廢止論者デモ何デモナ
イ、行政機構ノ何レ改革ガアルト云フヤウ
ナ場合ニハ、拓務省ハ廢止シテモ宜イデヤ
ナイカト云フ意見ハアチラコチラニアルコ
トハ私モ耳ニ致シテ居ル、ソレ故ニ一ツ承
リタイノハ、拓務省ヲ廢止スト云フコトハ
無論出來ナイ、拓務省ハ存在セシメテ置カ
ナケレバナラナイト云フ其理出、其理由ニ
付テノ拓務大臣ノ御意見ヲ先ヅ承ッテ見タ
イト思ヒマス

○永田國務大臣 私ハ拓務省廢止ニ反對ト
カ贊成トカ云フコトヲ明言シテハ居ラヌノ
デアリマス、行政機構ノコトニ付キマシテ
ハ、自分ガ獨立シテ意見ヲ吐クコトヲ差控

ヘテ居ルノデアリマシテ、唯私ノ明言シタ
コトハ、日本ノ現狀ニ鑑ミテ拓務行政ハ益々
擴大強化シナケレバナラスモノデアルト云
フコトヲ明言シタノデアリマス、又外地ノ
利益ヲ代表スル者ガ必ズ閣議ニ於テ、其利
益ヲ代表スルモノヲ持タナクテハ噓デア
ル、斯ウ云フコトヲ明言シタノデアリマ
ス、拓務省ヲ廢止スルトカセヌトカ云フコ
トヲ私ハ一回モ明言ハ致シテ居リマセヌ、
其私ノ言ツタコトニ付テ其次ノ御推測ハマ
ア御自由デゴザイマスガ、サウ云フ點ニ付
テ私ノ責任上ハッキリ申上ゲテ置キマス

○宮古委員

次ニ人口問題ニ付テ一寸伺ヒ
タイト思ヒマス、御承知ノ通り今日日本ノ人
口ガ年々百万内外ノ數ヅ、増シテ參ル、是
ハ洵ニ重大ナ問題デ、十年經テバ千万人ノ
人口ガ殖エル、斯ウ云フコトニナルノデア
リマスカラ、此人口ノ問題ニ付テハ今ヨリ
餘程研究モシ、十分ニ計畫モ致シテ居ラナ
ケレバナラヌモノデアラウト思ヒマス、ソ
レニ付テ拓務省ニ於テハ無論色々ト詳細ニ
研究ヲシテ居ラレルコトニ違ヒナイコト、
思ヒマスガ、拓務大臣ハ將來此人口問題ニ
付テドウ云フ風ニ致ス積リデアルカ、詰リ
人口ヲドウ云フ風ニ植付ケル積リデアル
カ、何處ニドウ云フ風ニシヨウトスルノデ

アルカ、出來ルダケ具體的ニ一ツ御説明ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○永田國務大臣

人口ノ増加ニ關スル御質
問デアリマスガ、中々大問題デゴザイマシ
テ、容易ニ御満足ヲ與ヘルヤウナ御答ハ出
來兼ネルト思ヒマスガ、私ノ考ヘ方トシテ
ハ人口ガ愈々日本ノ内地、又臺灣、朝鮮ヲ通
ジテ居レナイト云ツタヤウナ張切レルヤウ
ナ狀態ニナツテ來マスレバ、現在ニ於テモ是
ハ餘程苦シイ密度ヲ有ツテ居ルノデアリマ
シテ、此點ガ所謂世界ノ平和ノ上ニ——日
本ダケノ問題デハゴザイマセヌ、サウ云フ
人口ノ稠密デアツテ、總ジテ領土ノ狭イ所ノ
トノ出來ナイト云フ境遇ニ居ルノデアリマ
スカラ、其間ニ種々ノ經緯ガ生ズルコトハ
免レナイノデアリマス、唯現在ノ日本ノ立
場トシテイマ年々殖エテ來ル人口ヲドウス
ルカト云フコトニ對シテノ、種々ノ施設ヲ
行ツテ居リマスガ、今ノ私ナカンカノ考ハ、マ
ア有ユル所ニ——出ラレル所ハ如何ナル所
デモ出テ行クト云フ方針ノ下ニ進ンデ行ク
ノデアリマシテ、北進、南進、ト云フヤウ
ナコトハ考ヘテ居ラスノデ、東進、西進、
南進、北進何デアラウト、何處デモ出テ行
ク所ニ出テ行クト云フ積リデアリマシテ、

既ニ滿洲ノ方ニハ今マデ試驗移民ノ時代ヲ
經テ、是カラ出來得ルダケ多數ニ滿洲ノ方
ニ移民シタイト云フコトニ付テハ、他ノ或
ル機會ニ度々申上ゲタノデアリマスガ、此
委員會デハマダ申上ゲナイ所デゴザイマ
ス、是ハ豫算ニモ現ハレテ居リマスガ、要
スルニ今マデ四回ニ互ツテ團體移民ガ千八
百戸ダケ出テ居ルノデアリマシテ、ソレヲ
本年カラハ一千戸送ルト云フコトデアリマ
ス、或ル委員會ニ於テモ一千戸デアツタ所
デ先ヅ家族ヲ入レテ五千人、ソレ位ノコト
デ何ニナルト云フヤウナ御話ガゴザイマシ
テ、全ク其通りデゴザイマス、一千戸ダケ
デハ迎モ我慢ノ出來ルモノデハナイノデ、
本年直チニソレヲ澤山ニ殖ヤスト云フコト
ハ、今ノ豫算面カラハ申上兼ネマスケレド
モ、明年、明後年ニ掛ケテ、ズット是カラ約
十年ノ間ニハ十萬戸位入レルヤウナ方針ヲ
立ツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ思ッテ居リマ
ス、唯御承知ノ通りニ大勢ノ人ヲ向フヘ送
リ込ンダゲデハ駄目ナノデ、本當ニ植民
ヲシテ、サウシテ自活スルコトノ出來ル境
遇ニ置カナクテハ、幾ラ人ヲ連レテ行ッデ
モ直グ舞ヒ戻ッテ來ル、サウ云フ風ナコトヲ
シテハ駄目デアリマスカラ、行ツタ限リ戻ッ
テ來ナクテモ十分幸福ニヤッテ行ケルト云

フ風ニシテヤラナクチャナラヌノデ、ソコニ非常ナ苦心ガアルノデアリマスガ、滿洲ニ對シテハ積極的ニ澤山送ル意氣込ヲ以テ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ南洋ノ方面ニ對シマシテモ御承知ノ通り「ニュージーニヤ」ニシテモ、「ボルネオ」方面ニシテモ、濠太刺利、「ニュージラランド」、ソレ等ハ皆人口ノ密度ガ極メテ稀薄デアルノデス、デスケレドモ日本ノ移民ヲ喜ンデ入レルト云フ所ハ稀デアツテ、中々此間ニ付テハ苦心ヲ要スルノデアリマス、是等ニ付テノ努力ハ色々外交方面ト相俟ツテヤラナクチャナラヌノデアリマシテ、ソコニ非常ナ苦心ガ存スルノデアリマス、自主的積極外交ト云フヤウナコトニ付テモ、斯ウ云フヤウナ方面ニ付テ相當ノ努力ヲシテ貰ハナクテハナラヌト私ノ方面デハ考ヘテ居リマス、南米ノ方面ハ今マデハ我が民族ニ對シテ世界中唯一ノ殘サレタル移民地デゴザイマシタガ、最近ニ於キマシテハヤハリ相當ノ制限ヲ加ヘラレテ居リマス、「ブラジル」ナンカモ千九百三十四年ノ憲法改正デ非常ナ制限ヲ受ケテ居リマシテ、僅カニ二千幾ラト云フ程シカ入レナイノガ、ソレガ彼ノ國ノ事情ニ依ツテ日本ニ對シテ相當ノ好意ヲ以テ、憲法改正ノ内容ニ付テ解釋ヲ加ヘテ、サウ

シテ三千餘リノ者ガ入ルヤウニナリ、更ニ十四歳以下ノ者ハ之ニ計算シナイト云フヤウナコトニナツテ居リマスノデ、本年凡ソ五千八百人位ハ「ブラジル」ヘハ行ケルヤウニナルカト思ツテ居リマス、「バラガイ」ノ方モ何時カドノ席カデ申上ゲマシタガ、百戸ダケ試験移民ヲ送ルコトニナツテ居リマス、是ガ又相當芽ヲ吹イテ來ルカト思ヒマスガ、マダ將來ノコトハ分リマセヌ、本年漸ク百戸ダケ「バラガイ」ニ送ルコトニナツテ居リマス、「ウルガイ」ノ方ハ二百戸入レテモ宜イト云フヤウナコトヲ最近「ニュース」ニ於テ確實ニ吾々ハ聞イテ居ルノデアリマス、是等ハ將來ドレダケノ發展性ガアリマスカ、要スルニ斯ウ云フ移民ヲシテ行クト云フコトニ付テハ、向フノ國トノ感情問題ガ色々アリマスルシ、又吾々ノ方トシテハ餘程移民スル者ノ考ヘ方モアルト思フノデ、私ハ何時モ移民スル者ノ送別ヲヤリマス時ニハ、彼方ニ行ケバ其國ノ忠良ナル臣民ニナレ、サウシテ日本民族トシテノ高級ナル道德ヲ失フコト勿レ、斯ウ云フ風ニ言ツテ居ルノデアリマシテ、ドノ國ニ行キマシテモ其國ニ對シテ好感ヲ以テ迎ヘラレ、サウシテ高級ナル道德ヲ有スル民族トシテ尊敬セラレルヤウニナラナクテハ移民ハ發展シ

ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ申シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其間ノ移民ニ對スル非常ナ苦心考慮ヲ要スルコトガ多々アルノデアリマシテ、吾々ハ此四方八方カラ壓搾サレ、窒息スルヤウナ狀態ニ置カルル此境遇ニ對シテ、何トカ打開ノ途ヲ講ジナクテハナラヌト云フコトニ關シ、他ノ満足國ニ付テ十分ノ理解ヲ得ルヤウニ努力シナクテハナラヌト心得テ居ルヤウナ次第デアリマス

○宮古委員 此問題ハ實ニ重大ナ問題デアルト思ヒマスノデ、爲政家トシテハ一番之ニ對シテハ平生ニ於テ研究モシ、計畫モシナケレバナラヌコトデアラウト思フ、只今モ申上ゲタ通り二十年間ニ一千万内外ノ人口ガ殖エテ參ッテ居ルノデアリマスカラ、二十年ニナツタナラバ倍ノ二千万内外以上ニナリマス、十年ヤ二十年ト云フ歲月ハ僅カノ間ニ經ッテシマフト、斯ウナルノデスカラ、是ハ餘程用意ヲシテ置カナケレバナラヌコトデアラウト思フ、ソコデ先ヅ伺ヒマスノハ、朝鮮、臺灣、樺太、拓務省デ今監督シテ居ラレル是等ノ所ニハドレ位マデ入レル御考デアリマスカ

○永田國務大臣 ドレダケ入レルカト云フコトヲ此處デ御答スルト云フノハ實ニ困難ナノデ、朝鮮ニ付テモ今二千万人居ル所

ニ——朝鮮人ガ今内地ニ六十万人入ッテ來テ、色々社會問題ガ起キタリシテ、實ハ此點モ相當苦心ヲシテ居ルノデアリマスガ、朝鮮人ハ成ベク人口稠密ナ内地ニ來ナイデ、廣イ滿洲ノ方ヘ行ツテ貰ヒタイ、ソレデ南鮮ノ方ノ人ハ北鮮ノ方ヘ行キ、北鮮ノ方ノ人ハ滿洲ノ方ヘ行クト云フヤウナ意味ヲ以テ鮮滿拓殖會社ト云フモノガ朝鮮ニ出來ルト云フヤウナ次第デアリマス、隨デ是カラ朝鮮ガ何人包容シ得ルカ、又臺灣ガ何人包容シ得ルカト云フヤウナ數字ヲ的確ニ言フコトハ出來ナイコトデアリマス、確カ上田貞次郎博士ナドガ日本ノ人口ハ先ヅ内地デ九千万位ニナツタナラバ、行止リデアラウト云フヤウナコトヲ何カニ書イテ居ルノヲ見タコトガアリマス、サウ云フ風ナ觀察ヲスル學者モアリマスガ、私ノ常識デハ何モサウ遠慮セヌデモ、マダモット居レルト思ッテ居リマス、併シソレハホンノ常識デアリマシテ、多數ニナツテ來レバナツテ來ル程、吾々民族ガ窒息狀態ニナルノデアリマシテ、之ヲ今カラ何人カハ大丈夫ダト云フコトヲ當局者トシテ責任ヲ以テハ言ヒ得ナイ性質ノモノデ、段々多クナツテ來レバ多クナツテ來ル程苦シイ狀態デアル、然ルニ其時マデ、入レルマデハ香氣ニヤツテ居ルト云

フ譯ニハ中々行カヌノデアリマス、御尋ニ對シテ十分ニ御答ノ出來ナイコトハ洵ニ遺憾ニ存ジマス

○宮古委員 政治的ニ解釋スルトサウ云フ御答辯ニナリマスガ、サウデハナイ、是等ノ土地ニ先ヅドレ位收容シ得ルカト云フコトナラバ幾ラデモ御答ガ出來ル譯デアリマセウ、此土地ハドノ位マデ入ッテモ差支ナイモノデアラウト云フコトナラバ一向差支ナイデアアラウト思ヒマス

○永田國務大臣 ドウモチョット私トシテハ明答ヲ致シ兼ねマス

○宮古委員 例ヘバ北海道ナラバ今五百万位入ッテモ宜カラウ、入ルダケノ土地ガアラウト云フコトデアルナラバ、朝鮮ニ付テハドノ位マデ人口ガアッテモ差支ナイ生活ガ出來ル程度ニナルカト云フコトデスカラ、ヤハリ朝鮮ニ於テモ同様デス、ドウデアリマセウ、ドノ位マデハ其處ニ收容シ得ルカト云フ問ナラバ、御答ハ差支ナイデアリマセヌカ、之ヲ日本ノ方カラドン／＼人ヲ持ッテ行クト云フコトデアルナラバ、或ハ朝鮮ノ方デ色々異論ガ起ルカモ知レヌ、或ハ他ノ方デ起ルカモ知レヌガ、サウ云フ問題デハナク、唯單ニ實際其處ニ入レ得ル人口ハドノ位デアルカト云フノデスカラ、サウ

云フコトハ一向御答ニ差支ナカラウト思ヒマス

○永田國務大臣 篤ト考慮ヲシテ御答申上ゲルコトニ致シマス、此場合ニハ私トシテ明瞭ニ御答スルコトノ出來ナイノヲ遺憾ニ存ジマス

○宮古委員 御答ガナケレバソレハ仕方ガナイトシテ、先程外國ノ方ノ狀態ヲ御話ニナッタノデスガ、今如何ニモ方々カラ門戸ヲ閉鎖サレテ、中々日本ノ民族ガ入ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナッテ居ルヤウデスガ、ソコデ現在ノ世界ノ中デ日本カラ一番多クノ移民ヲ送り得ルト云フヤウナ所ハ今ドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマセウカ、南米方面ノコトモ今大體御話ニナッタガ、是ハ拓務省トシテハ成タケソツチノ方ニ行カレルヤウニ仕向ケルト云フコトニヤッテ居ラ、シャルニ違ナイト思フノデアリマスガ、ドウ云フ方面ニ多クノ移民ガ行カレ得ルト云フヤウニ考ヘテ仕向ケテ居ルノデアルカ

○永田國務大臣 滿洲ト南米ト南洋トヲ考ヘテ居リマス

○宮古委員 是ハ今マデ申上ゲテ見マシタ通りニ、ドウモ大變ナ重大ナ問題デ、今申上ゲタ通り二十年間ニナルト二千万ニ殖エルト云フコトニナル、三十年ニナルト三千

万、三千五百万、四千万ト云フコトニナッテ來ルノダカラ、是ハ大變ナ問題デア、拓務省ニ於テハ十分ノ研究ヲ願フテ置カナケレバナラスノハ勿論デア、尙又拓務省ト云フモノヲ一ツノ省トシテ拵ヘテ置クト云フコトモ、此點ニ主ナ理由ガアルドラウト思ッテ居リマス、兎モ角澤山ニ殖エル所ノ人口ヲ何トカシナケレバナラスノハ當然デア、其爲ニドウシテモ拓務省ト云フモノガナクチャナラスモノデアルト私共ハ確信シテ居ル、ダカラ拓務省ヲ廢スト云フコトハ、此人口ノ増加ト云フコトニ付テ考ヘタナラバ、到底コンナコトハ問題ニスルコトハ出來ナイモノデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、是ハ一番生活ニ關係ノアル重大ナ問題デア、是ハ拓務省ガ扱ッテ居ルノデア、拓務省ニ於テハ之ヲ同化スルト云フコトニ人間ヲ仕向ケテ行カナクチャナラス、ドウモ今日ノヤウニ移民ガ行クノニハ行クノダケレドモ、僅ニ千人ヤ二千人ヤ一万人ト云フコトデハ、一年ニ百万モ殖エル人口ヲ處分ノ仕様ガナイ、デアリマスカラ、是ハ大イニ御考ヲ願フテ、日本ノ民族ガ安々ト生活ガ出來ルヤウ仕向ケルヤウニ御考ヲ願ヒタイト思フノデス、其問題ハソレダケニシテ置キマス、次ニハ臺灣拓殖株

式會社ガ是カラ仕事ヲスル中ノ主ナ一ツデアラウト思フノハ南支、南洋ニ於ケル邦人ノ拓殖事業ノ進展ニ協力スルト云フ點ニアルト思フノデアリマスガ、南支、南洋ト云フテモ可ナリ廣イノデア、是ハドウ云フ風ニナサル御見込デア、南支、南洋ノ方面ニ日本人ヲドン／＼送ッテ、ソレニ資金ノ融通ヲサシテ、ソチヲ方ノ發展ヲ圖リ、日本ノ國益ニナルヤウニサセヨウト云フ方針デア、其南支、南洋ト云フノハ具體的ニ言ヘバドチヲ方ノ方面デア、ソコヲ申スコトガ出來ルナラバ承リタイ

○永田國務大臣 先ニ申上ゲマシタヤウナ次第デアリマシテ、人口問題ニ關聯シタコトトシテハ南支南洋ニ於テハ主トシテ經濟的、貿易的ノ方ニ重キヲ置イテ、貿易ト云フノハ語弊ガアリマスガ、經濟的發展ニ付テ重キヲ置クノデアリマシテ、人ヲ送出スト云フコトヨリモ經濟的發展ト云フコトニ重キヲ置イテ動ク積リデア、ノデアリマス、其如何ナル所ニドウ云フ氣持ヲ以テ進ムカト云フコトニ付テハ先ニ申上ゲマシタ

○櫻井委員長 宮古君、アナタノ議席ニ御出デニナラナイ時ニ速記ヲ止メテ、此間ニ御話シテ相當詳シイ話ガアリマシタ、其點

ハ後廻シニ願ヒタイ

○宮古委員 多分サウ云フコトデアラウト

思ッテ、私ノ想像モ其通りデアッテ、ソレハ承
リマシタカラ却テ喜ンデ居リマス、南支南
洋ト云ッテモ、具體的ニ御説明ガ出來ナイカ
モ知レヌト云フコトヲ豫想シテ居リマシタ
ガ、併ナガラ言ウテ差支ナイト云フコトニ
ハ御諒解願ヒタイト云フ積リデアッテ、其點
ハソレニ止メテ置キマス、此會社ヲ拵ヘル
ニ付キマシテノ官租地ヲ提供スルト云フ、
千五百万圓位ハ提供スルト云フコトデス
ガ、先刻木下サンカラノ御尋ニ對シテ官租
地ヲ提供スルノダト云フ御答ガアリマシ
タ、官租地ハ全部提供スルト云フ意味デア
リマス、官租地ノ中ノ或ル部分ヲ提供ス
ルト云フノデアリマス、一寸承リタイ

○平塚政府委員 官租地ノ中ニ於キマシテ
千五百万圓ニ當ルダケヲ提供シヨウ、斯ウ
云フ考デアリマス、先ヅソレデ大體其目的
ヲ達セラル、ト、斯ウ考ヘテ居リマス

○宮古委員 頂戴シタ參考資料ニ依リマス
ト、官租地ト云フモノハ一万八千三百四十
四甲九、サウシテ官租ノ額ガ十二万七千二
百五十四圓トナッテ居リマスガ、是ノ中デ千
五百万圓ト云フト、凡ソハドノ位ニ當ル御
見込デアリマス

○平塚政府委員 大體一万八千甲、其中ノ

大體千五百万圓ニ當ルモノ、斯ウ考ヘテ居
リマス、併シハ實際評價ヲ致シマシテ、
サウシテ其評價ノ結果ニ依ッテ決定致スノ
デアリマス、唯私共ノ見込ト致シマシテハ、
一万八千甲デ十分デアルト云フ意味ニ考ヘ
テ居ルノデアリマス

○宮古委員 サウスルト一万八千甲ト云フ
ト殆ド全部デアアルガ、評價委員會ニ評價サ
セテヤルト云フコトデスカラ、殆ド全部ヲ
此會社ノ出資トシテ充テルト云フコトニナ
ルノデアリマスガ、殘ル所ハ未開地、此未
開地ノ方ガ此表デ見マスト云フト、不要存
置林野トナッテ居ルモノガ十五万三千八十
七甲トナッテ居リマス、是ハ全部開拓ノ出
來ル所デセウカ、或ハ此中ノ幾分シカ開拓
ニハ適セナイデ、後ハ開拓ノ出來ナイ所ニ
ナルデセウカ、ソレヲ承リタイ

○平塚政府委員 茲ニ掲ゲデアリマシタ統
計ノ全部ハ開拓ハ困難デアルト考ヘテ居リ
マス、尙ホ官租地以外ニ色々集團地等モゴ
ザイマスノデ、是等ノ集團地等、或ハ保留
ヲ致シテ居リマスルヤウナ所ニ付キマシテ
ハ、特ニ開發ノ爲ニ、ソレ等モ使ヒ得ルト
云フコトヲ考ヘテ居リマス、要シマスルノ
ニ總テ土地ヲ提供スルト云フコトハ、全部

ヲ提供スルト云フヤウナ意味デハナイノデ
アリマス、尙ホ未開地等モ開墾ハ出來マ
スルガ、大部分ハ開墾出來マサルシ、隨テ
山地開發ト云フヤウナ方面ニ付キマシテ
モ、或ハ植林ト云フヤウナコトニ付キマシ
テモ、只今調査ヲシテ著手ヲ致シテ居ルト
云フヤウナ狀況デゴザイマス

○宮古委員 此不要存置林野ト云フノハ全
部ハ開拓ガ出來ナイト云フ御話デアリマ
ス、此會社ノ要綱ノ中ヲ見マスト、ヤハリ
拓殖、開拓モヤルヤウニ思ヒマスガ、此未
開地ノ方モ、此會社ニドウ云フ風ノ形式ニ
シマス、出資デヤナイデセウガ、之ヲヤ
ハリ開拓サセルト云フコトヲヤル御見込ナ
ンデスカ

○平塚政府委員 此會社ノ設立ニ付キマシ
テハ、先刻申上ゲタ通り官租地ヲ提供致シ
マシテ、サウシテ出資ヲ致スノデアリマス、
事業ヲ經營致シマシテ、サウシテ尙ホ多ク
ノ土地ヲ要スル場合ニ於キマシテハ、會社
カラ總督府ニ願ヲ出シマシテ、サウシテ或
ハ未開地等ノ拂下ゲヲ受ケ、或ハ貸下ゲ
ヲ受ケマシテ、仕事ヲヤルト云フコトガア
リ得ルノデアリマス、サウ云フ風ニ致シマ
シテ、島内ノ開發ヲ圖ッテ行キタイ、斯ウ考
ヘテ居リマス、此差上ゲマシタ參考書ハ御

要求ガアリマシタノデ、其要求ニ從ッテ其
點ダケヲ是ハ掲ゲテ差上ゲタノデアリマス
○宮古委員 無論移民モ參ルノデアリマセ
ウシ、島民モ居ルノデアリマスルカラ、其
方面カラ此開拓ノ必要モアルノデアリマセ
ウガ、サウスルト會社ノ方ハ移民及ビ島民
ノ方ト併行シテヤハリ開拓ハサセルコトニ
ナリマス

○平塚政府委員 會社ノ仕事ト、ソレカラ
總督府ノ仕事ト相協力致シマシテ、サウシ
テ開發ノ目的ヲ達成致シタイト、斯ウ考ヘ
テ居リマス

○宮古委員 此會社ノ爲ニ移民ノ方及ビ島
民ノ方デ不利益ヲ被ムルヤウナコトハアリ
マセヌカ

○平塚政府委員 不利益ヲ被ムルコトハア
リマセヌデ、却テ幸福ヲ増進スルデアラウ
ト考ヘテ居リマス

○宮古委員 此參考資料ヲマダ讀ンデ見ル
違ガアリマセヌデシタガ、現在ノ移民ノ狀
態ハドウ云フ風ニナッテ居リマス、年々ド
ノ位ヅツ移民ガ今入ッテ居リマス

○平塚政府委員 臺灣ノ移民ハ此處ニモ書
イテゴザイマスル通り私營移民時代モアッ
タノデアリマス、又官營移民、色々經過ヲ
經タノデアリマスガ、私營移民ノ事業ヲ保

護助成致シマシテ、現在ニ於キマシテハ相當ナ成績ヲ舉ゲテ居ル所ガアルノデアリマス、殊ニ東海岸方面ニ於キマシテノ移民村ハサウ云フ状態ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ最近ニ於キマシテハ官營移民事業ヲ再ビ昭和七年カラ再興致シマシテ、農業並ニ漁業移民ヲ招致シテ居ルノデアリマス、西部地方ノ臺中州下ノ官有未墾地一千餘甲歩ニ村ヲ拵ヘサセテ居ルノデアリマス、約百六十戸ノ移住ヲヤツタノデアリマス、今申上ゲマシタノハ沙山庄ト云フ所デアリマ

シ、其外屏東或ハ臺南、臺北ノ蘇澳、新港ト云フヤウナ方面ニ於キマシテ農業、漁業移民ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、殊ニ臺灣ニ於キマシテ近來内地移民ヲ招致スル上ニ於テ最モ有效的ナ結果ヲ舉ゲテ居リマスノハ、煙草ノ生産ヲ増殖セシムルト云フコトニ相伴ヒマシテ、又一方ニ於キマシテハ臺灣ノ收入ヲ増加スル上ニ於キマシテ、主ニ煙草ヲ耕作スル移民ヲ——西海岸ニ於キマシテモ亦屏東方面ニ於キマシテモ、ソレカラ先刻モ申上ゲマシタ東海岸ニ於テノ民營ノ移民村ニ於キマシテモ、煙草ノ耕作ヲ共ニヤラシムルト云フヤウナ方法ニ依ツテ、所謂農村ノ經濟更生ノ途ヲ圖リマシテ、最近ニ於キマシテハ相當ノ成績ヲ舉

書イテ差上ゲテモ宜シウゴザイマスガ、御手許ニ差上ゲテゴザイマス「臺灣事情」ト云フモノニ今ノ生産ノ狀況、總額等ガ詳シク書イテゴザイマス、尙ホソレヲ摘記致シマシテ差上ゲテモ宜シイノデアリマスガ、詳シク説明モ付ケテ書イテアリマスカラ、ソレモ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス

ドウ云フ風ナ有様デアルカ、臺灣自治ヲ招來致シマシタル情勢、竝ニ臺灣自治ノ現狀、將來ノ見透シ、之ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、政府委員デ宜シウゴザイマス

○宮古委員 私ノ質問ハ大體ソレデ宜シイノデスガ、一ツ臺灣ニ於ケル生産品、澤山ノ種類ガアリマセウガ、ソレヲ表ニシテ御廻シヲ願ヒタイト思ヒマス、今デナクテモ宜シウゴザイマスガ、各生産品ノ種類、ソレガ一箇年ニドノ位ノ生産ガアツテ、ソレニ對スル價格ガドノ位デアルカ、其表ヲ一ツ御願シタイ、ソレカラモウ一ツ御願シタイト思ヒマスノハ、水田モアルシ畑モアルシ、山林モアルシ色々アルデセウガ、各種目ニ付テ統計ノ上デ各、ドノ位アルデアラウカ、詰リ官租地モ入ル、其表ヲ一ツ戴キタイ——會社ノ方ニ付テノコトハソレ位デゴザイマス、鐵道ノ方ニ付テ一寸御尋シタイコトガアルノデスガ、宜シウゴザイマスカ

○宮古委員 マダ之ヲ讀ンデ居ル暇ハアリマセスデシタケレドモ、併ナガラ之ヲ見テモサウ無ササウニ思フノデス、私ノ要求シテ居ルノハ一切ノ生産品ヲ言フテ居ルノデス、米ガ幾ラ、「バナナ」ガ幾ラ、樟腦ガ幾ラ、何ガ幾ラト云フヤウニ生産品ヲ全部舉ゲテドノ位ノ生産ガ臺灣カラ出ルノカ、又其價格ガドノ位デアアルカト云フコトヲ知リタイノデス、是ハ總督府ガ拵ヘテ居ルモノト云フノデヤナイ、一切ヲ言フノデス、詰リ臺灣ノ生産品全部ニ付テノ表ガ欲シイノデス

○平塚政府委員 只今宮古サンノ御要求ハ

○櫻井委員長 ソレニ付テハ後程申上ゲマス

○櫻井委員長 ソレデハ鈴木文治君

○鈴木委員 私ハ先ヅ直接ニ此會社法ニ關スルコトデハナク、臺灣統治ノ目的上、是非トモ御聽キ申シテ置キタイト思フコトヲ先ヅ御尋致スノデアリマス、ソレヲ三四箇條伺ツテ、ソレカラ法文ニ關スル質疑ヲシタイト思フノデアリマス、臺灣自治ノ狀況ガ

○平塚政府委員 只今鈴木委員カラノ御質問ノ臺灣自治ト云フ御言葉デアリマシタガ、地方制度改正ヲヤリマシタ其改正ノ地方制度ノ結果ノコトグラウト考ヘマスルノデ、其意味ニ於テ答辯ヲ致シタイト思ヒマスガ……（鈴木委員「宜シウゴザイマス」ト呼フ）制度ハ昨年四月一日發布致シマシテ、實施ヲ致シマシタノハ昨年ノ十月一日カラデアリマス、サウシテ第一回ノ選舉ヲ行ヒマシタノハ市、街、庄、之ニ昨年ノ十一月二十二日行ヒマシタ、サウ云フコトニ相成ツタノデアリマスルガ、制度ヲ公布致シマスルト共ニ今回ノ改正ノ趣旨ヲ十分徹底セシムルヤウニ官署ヲ通シ、或ハ民間ノ團體等ヲ通ジマシテ講演ヲ致シマシテ、其趣旨ノ徹底ヲ圖ツタノデアリマス、而シテ愈々選舉ヲ致シマシタ十一月二十二日、博覽會ノ開會中デアリマシタガ、其投票ノ模様等ヲ見マスルト、約有權者ノ九六%投票ヲ得タノデアリマス、ソレカラ選舉ノ告示ヲ致シマシテ以來、所謂選舉運動ト云フヤウナ

狀況ヲ見マスルト云フト、演說會等モ相當
ゴザイマシタガ、其會場ニ於テハ過激ナ
ル論說ヲ致シタイト云フモノハ全クナイノ
デアリマス、又選舉運動ニ於キマシテモ互
ニ憂慮致スベキヤウナ對抗的ノ競争ヲヤッ
タト云フヤウナ模様モナカッタノデアリマ
ス、又此改正ハ半分ハ官選デ、半分ハ民選
デアリマス、ソレ故ニ官選ノ方ハ官選ト致
シマシテ、投票ノ日ニ官選ヲ致シタノデア
リマス、ソレ故ニ選舉ヲ致ス其勢、自分ガ
名乗ヲ掲ゲテ、サウシテ地方公共團體ノ爲
ニ盡サウト云フ氣勢ヲ削グト云フコトモ考
フベキ點デアリマスノデ、ソレ等ノ點モ十
分注意ヲ致シマシテ、地方ノ爲ニ奮ツテ自ラ
立ッテヤラウト云フ内臺兩方ヲ問ハズ、ソレ
等ノ人ノ候補ヲ希望シテ居ッタヤウナ次第
デアリマシタガ、先ヅ大體ニ於テ其目的モ
達成スルコトガ出來タト考ヘテ居リマス、
候補者ノ當選シマシタ率ナドヲ較ベテ見マ
シテモ、大體ニ於テ内地人ノ候補者ノ當選
率ハ、臺灣人ノ當選率ヨリモ率ハ宜シイノ
デアリマス、是ハ臺灣ニ居リマスル所ノ内
地ノ人モ、地方公共團體ニ關心ヲ有ツテ、自
ラ奮ツテ立ッタト云フ説明ニ相成ルダラウト
考ヘラル、ノデアリマス、斯様ナ次第デゴ
ザイマシテ、先ヅ良好ナ經過ヲ取ツテ、選舉

ヲ十一月二十二日ニ終了致シタノデアリマ
ス、其後其市會或ハ街庄ハ協議會ト申シテ
居リマスルガ、其協議會等ノ狀況ヲ見マス
ルト、役員ノ選舉等ニ於キマシテモ、餘リ
多クノ紛争ハナイノデアリマス、多少初メ
テアリマスルカラ、慣レナイ所ハ打合セ
上、多少ノゴタノアッタ處モアリマスル
ケレドモ、大體ニ於キマシテ頗ル穩健ニ役
員ノ選舉等モ行ハレマシタ、ソレカラ其後
引續イテ豫算ノ審議ニナッタノデアリマス
ルガ、此豫算ノ會議中ニ於キマシテモ大ナ
ル事故ガナクテ、大體平穩裡ニ終了スルコ
トヲ得マシタ、唯此間大臣ヨリ御話ノアリ
マシタ彰化ト云フ市、此處ニ於キマシテハ、
豫算決議ニ關シマシテ、多少意見ヲ異ニ致
シタ者ガアリマシタガ、再ビ色々協議ヲ致
シマシタ結果、是亦圓滿ニ解決ヲ致シタヤ
ウナ次第デアリマス、斯様ナ狀態デゴザイ
マス、又其出席缺席ノ狀態デアリマスガ、
是ナドモ病氣其他特別ノ事故アル者ノ外
ハ、舉ツテ會議ニ出席ヲ致シテ居ル、一般ニ
洵ニ眞摯ナル態度ヲ保持シテ、議事ニ干與
ヲ致シテ居ルト云フヤウナ模様デアリマ
ス、之ヲ此制度改正前ニ比較ヲ致シテ見マ
スルト、議事ハ一般ニ緊張ヲ致シマシテ、
言論亦一段ト活氣ヲ呈スルヲ見ルニ至ッタ

ヤウナ次第デアリマシテ、其局ニ當ツテ居リ
マスル所ノ理事者ハ固ヨリ、議員或ハ協議
會員ノ地方公共團體ニ對スル關心竝ニ議案
ニ對スル研究心ガ向上ヲ致シタ、斯ウ見テ
宜カラウト思ヒマスルノデ、今後ノ市街庄
制度ノ進展ノ上ニ於キマシテ、裨益スル所
多大ナルモノガアルト考ヘルノデアリマ
ス、又一面ニ於キマシテハ、一般市街住民
ノ關心ノ程度モ一段ト深マリマシテ、民意
ノ暢達ヲ圖ル上ニ於テモ效果ガアルト見ラ
レルノデアリマス、大體御承知ノヤウナ臺
灣ノ事情デアリマスルカラ、此制度ノ運用
ニ付キマシテハ、將來一層制度制定ノ際ニ
懸念ヲ致シマシタヤウナ、各般ノ方面ニ關
シマシテ十分ナ注意ヲ致ス積リデアリマ
ス、又若シ或ハ法律ニ違背スルカ云フヤ
ウナコトガゴザイマシタナラバ、斷然トシ
テ矯正ノ途ヲ圖ツテ假藉ナク、寬嚴宜シキヲ
得マシテ、サウシテ此制度ノ改正ノ運用ヲ
發揮致シタイ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第
デアリマス、將來モサウシテ參ルダラウト
云フ見透シヲ付ケテ居ルヤウナ譯デアリマ
ス

○鈴木委員 此選舉ニ際シテ内地人ト本島
人トガ選バレタ人數ニ付テノ御調ガアリマ
スカ、ソレカラ選舉ニ付テ犯罪者ガ出タヤ
ウナコトハナイデセウカ
○平塚政府委員 今ノ統計ノ方ハ持ッテ居
リマスルカラ差上ゲマス、ソレカラ選舉違
反ノ方デアリマスガ、是ハ申シ落シマシタ
ガ、選舉違反モ多少アッタノデアリマス、併
シ從來内地ニ於テ經驗ヲ致シマシタヤウナ
色々ノ選舉違反ハ餘リアリマセヌ、法規ノ
取扱ノ不慣レト云フヤウナモノガ大部分デ
アリマス、或ハ買収ト云フモノガ極ク僅カ
アリマシタケレドモ、極ク輕微ナ程度ノモ
ノデアリマス、大部分ハ法規ノ取扱ノ不慣
レニ原因スル、斯ウ申上ゲテ宜シイノデア
リマス、是亦統計モ持ッテ居リマスルカラ、
御覽ヲ願ツテモ宜シウゴザイマス
○鈴木委員 ソレハ是非頂戴致シタイト思
ヒマス、ソレカラ次ニハ内臺融和ト云フ事
ガ盛ニ叫バレテ居ルノデアリマスルケレド
モ、内臺融和ノ實績トシテ見ルベキコトガ
ドノヤウナ事ガアルカ、殊ニ前ノ臺中知事
ノ竹下君ガ居リマシタ際ニ、臺中ニ於テ東
亞共榮協會ト云フ風ナ會合ヲ作ッタノデア
リマス、色々ナ犧牲ヲ拂ヒマシテ其會合ヲ
作ッタノデアリマスガ、其會合ガ今デモ續イ
テ居ルカドウカ、其會合ノ實際ノ上ニ於ケ
ル所ノ成績ガドウカ、竝ニ是ハ臺中ダケノ
コトニナツテ居リマスガ、臺灣ニ一般ニ行ハ

レテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平塚政府委員 内臺融和ノ實績ト申シマスルノハ、只今臺中ノ例ヲ御引キデ御質問ガゴザイマシタガ、アア云フ類ノ内臺人ノ共存共榮、融和ヲ目的トスルヤウナ團體ガ所々ニゴザイマスルノデ、又一方ニ於キマシテハ色々ナ會合ノ機會ヲ利用致シマシテ其融和ヲ圖ルト云フコトニ努メテ居ルノデアリマス、何レニ致シマシテモ内臺融和ハヤハリ内臺ノ精神上ノ投合ヲ圖リ、又經濟上ノ聯繫ヲ圖ルト云フコトデナケレバナリマセヌノデ、精神運動ニ於キマシテモ、又經濟上ノ或ハ組合ノ組織等ニ關聯致シマシテモ、或ハ又事業ヲ起ス上ニ考ヘマシテモ内臺兩方面協力シテ臺灣ノ治績ヲ舉ゲルト云フ風ニ努メテ居ルヤウナ次第デアリマス、殊ニ學校ニ於キマシテモ所謂共學デアリマスルノデ、——共學ト申スコトハ語弊ガアル位デアリマス、公學校、小學校ト云フ區別ハアリマスケレドモ、小學校ニ臺灣ノ人ガ入ルコトモ勿論差支ガナイノデアリマス、公學校ニ内地ノ人ガ入ルコトモ差支ガナイヤウナ狀態ニナッテ居リマスカラシテ、互ニ提携ヲシテ、サウシテ精神的ノ結合ヲ圖リ、經濟上ノ連繫ヲ圖ッテ、手ヲ握ッ

テ行カウト云フ氣分ガ、近時益々濃厚ニ相成ッテ居ルノデアリマス、是ハ一面我國ノ臺灣統治ノ精神ガ徹底ヲ致シマシテ、大臣ヨリ御説明ノアリマシタ通り、一視同仁ノ御趣旨ガ徹底ヲシテ、サウシテ段々茲ニ至リツツアルモノト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨年ノ大震災ノ際ニ於キマシテハ、全ク此内臺互ニ提携ヲシテ、其融和ヲシテ居ル事實ガ、アノ大震災ノ際ニ目撃セラレマシタ次第デアリマス、人ガ屋根ノ下ニ死ンデ居ルヤウナ模様ヲ見マシテハ、直チニ内地ノ人ガ駆け付ケマシテ、サウシテ掘出スト云フヤウナコトデアリマシテ、ソレ等ノ事柄ガ事實ノ上ニ於テ、著々效果ヲ奏スルヤウナコトニ相成ッテ參リマシタコトハ、洵ニ喜バシイ次第デアリマス、此地方制度ノ改正ノ運用モ一面ニ於キマシテハ内臺融和ヲ洵ニ本當ニ、是ハ促進スルモノト斯ウ考ヘマス、唯互ニ肚ノ中ニ考ヲ置イテ對立シテ居ッタヤウナ形デハイケマセヌカラ、考ヘル所ノモノハ之ヲ互ニ協議スル場所ガアッテ、ソコデ互ニ協議致シマシテ、初メテ精神ノ結合ヲ得ルト云フヤウナコトガ、此地方制度ノ改正ニ依ッテ機會ヲ與ヘラレタ、斯ウ申上ゲテモ宜シイヤウナ狀態デアリマス、臺中ノ共榮協會ノコトハ只今尙ホヤッテ居リ

マス、各州モ是ト同様デハアリマセヌケレドモ、同ジヤウナ意味ヲ以チマシテ、色々精神運動ヲヤッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○鈴木委員 次ニハ阿片患者ノコトガ「臺灣事情」ニ載ッテ居リマスルケレドモ、阿片患者ノ實際ノ成績ニ付テ御話ヲ承リタイト思ヒマス

○平塚政府委員 阿片患者ハ其矯正ヲ圖ルコトヲ目的ト致シテ居リマスルノデ、五六年前迄ハ二万以上ノ人ヲ算シタノデアリマシタガ、一面ニ於テ之ヲ取締ッテ居リマスルノデ、又其有害ナルコトガ段々衛生ノ發展ニ伴ヒマシテ自覺ヲ致シマシタ結果、今日ニ於キマシテハ其半數ニモ足ラスト云フヤウナ成績ヲ見テ居リマス、斯様ナ次第デアリマス、是ハ國際關係ヤ其他ノ條約關係等モゴザイマスルノデ、能ク注意ヲ致シテヤッテ居リマスルカラ、臺灣ト致シマシテ矯正ノ目的ヲ達スルコトガ極メテ近イ中ニアルト考ヘテ居リマス

○櫻井委員長 鈴木君、一寸御相談申上ゲマスガ、成ベク本法案ニ直接關係シタ質問カラ先ニ致シタイト思ヒマスカラ、アナタノモ全然關係ハナイトハ申シマセヌガ、今ノ程度デアリマシタラ、一旦茲ニ留保セラ

レテ後廻シニ願ヒマス

○鈴木委員 ソレデヤ留保致シマス——臺灣ニハ無斷開墾地ト云フノガ隨分澤山アルノデス、無斷開墾地シマシタモノヲ總督府ニ於テ之ヲ内地人ニ許可スルト云フ風ナコトニナリマス、内地人ハ只デ其土地ヲ取上ゲテ、而モ之ニ對スル補償ト云フコトハ殆ドヤラズニ、土地ヲ儲ケ金ヲ儲ケルヤウナコトニナル、其結果内地人ハ土地ヲ賣渡シマシテ、何處ニ行ッタカ譯ガ分ラヌヤウナコトニナルコトガ隨分アル、此點ノ無斷開墾地ガドレダケアルカ、無斷開墾地ニ對スル處置ヲドウ云フ風ニシテ居ルカ、是ガ即チ本法案ニ關係ガアルト思ヒマスカラ御同致シマス

○平塚政府委員 無斷開墾ノコトハ色々取調ヲ致シテ居リマスガ、山地ノ方ニ行キマシテモ隨分サウ云フ地方ガゴザイマス、併シ是ハ或ハ米ノ問題等ニ關聯致シマシテ、色々ノ調査ヲ致シテ居リマスルガ、大體「バナ」ヲ植エルトカ、或ハ雜穀ヲ植エルトカ云フヤウナモノガ非常ニ多イノデアリマス、中ニハ餘程前カラ水田ヲ作ッタ、或ハ畑ヲ作ッタト云フヤウナモノモゴザイマスルガ、是等ニ對シマシテハ三年バカリ前ニ於キマシテ一齊ニ調査ヲ致シマシテ、サウシ

テ無斷開墾ノ整理ヲ圖ツタノデアリマス、サ
ウ致シマシテ長イ年數ノ間其處ヲ開墾シテ、
サウシテ或ル一定ノ土地ガナケレバ生活ノ
出來ナイト云フヤウナ狀態ノ者ニ對シマシ

テハ、其無斷開墾シタ場所デアリマシテモ、
本人ニ許可ヲ致シタ處モアリマス、併シ大
體ニ於キマシテハ甚ダ不都合デアリマスル

ノデ、無斷開墾ハ之ヲ禁止致シマシテ、サ
ウシテソレヲ他ノ事業ヲヤル經營者ニ土地
ヲ貸付スル、或ハ拂下ヲスルト云フ方法ヲ執ッ

テ居リマス、只今鈴木サンノ御話ノゴザイ
マシタ直グ本島人ノ方ニ賣飛バサレテ云々
ト云フコトハ、或ハサウ云フモノモアッタ

デアリマセウガ、總テ官有地ノ拂下等ニ付
キマシテハ、事業ヲヤルコトヲ本體トシテ
許可ヲ致スコトニ取扱ヲ致シテ居ルノデア

リマス、此點ハ多少近頃サウ云フ風ナ意味
ニ於テ取締ヲ厲行シテ居ルト云フコトヲ御
承知願ヒタイト思ヒマス

○鈴木委員 無斷開墾地ノ反別ハ御分リニ
ナリマセヌデスカ、御分リニナリマスレバ
御知ラセヲ願ヒタイト思ヒマス

○平塚政府委員 大體ノモノハ分ラヌコト
ハゴザイマセヌカラ、是ハ又能ク調べマシ
テ申上げマス、尙ホ整理ヲ致シタ狀態ヲ申

上げマスルト、臺中、臺南、臺北等ニ於キ
マシテモ相當集團的ノ整理ヲ致シマシテ、
サウシテ州ニ貸下ゲテ、州ガ其收益ヲ圖ル

ト云フヤウナ方法ヲ執ッテ居リマス
○鈴木委員 ソレカラ法案ニ關係シタコト
デ、是ハ既ニ御話ノアッタコトデアリマス

ケレドモ、尙ホ御話ノアッタダケデハ私臆
ニ落チマセヌコトヲ御尋致スノデアリマス
ガ、東拓トノ關係デアリマス、東洋拓殖會社

ガ同ジヤウナ目的デ南支、南洋方面ニ段々
發展ヲシテ行ッテ居ル、然ルニ別ニ茲ニ南
洋拓殖會社ヲ作り、東洋拓殖會社ト同ジヤ

ウナ事ヲスル、東洋拓殖會社ハ南洋興發ト
云フヤウナ特別ナ會社ヲ設ケテ、子會社ト
云フモノヲ設ケテ、南洋興發ヲシテ獨特ノ

開發ヲヤラシテ居ル、併シ茲ニ臺灣拓殖會
社ガ出來マシテ、サウシテヤハリ大體ニ於
テ同ジヤウナコトヲヤルト云フコトニナリ

マスレバ、殆ド四ツモ五ツモノ會社ガ茲ニ
出來マシテ、同ジ事業ヲヤルヤウナ風ナコ
トニナルト思フ、廣田内閣ハ統制經濟トカ

何トカ申シマシテ、統制ト云フコトヲ言ウ
テ居ラレルヤウデアリマスルガ、殆ド茲ニ
統制ノ實ガ舉ッテ居ナイノデヤナイカ知ラ

ン、斯ウ云フ風ニ思ハルノデアリマス、
此點ニ付テ拓務大臣ノ御意見ヲ承リタイト
思ヒマス

○永田國務大臣 東拓トノ關係ハ前ニモ申
上げマシタガ、東拓トシテハ朝鮮、滿洲ヲ
主ニシテ活動シテ居リマスガ、ソレ以外ニ

支那ノ方ニモ南洋ノ方ニモ仕事ヲシテ居ル
ノデアリマス、併シ主トシテ朝鮮、滿洲ノ方
ニ仕事ヲスルノデアリマス、自然此會社ハ

臺灣ヲ根據トシテ、臺灣ニ根城ヲ構ヘテ南
支南洋ノ仕事ヲヤルト云フノデアリマスカ
ラ、或ル場合ニ南支、南洋ニ付テハ東拓ノ

仕事ト重複スルヤウナ風ニ考ヘマスガ、是
ハ將來ニ於テハ、自ラ東拓ガ南支南洋ニ於
テ仕事ヲスル場合モ少クナル、又特殊ナ場

合デナケレバ南支、南洋デ仕事ヲシナイト
云フコトニナッテ行カウト思ヒマス、今御話
ノ通りニ、外ニモ興中公司ト云フモノガアッ

テ、是モヤハリ南支ノ方ニハ手ヲ伸バシテ
仕事ヲスルト云フヤウナコトニナッテ居リ
マス、南支ト云フ點ニ付テハ、是モ或ル場

合ニ於テハ重リ得ルノデアアル、南洋興發ノ
方ハ東拓カラ資金ヲ得テヤッテ居リマスガ、
是ハ自然今カラ後ニ行フノハ、ヤハリ砂糖

ノ仕事ヲシテ南洋廳内ノ開發ヲ主ニシテ
ヤッテ居ルノデアリマシテ、自ラ其仕事ガ
違ッテ居リマス、但シ南洋興發ノ方デハ近頃

「ニューギニヤ」ニ對シテ、其砂糖ニ依ッテ
會社ノ基礎ガ確實ニナッテ居リマスカラ、更
ニ進ンデ「ニューギニヤ」方面ニ於テモ棉ノ

試作ヲヤルトカ、色々ノ計畫ヲ今立テテ居
リマス、ソレデ斯ウ云フヤウナ會社ハ、南
洋拓殖ノ方トノ關係ニ於テハ、例ヘバ水産

ノ方ニ付テハ南洋興發ノ子會社デアアル所ノ
會社ハ廢メテ、サウシテ南洋拓殖ノ方ニ併
合サレマスガ、其他個人々々ノ水産事業ヲ

ヤル者ハ、南洋拓殖ノ方デ水産ヲ個人的ニ
ヤッテ居ル者ハ援助モシテヤル、多クノ色々
ノ會社ガゴザイマスガ、其他民間ニ於テモ

尙ホ官廳ニ關係ノナイ會社ト云フモノハ、
色々製材會社、或ハ日産ニ關係ノアル會社
モ色々活動シテ居リマス、是等ノ色々ナモ

ノガアルノヲ、總テ一ツニスルト云フノデ
ハナクシテ、ソレ等ノ間ニ連絡ヲ取り、統
制ヲ保ッテ行クヤウニシテ行キタイト思ッテ

居ルノデアリマシテ、決シテソレガ爲ニヤ
リ辛ク、混亂シテ競争狀態ニナルト云フヤ
ウナコトハ惹起サナイ積リデアリマシテ、

其間ニ却テ相助ケテ、能ク周到ニ仕事ヲ見
付ケ出シテ行クト云フ風ニシテ行キタイ、
其統制ニ付テハ拓務省ノ關係スルモノノ間

ニ於テハ、勿論直接ニ統制ヲ致シマスシ、
又興中公司ノヤウナ滿鐵關係ノ方面ニ付テ
ハ、コチラニ於テ能ク連絡ヲ取ッテ仕事ヲシ

テ行キタイト思ッテ居リマスカラ、統制ト云
ニ進ンデ「ニューギニヤ」方面ニ於テモ棉ノ

試作ヲヤルトカ、色々ノ計畫ヲ今立テテ居
リマス、ソレデ斯ウ云フヤウナ會社ハ、南
洋拓殖ノ方トノ關係ニ於テハ、例ヘバ水産

ノ方ニ付テハ南洋興發ノ子會社デアアル所ノ
會社ハ廢メテ、サウシテ南洋拓殖ノ方ニ併
合サレマスガ、其他個人々々ノ水産事業ヲ

ヤル者ハ、南洋拓殖ノ方デ水産ヲ個人的ニ
ヤッテ居ル者ハ援助モシテヤル、多クノ色々
ノ會社ガゴザイマスガ、其他民間ニ於テモ

尙ホ官廳ニ關係ノナイ會社ト云フモノハ、
色々製材會社、或ハ日産ニ關係ノアル會社
モ色々活動シテ居リマス、是等ノ色々ナモ

ノガアルノヲ、總テ一ツニスルト云フノデ
ハナクシテ、ソレ等ノ間ニ連絡ヲ取り、統
制ヲ保ッテ行クヤウニシテ行キタイト思ッテ

フ意味ニ付テハ混亂ヲ起スヤウナコトナク、却テ相援ケ合ッテ仕事ハ進ンデ行クヤウニ仕向ケタイト思ッテ居リマス

○鈴木委員 御話ヲ承リマシテ餘程分ッタルノデアリマスガ、拓務大臣ハ自ラ其間ニ區別ガ出來テ互ニ助合フコトガアツテモ、競争スルヤウナコトハナカラウト云フヤウナ御話デアリマスガ、若シ之ヲ事業別ニ分ケルトカ、或ハ地域的ニ分ケルトカ云フ風ニ致シマスレバ格別、事實上地域モ一緒デアル、事業モ亦法案文面カラ見マスレバ、同ジヤウナ關係ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、ソコニドウモ統制ノ上ニ困難ヲ來シハシナイカト思フノデアリマス、例ヘバ拓務大臣ハ何時マデモ拓務大臣ノ地位ニ居ラレルカドウカ分ラナイ、拓務大臣其人ヲ更ヘタヤウナ時ニモ、尙ホ依然トシテ此方針ヲ續ケテ行クト云フコトニ付テ拓務大臣ハ御考ニナツタコトガアリマスガ、ドウデスカ、サウ云フコトヲ考ヘナイデモ其點ハ十分ナノデアルカ、其點ヲ御伺致シマス

○永田國務大臣 只今申シマシタヤウニ、東拓ノ出來マシタ頃ハ斯ウ云フ會社モアリマセズデシタカラ、東拓トシテハ手ノ擴ゲ得ルダケ廣ク仕事ヲシテ居ッタノデアリマス、デアリマスガ、東拓ハ其成立ノ歴史ニ

鑑ミマシテモ、朝鮮、滿洲ト云フ處ガ其發祥地トデモ言ヒマスガ、サウ云フ仕事ヲスル根本地ニナツテ居リマスカラ、サウシテ外ノモノガナカッタ頃ニ南支、南洋ノ方ニ手ヲ伸バシテ居ルノデアリマス、今日マデヤツテ居ル事柄ニ付キマシテハ、先般申上ゲマシタ通りニ南洋、臺灣拓殖ニ肩替ヲスルト云フヤウナコトハセナイ積リデ、今マデヤツテ居ルモノハ其儘デアリマス、又今後東拓ガヤル方ガ便利ダト云フヤウナ場合モアルカモ知レマセヌガ、今後ニ於テハ南支、南洋ニ關スル限りハ主トシテ臺灣拓殖ガソレニ當ルト云フ風ニ自然ニナツテ行カウト思ヒマスノデ、私ノ居ル居ラスニ拘ラズ、拓務省ノ方針ヲ決メテ置キマスレバ、ソレニ間違ガナク行ケル積リデアリマス

○鈴木委員 諒承致シマシタ、尙ホ移民ノコトニ付テ一ツダケ伺ヒタイノデアリマスガ、臺灣總督府ハ移民ノコトヲ色々言ウテ居リマスケレドモ、私共ノ眼カラ見レバ、臺灣ニハ移民ナルモノハナシト言ヒタイ、移民ナルモノハ五戸、十戸、二十戸、或ハ三十戸、多クテ五十五戸ト云フヤウナ譯デアリマシテ、臺灣總督府ハ金モナカッタデセウシ、經驗モ不十分ナ點モアッタデアリマセウガ、臺灣總督府ハ殆ド移民ナルモノニハ

手ヲ著ケテ居ラナカッタ言ッテ宜イ、十戸ヤ十五戸ノ移民デハ移民ゴッコデアル、移民ノ試験ゴッコデアル、コンナコトヲヤツテ居ル時期デハナイト思フノデアリマス、ソコデ私ハ御伺シタイト思フノデアリマスガ、將來臺灣拓殖會社ノ内容ニ於テ移民ニ對スル計畫ガアルカ、先刻モ御話ガアリマシタガ、重ネテ伺フノデアリマスガ、年ニドレダケノ移民ヲ入レル積リカ、又ドレダケノ移民ガ入レバ大體臺灣ハ一杯ニナルノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ御見込ガ付イテ居ルノデアリマスガ、付イテ居ラスノデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○北島政府委員 只今ノ御質問ノ中此會社ヲ離レテ、臺灣全體トシテ、將來内地人ノ移民ガドウ位入ルカト云フコトニ付キマシテハ、先程宮古サンノ御質問ニ對シテ、大臣カラモ御答ノアリマシタヤウニ、是ハ中々一寸吾々トシテ的確ナル豫想ヲ申上ゲルト云フコトハ甚ダ困難デアリマス、唯此會社ト致シマシテハ、大體今後十箇年間ニ戸數ニ致シテ三千五百戸、大體一萬七千人、ソレニ附帶致シマシテ多少移民モアリマスルガ、總計約二萬人デアリマス

○鈴木委員 ソレダケノ移民デハ實ハ足ラナイト思フノデアリマス、先刻御話ノアリマシタ通りデアリマスケレドモ、ソレダケノ移民ヲ送ルト云フ位デハ足ラナイト思フノデアリマスケレドモ、臺灣ニ於テハドウモ内地人ガ入ッテ貰ッテハ困ル、内地移民ノコトニ付テ聲ヲ大キクシテ言ウテ貰ッテハ困ルト云フ意見ガ或ル方面ニ於テアルノデ、隨テ此移民問題ト云フモノハ餘リ多ク言ハレナカッタ思フガ、十年ニ二萬人ト云フト、年ニ二千人デアリマス、一戸五人平均ト致シマスレバ、四百戸デアリマス、ソレ位ノ移民ガ入ッテ所デ入ラス所デ、日本トシテ殆ド痛痒ヲ感ジナイト云フヤウナ様子デアルノデアリマスガ、假ニソレハソレデ宜イト致シマシテモ、是等ノ移民ニ付テハ、是ハ是非トモ御注意ヲ願ハナケレバナラヌコトハ、臺灣ニ——臺灣ニ限ラズデアリマスガ、臺灣デアリマスカラシテ臺灣ニ付テ申上ゲマスレバ、臺灣ニ移民ヲシタコトニ付テ、移民ニ付テ、特別ノ保護ヲ講ズル意思ガアルカドウカ、今マデノ商工移民ト云フモノガ臺灣ニ居リマシテモ、殆ド保護ヲ受ケテ居ラナイ、本島人同様ノ扱ヒヲ受ケテ居リマスノデ、ドウシテモソコハ氣候、風土言語其他ノ關係カラシテ、本島人ノ方ガドウシテモ得ヲ取ル、即チ内地人ト云フ

者ガドウシテモ競争ニ打負ケテ來テ居ル、之ニ伴フ所ノ不平不滿ト云フモノハ、中々臺灣ニハ多イノデアリマシテ、ソレカラ致シマシテ、臺灣ト云フモノハ今ニ至リマス迄モ内地人約三十万、領臺以來四十年ニナリマスルノニ約三十万、三十万ノ中ノ過半デヤナイカト思フノデアリマスケレドモ、

是ハ政府ノ役人デアル、政府ノ役人等ヲ除キマスレバ、十五万カ二十万位ノ内地人シカ臺灣ニ行ッテ居ラナイト思フノデアリマス、私ハ臺灣ニ商工移民ヲ假ニ致シマスルト云フト、商工移民ニ付テハ特別ノ保護ヲ講ズル必要ガアルデヤナイカ、滿洲ニ行ッテ居リマスル移民ニ付キマシテハ、特別ノ保護ヲ與ヘテヤッテ居ル、保護デモ與ヘナケレバ滿洲マデ行キハシマセス、是ハ即チ官吏ガ何割カ知ラスケレドモ、俸給ヲ約四割デアルト覺エテ居リマスルガ、四割カノ特別ノ給料ヲ貰ッテ居ル、特別ノ給料ヲ貰ッテ居リマスノデ、臺灣ニ行キマスレバ、ドウシテモ臺灣ニ行ッテ居ル役人ト云フモノハ餘裕ガアル、餘裕ガアルノデ一ツハ臺灣ニ行クノダラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘラレノデアリマスケレドモ、官吏ニソレダケノ保護ガアルニ拘ラズ、日本ノ商工移民、内地人ノ商工移民ニ對シマシテハ、保護ガナイト

云フノハドウ云フ譯デアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、又將來保護ヲスルト云フ意思ガアルカドウカト云フコトニ付テ伺ヒタイノデアリマス

○平塚政府委員 移民ニ對シマシテハ總督府ト致シマシテ相當ノ補助助成ヲ致シテ居ルノデアリマス、農業移民、煙草移民等ニ付キマシテハ色々保護ヲ致シテ居リマスコトハ鈴木サンモ御承知ノ通りデアリマス、商工移民等ニ付キマシテハ、只今總督府ト致シマシテハ別段特別ノ計畫ハナイノデアリマス、アリマセヌガ近來臺灣ノ特殊産業ノ發展ニ伴ヒマシテ、又先刻來大臣ノ御説明ノアリマシタ南支南洋方面ノ資源ヲ臺灣ニ持ッテ參リマシテ、之ニ加工ヲシテ、サウシテ工業ヲ興スト云フヤウナコトニ付キマシテハ、近來著シク伸展ヲ見テ居ルノデアリマス、是ハ電力ノ低廉ナ關係ト、位置ノ宜シキヲ得タガ爲ニ、サウ云フ會社ガ近來興キツツアルノデアリマス、隨テ私共ハ農業等ノ開發ヲ圖ルコトハ申スマデモナイノデアリマスルケレドモ、此際所謂工業臺灣トデモ云フヤウナ意味ニ於テ伸展ヲ致シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、現ニ鈴木委員モ御承知ノ通り、高雄ニ會社ガ出來マシテ、高雄ノ内地人ノ人口ト云フモノハ

昨年千人以上モ増シテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、是ハ會社ノ從業者及ビ會社ニ附隨スル色々ナ商業ヲ營ム者デアリマス、左様ナ次第デアリマスルノデ、高雄ニ限ラズ、基隆ニ於キマシテモ、或ハ臺北附近、臺南、嘉義附近、是等ノ地方ニ於キマシテ相當ノ工業ガ興リマシタガ爲ニ、ソレニ從事スル内地人ガ其地方ニ參リマシテ、地方ノ中堅トナルト云フヤウナ情勢ガ非常ニ著シク増シテ參リマシタ次第デアリマスルカラ、特ニ商工移民ト云フヤウナ意味ニ於テハ考ヘテハ居リマセス、唯豫算ノ上ニ掲ゲテアリマシタ、臺灣ニ於テ高等商業ニ於キマシテ專習科等ヲ設ケマシテ、其處デ專習シタ者ヲ南支、南洋ニ活動サセタイト云フ念願ハ

持ッテ居リマス、サウ云フ豫算ハ取ッテアルノデアリマス、又ヨク今回ノ御協議ノ際ニ於キマシテ、ドウモ内地人ガ非常ニ少イト云フコトヲ申サレマスルガ、少イトハ事實デアリマス、三十万足ラズデアリマス、併シ之ヲ領臺以後ノ内地人ノ人口ノ割合ヲ、本島人ノ人口増加ノ割合ニ比較致シマスルト、決シテ内地人ノ人口増加ガ低イ譯デハナイノデアリマス、此點ハ御諒承ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○鈴木委員 段々御説明デハアリマスルケレドモ、三十万足ラズノ内地人ノ人口ノ申ニ於テ、官吏、公吏及ビ其家族ト云フモノハドウ位ノ割合デアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○平塚政府委員 官吏公吏約三万人位ト考ヘテ居リマスルガ、家族等ノ數ハ調べテ追ッテ申上ゲマス

○鈴木委員 官吏、公吏トヲ合セテ三万人ト致シマスルト、假ニ五人ノ家族ト見マスルナラバ十五万人、残り十五万人ガ本當ノ商工移民デアッテ、此残り十五万人ノ商工移民ト云フモノハ、官吏、公吏ニ依ッテ衣食スル、官吏、公吏ノ特別ノ保護ヲ受ケテ生活ヲシテ居ル、官舎、公舍等ニ出入リ致シマシテ、其處ノ御用商人的ノ仕事ヲシテ居ル者ガ大多數デアリマス、純粹ノ内地人ト云フモノハ極メテ少數デアルト云フコトハ事實デアラウト思フノデス、一體私ハ臺灣ニ於テ内地人ガ増加シテ來テ居ルヤウナ様子ガ見エマスケレドモ、是トデモホンノ少シデアル、毎年臺灣ニ行ク者ガ、臺灣ニ行ッテ而モ失望シテ歸ッテ來ル者ガ甚ダ多イノデアリマス、是ハ臺北ニ於ケル所ノ職業紹介所ノ調ニ依ッテ明デアリマス、斯ノ如キ様子デアリマシテハ、臺灣ハ到底此會社ヲ作リマシテモ、此會社自體ニ依ル所ノ人間ハ

行クカ知レマセスケレドモ、其以外ノ人間ハ到底繁榮スル道理ハナイト思フ、是ニ於テ私ハ商工移民保護ノ必要ガアルト云フコトヲ叫バザルヲ得ナイノデアリマス、商工移民等ニ付テ保護ノ途ヲ講ズルニアラザレバ、私ハ臺灣ト云フモノハ殆ド將來發展ノ見込ガナイ、發展ノ見込ガナイト言ッテハ言過ギデアリマスケレドモ、併シ迎モ現實ノ發展ヲスル見込ハナイモノト思ハザルヲ得ナイノデアリマス、此點ニ關スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○平塚政府委員 先刻約三萬人ト申シマシタガ、ソレハ官公吏ト云フ御質問デアリマシタノデ、サウ申上ゲタ譯デ、本島人モ其中ニ入ッテ居ルコトヲ失念致シタ譯デアリマス、内地人ハ約一萬デアリマス、サウ云フ風ニ訂正ヲ致シテ置キマス、今ノ商工移民ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、先刻モ申上ゲマシタ通り只今考ヘテ居リマセヌガ、商工業ノ發展ヲ圖ッテ、サウシテ臺灣ノ商工業ノ伸展ヲ促サウト云フ考デ、色々ノ方法ニ依ッテ、電力ヲ安クスルナリ、或ハ土地ヲ提供スルナリ、色々便宜ナ方法ヲ與ヘマシテ、從業者ガ臺灣ニ參ッテ、容易ニ仕事ノ出來ルヤウニ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、殊ニ内地人デナケレバ出來

ナイヤウナ仕事ガ工業ニハ多數ゴザイマス、ソレ等ニ付キマシテモ十分注意ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯此會社ガ計畫ヲ致シテ居リマスル目論ミト致シマシテハ、農業移民ニ付テ先刻殖産局長北島政府委員カラ説明セラレマシタヤウナ事ヲ、手近ノ目標トシテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ商工移民等ニ付キマシテハ、御説ハ拜承致シテ置キマス

○鈴木委員 是ダケデ終ルヤウニ致シマシガ、商工移民ノ問題ハ、私は非トモ是ハ保護シテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、農業移民ヲ保護シテ、商工移民ヲ保護シナイト云フコトハ、道理ノ上カラ言ッテモ理窟ガ合ハナイト思フノデアリマスガ、此點ニ付テモ臺灣當局ニ是非御考慮ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ現ニ臺北ニ於ケル都市計畫ノ問題ガアル、是ハ臺灣ニ於テハマダ都市計畫法ト云フノカ令ト云フノカ知リマセスケレドモ、都市計畫ニ關スル法令ガ備ハッテ居ラナイト云フノデアリマス、備ハッテ居ラナイト云フノデアリマスケレドモ、都市計畫ノ實際ノ計畫ト云フモノハ行ハレテ居ッテ、現ニ今ヤ東門町、アノ路線ト云フモノハ改革サレテ居ッテ、而モソレニ伴フ所ノ不平ガ隨分澤

山アリマス、不平ヲ言フ者モ可ナリ筋違ヒノ不平デアルト思ハレル點モアリマスケレドモ、臺灣ニ行ッテ十年、二十年、三十年、四十年モ居リマス者ハ、汗ト膏ニ依ッテ其地位ヲ築上ゲタノデアリマスカラ、其土地ニ對スル所ノ一種ノ未練ノアルノガ尤ト思フニ拘ラズ、是ガ總督府ニ於テ買上ノ値段ト云フモノガ、極メテ意ニ滿タナイモノガアルト云フノデ、盛ニ今運動ヲシテ居ルト聞クノデアリマス、都市計畫法或ハ令ト云フモノガ現在臺灣ニハナイノデアルカ、ナイトスルナラバイツ是ガ出來ルノデアルカ、如何ナル方法ニ依ッテ臺灣都市計畫ト云フモノハ出來テ居ルノデアルカ、御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○平塚政府委員 臺灣ニ於キマシテモ都市ノ改善ハ洵ニ發展ノ狀況カラ見マシテ急務中ノ急務デアルト考ヘテ居リマスノデ、數年前大都市ノ計畫、詰リ市區改正——街區ノ改正デアリマスガ、其一定ノ計畫ヲ立テマシテ、其計畫ニ依ッテ漸次進ミツ、アルヤウナ次第デアリマス、都市計畫令モ只今御話ガアリマシタヤウニ、洵ニ必要デアリマスノデ、只今制定ノ手續進行中デアリマス、速カラズ施行スルコトガ出來ルデアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、隨テ施行後ニ

於キマシテハ都市計畫令ニ基キマシテ補償モ得ラレルト云フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ成ベク早く進行致シタイト考ヘテ居リマス

○鈴木委員 法文ニ付テノコトハ是ダケニ致シマス、他ニ質問致シタイ事ハアリマスケレドモ、留保セヨト云フコトデアリマスカラ留保致シテ置キマス、尙ホ軍部大臣ニ御出席願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ總理大臣ニモ御暇ノ時デ宜シイノデアリマスカラ一寸御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻井委員長 東郷君ハ外務大臣ノ御出席ヲ御要求ニナッテ居リマスガ、今要求致シタ所、樞密院ニ行ッテ居ラレルヤウデ間ニ合ハナイヤウデアリマス、外務大臣ニ關スル限リヲ除イテ御質問ニナリマスカ、ソレトモ次回ニ御延バシニナリマスカ

○東郷委員 外務大臣關係デナイコトダケ質問致シマス、其方ガ都合イヤウデアリマスカラ、外務大臣關係ハ後ニ保留致シテ置キマス

〔委員長退席、木下委員長代理著席〕
此法案ハ資本總額僅ニ三千万圓ノ小サナ會社デアリマスケレドモ、其目的、使命カラ云ヘバ、臺灣竝ニ南支、南洋ニ關スル拓殖、廣義ニ於ケル拓殖關係ノ仕事ヲシヨウト云

フノデアリマスカラ、極メテ重大ナ法案デアルト考ヘマス、私モ此意味ニ於キマシテ成ベク他ノ同僚諸君ノ御質疑ト重複シナイ範圍ニ於テ少シバカリ御尋シタイト考ヘマス

第一ニ臺灣拓殖ト云フモノヲ作リタイト云フヤウナ企テヲシテ居タヤウナハ、最近ニ始マツタコトデハナク、私達ガ臺灣在職當時、十數年前以來時々目論ミガサレテ居リマス、而シテ其内容ハ此法案ニモアルヤウニ、臺灣總督府ノ持ッテ居ル官租地ヲ獲得スル、サウシテ拓殖事業ヲシヨウ、斯ウ云ツタ計畫デアッタノデアリマスガ、私共ハ其當時臺灣總督府ノ農政ノ事務ヲ擔任シ、又南支、南洋ニ關スル施設ノ事務ヲ擔任シマシタ立場カラ見マシテ、色々ノ點ニ於テ疑問ヲ持ッテ居リマス、サウ云フモノノ制定ハ必シモ必要デハナイ、殊ニ南支、南洋ニ對スル國策ノ遂行ヲスルト云ツタヤウナ重大ナ使命ヲ持ッテ居ル會社ト致シテハ、モット大キナ規模デヤラナケレバイケナイ、使命徒ニ大キクシテ力之ニ足ラザルヤウナモノヲ作ッテ、サウ云フ發展シ掛ツタ、南方ノ平和的ナ經濟的ナ吾々同胞ノ發展ヲ阻止スルヤウナ結果ニナツテハイケナイト云フヤウナ意味デ、ドチラカト云フト反對ノ意見ヲ持

續シテ參ッテ居ッタ一人デアリマス

〔木下委員長代理退席、委員長復席〕

サウ云フ立場カラ今現レタ此會社ノ内容ヲ見ルト、何等ノ進展モシテ居ナイ譯デ、實ハ失望致シテ居ルノデアリマスガ、先程木下君カラモモット大キナモノデナケレバ目的ヲ達セスデヤナイカト云フヤウナ御趣旨ノ御質問ガアッタト思ヒマスルシ、ソレニ對スル拓務大臣ノ御答辯モアリマシタカラ、私此點ニ以上申上ゲマセヌガ、サウ云フ感じガシテナリマセヌ、ソコデ一千五百万圓ニ相當スル官租地ヲ政府ガ此會社ニ提供スル譯デスガ、併シ昨日來ノ質問應答ヲ拜聽致シマシテモ、是ハ唯現在總督府ノ持ッテ居ルモノヲ此會社ニ提供シテ、此會社ガ總督府ニ代ッテ小作料所謂官租ヲ取立テ、行クト云フコト以外ニ、何等變化ガナイヤウニ思フノデス、ソレダケノコトヲドウシテモ會社ヲ作ッテシナケレバナラヌ理由ガ何處ニ在ルカ、總督府自ラ官租ヲ取ッテ居ル現狀ヨリモ、此會社ニ移シタナラバ、色々ノ意味ニ於テ是ガ改善サレルト云フヤウナ御目論見ガアルノデアリマスカドウカ、他ノ諸君ガ或ハ御尋ニナツタカモ知レマセヌガ、此點ガ極メテ大切ナル事デスカラ、モウ少シソレヲ御説明ヲ願ヒタイト存ジマス

○永田國務大臣 只今ノ御質問ニ付テモツト大キイ規模デアルノデナクテハナラヌト云フコトニ付テハ、今マデノ答辯デハ物足ラナイト云フコトデアリマシタガ、是ハ先刻モ申上ゲマシタ通りト御承知ヲ願ヒタイ

ノデアリマスガ、現在ノ官租地ヲ民間ノ此會社ニ移シテモ何ニモナラヌデヤナイカト云フ御話ガアリマスガ、是ハ民間ニ移シテ會社ヲシテ實際ノ經營ニ當ラシメテ小作ニヤラシメルト云フ點ニ付テハ、ソレ程取立テテ申上ゲルヤウナ變化ハナイト思ヒマスガ、會社トシテハ土地ノ改善、開墾ヲ拓事業、サウ云ツタヤウナ官業トシテヤルコトヲ欲セナイ事ヲ、此民間ノ會社ニ移シテヤラシメルノデアリマスカラ、干拓ノ方ニ於キマシテモ、色々此會社トシテ新ニ爲シテ行クコトガ出來ルノデアリマス、ソレカラ此會社ノ設立ノ爲ニ、官租地ヲ提供スル爲ニ主タル財源ヲ得テ、サウシテ南方ニ發展スル一ツノ會社、其會社ヲ安定セシメ、鞏固ナラシメテ、南方ニ對スル施設ノ財源ヲ得ル確實性ヲ與ヘルト云フコトヲ主タル目的トシテ出來タ會社デアリマシテ、ドウシテモ是ノ出資ヲ必要トシテ居ルノデアリマス、ソレデスカラ其目的以外ノ臺灣島内ノ事ニ關係シマシテモ、此會社トシテハ、種々

ノ開墾ナリ干拓ナリヲ續ケテヤリ、又土地ノ改良モ會社トシテヤルト云フコトハ、官業ノ儘デ放ッテ置クヨリハ、自然ニ改善ヲ加ヘラレテ行クコトト信ジテ居リマス

○東郷委員 ソレデハ御同致シマスガ、此官租地ノ面積一万八千甲ト云フノハ、私大體既墾地デアルト存ジテ居リマスガ、是ハ未墾地モ入ッテ居リマスガ、今大臣ノ仰シヤルヤウニ、開墾トカ干拓トカスルト云フ御話デアリマシタガ、其點ガドウナッテ居リマスカ

○北島政府委員 此一万八千甲歩ノ官租地ハ御話ノ通りニ大體既墾地デアリマス、唯大臣ガ今申上ゲラレマシタノハ、恐ラク既墾地タル官租地ニ對シテモ或ル程度改良施設ヲ講ジ、又何カ必要ナ施設ヲ講ジテ、現在既墾地ニハナッテ居リマスガ、更ニ一層改善シ得ルト云フコトデ其意味デ申サレタト思ヒマス、ソレ以外ニ又所謂出資財産ニハ多分入レナイ積リデ居リマスガ、未墾地ノ開墾、或ハ干拓ト云フヤウナ事業ハ併セテ官租地ヲ離レテ別箇ニ經營スル積リデアリマス

○東郷委員 ソレデ分リマシタ、要スルニ先程大臣ノ仰シヤルヤウニ、此官租地一万八千甲ヲ出資スルト云フコトガ、會社ノ基礎ヲ確實ニスルト云フコトガ私ハ主目的デ

アラウト思フノデス、唯ソレダケデヤナイ、其上デ土地ノ改良トカ、或ハ指導トカ云フヤウナコトヲオヤリニナルデセウガ、ソレハ總督府ガヤラレバヤレナイコトハアリマセスガ、今ヤッテ居ナイト思ヒマスガ、ソレデスカラ必シモ其意味デハ會社ニ移ス必要ハナイト存ジマス、ソレ故ニ是ハ會社ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル目的ガ主ナリト私ハ解釋シテ置キマス

フコトト、人口ノ増加ニ伴フ土地ノ要求ガアルノデアリマスカラ、ソレト衝突シハシナイカ、其點ハ御考ヘニナッテ居ルカドウカ承リタイト思ヒマス

ソコデ其次ニ御伺致シマスノハ事業デアリマスガ、只今政府委員ヨリモ御話ノアリマシヤウニ、此干拓トガ開墾ト云フ仕事ガアル譯デアリマスガ、御示シニナツタ資料カラ言ッテモ、未墾地ガ十五万町歩位シカナイ譯デアリマス、臺灣ハ御承知ノ通り目下開ケテ居テ未墾地ハ甚ダ少イ、然ルニ人口ハドシ／＼殖エテ居ル、今ヤ五百万ノ人口ヲ包容シテ居ル、非常ナ勢デ人口モ殖エテ居リマスノデアリマスカラ、ソレ等ノ自然ニ殖エテ行ク人口ニ依ッテ未墾地ハ或ル特殊ナモノヲ除ク以外ハ、開墾ガ出來ルト思フノデス、又サウ云フモノニ新シク開墾スベキ土地ヲ充ガハナクテハナラナイト私ハ思フノデアリマス、デスカラソレト兩立致シマスカドウカ、斯ウ云フ會社ガ未墾地ヲ澤山取得シテ、ソレヲ自ラ開墾スルト云

○北島政府委員 只今御話ノ通りニ、官有ノ未墾地ガ約十七万餘町歩ゴザイマシテ、此會社ト致シマシテハ、其中大體二万町歩ヲ約十年間ニ開墾スル豫定ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此官有未墾地ノ開墾ト云フコトハ、御話ノ通りニ此會社ノミデア

ルト云フコトハ、色々ナ關係上不適當デモアリマスルシ、場合ニ依ッテハ一般ノ民間ニ拂下ゲテ開墾スルト云フコトモ當然考ヘテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ又此會社デ開墾致シマシタ土地ニ付キマシテモ、今ノ御話ノ將來人口ノ増加ニ備フル爲ニ、場合ニ依ッテハ此會社トシテ分譲スルト云フコトモ當然考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ御話ノ人口増加ト農家ノ耕作面積トノ關係ニ付キマシテハ、十分考ヘテ居ル積リデアリマス

○東郷委員 モウ一ツ此開墾ノコトニ付テ御伺致シマスガ、干拓事業ハ是ハ大キナ事業デスカラ、會社自ラオヤリニナルガラウト思ヒマスガ、其外ノ開墾事業、此資料ニアリマスル十年間ニ二万町歩豫定ダト書イ

デアリマス、斯ウ云フノハ會社ガ直營デ開墾サレル譯デアリマスカ、或ハ其土地ニ勞働者ヲ入レテ、サウシテ開墾サレルノカ、直營ナリヤ、或ハ請負ナリヤ、或ハ百姓ヲ初カラ入レテ開墾サセルカト云フコトデス

依ッテ、不利益ナ立場ニ遭遇シタ場合ニ、之ニ代ルベキ作物トシテ棉花ノ研究ヲシテ置カナケレバナラス、而シテ棉花ノ研究ハ續イテ來テ居ッタ、今日モ續ケラレタ結果、相當ナ成績ガ舉ゲラレテ居ルト云フコトヲ聽イテ居リマスケレドモ、果シテ是ガ新シイ會社ノ營利的ナ栽培作物トシテ適當カドウカ、確信ガアルカドウカ、是ガ栽培作物トシテ確信ノアル作物マデ今日來テ居レバ喜ブベキコトデアリマスガ、多少ノ懸念ガアリマスカラ、此點ヲ御伺致シテ置キタイ

○東郷委員 ソレデハ仕事ノ問題ヲ一寸

○北島政府委員 此棉花ニ付キマシテハ、

……此農作物ノ栽培ノ問題デスガ、十年間ニ約四千五百町歩ノ土地ヲ拂下ゲテ、芋麻、棉花ノ栽培、ソレカラ山地ノ茶園ノ經營ヲスル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソコデ茶ノ問題ハ既ニ他ノ會社等ニ於テモ體驗ガアリマスルカラ、是ハ問題ナイト思ヒマスガ、御經營ニナッテ相當ナ成績ガ舉ルト思ヒマス、芋麻モ古クカラノ作物デスカラ、是モ相當ナ成績ヲ舉ゲ得ルノデハナイカト存ジマスルガ、棉花ノ栽培ニナルト、相當ナ是ハマダ研究ノ餘地ガアルヤウニ思フノデス、古イ話ヲ申上ゲテ恐縮デスケレドモ、私共ガ其局ニ當ッテ居ル時分ニ、棉花ノ栽培ハ臺灣ニ不適當ダト云フ強イ反對意見モアッタノデスケレドモ、兎モ角モ米ナリ、砂糖ナリ、茶ナリ、其他ノ臺灣ノ主作物ガ、將來經濟界ノ變動其他特殊ノ事情ニ

吾々素人ガ東郷サンニ申上ゲルノハ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、過去ニ於キマシテハ臺灣ト致シマシテ嘗テ棉花ヲヤリマシテ、其結果ハ失敗ニ終ッタト云フコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、然ルニ最近臺南州ノ農事試驗場其外ニ於テ數年來色々栽培ノ試驗ヲ行ヒマスシ、又農林ノ方ニモ實地ニ色々ヤラシタ其經過カラ見マスルト、餘程收支モ償フヤウナ狀態ニナッテ參ッタノデアリマス、ソレデ此事業ヲ經營シマシテモ、非常ニ大規模ニ經營スルト云フコトハ是ハマダ餘程危險ダト思ヒマスガ、差當リ十年間ニ約千町歩ヲ順次擴張シテ行ク、千町歩見當ノ棉花ヲヤラシテ、サウシテ其結果ガ好ケレ

パ勿論大イニモットヤラサナケレバナリマ

セヌガ、多少試験的ノ意味モゴザイマス

ガ、斯ウ云フ特殊會社ヲ拵ヘタ以上ハ、斯

ウ云フモノヲ實際ヤルト云フコトハ、現在

ノ米穀關係カラ申シマシテモ、或ハ其他ノ

棉花ノ需給關係カラ申シマシテモ、所謂國

策ノ遂行ト云フ意味ノ見地カラ申シマシテ

モ、或ル程度ヤラセルノガ適當デヤナイ

カ、而モ會社ノ收支ト致シマシテモ非常ニ

儲カルト云フコトハ豫想出來マセヌガ、或

ル程度ノ採算ハ取り得ルト考ヘテ居リマ

ス

○東郷委員 斯ウ云フ特殊ナ作物ヲ栽培サ

レルト同時ニ「棉花、黃麻、苧麻等特殊農

作物ノ買取販賣ヲ合併セ行フ」斯ウ書イテ

アリマス、黃麻ガ茲ニ出デ居リマスガ、黃

麻ハ唯之ヲ買取テ販賣サレルダケノ作物

ニナツテ居ッテ、栽培ノ方ニ載ッテ居リマセ

スガ、或ハ是ハ落チタノカモ知レマセヌガ、

會社ノ安全ナ作物ト云フ點カラ考ヘマスレ

バ、棉花ヲ栽培ニナルヨリハ、長イ間經驗

ノアル黃麻ヲ栽培サレルト云フコトガ適當

ト思フ、現ニ製麻會社等ガ最近臺南邊リニ

モ亦出來タト云フ話モ聞イテ居リマスル

シ、纖維工業ノ上ニ於テ黃麻ノ栽培ハ非常

ニ適切ト思フノデスガ、ドウ御考ニナリマ

スカ

○北島政府委員 御尤ノ御尋デゴザイマス

ガ、黃麻ハ只今御話ノ通りニ普通ノ民間ノ

方デ現在既ニ相當見込モゴザイマスシ、自

然ニ放任シテ置イテモ或ル程度ハ經營ノ出

來ルヤウナモノハ、強ヒテ此會社デヤラナ

クテモ、別途民間ニ對スル政府ノ獎勵其外

ノ方法ニ依ッテヤルコトニ致シマシテ、唯買

取販賣ノヤウナ、サウ云フ方面ノコトノミ

ヲ此會社ヲシテヤラシタラドウカト云フ考

デアリマス

○東郷委員 サウシマストソレハ分リマシ

タガ、此苧麻トカ棉花トカ云ツタヤウナ作物

ノ栽培ハ、會社ノ直營デオヤリニナル譯デ

スカ、民間ニ獎勵金ヲヤッテ栽培サセルト云

フ御考ハアリマセヌカ

○北島政府委員 苧麻ニ付キマシテハ現在

デモ御承知ノ通りニ米作ノ收穫ヲ出來ルダ

ケ少クシヨウト云フ積リデ、所謂代作獎勵

ノ趣旨デ補助金ヲ交付致シマシテ居リマ

ス、併シ經驗ガ足ラナイセイモアリマセウ

ガ、或ハ又米價トノ關係モゴザイマセウガ、

放任シテ置キマス中々困難ナ事業デゴザ

イマスルノデ、ソレデ今ノヤウニ補助金ヲ

出シテ態々代作ノ獎勵ヲシテ居リマスガ、此

會社ガ出來マスレバ、ヤハリ多少採算ノ點

ハ、勿論有利ナ事業デハゴザイマセヌガ、

斯ウ云フ會社ニ或ル程度ヤラシテ見タイト

云フ積リデアリマス

○東郷委員 其次ニ移民ノ問題ヲ一寸御伺

致シマスガ、移民ニ關シテハ他ノ諸君カラ

色々御尋ガアリマシタガ、私尙ホ分ラヌ點

ガゴザイマスカラ御尋致シマス、先程臺灣

ト云ハズ、日本ノ外地ニ對スル移民ヲドウ

云フ程度マデ入レルカト云フコトノ數

的計畫ヲ御尋サレタ方ガアッタニ對シテ、サ

ウ云フモノハナイト云フ御話デアリマス、

更ニ臺灣ニ對シテ内地人ヲドウ位將來入レ

得ル計畫ガアルカト云フコトニ對シテモ、

ソレハナイ、斯ウ云フヤウナ御話ノヤウニ

拜聽致シマシタ、私達ヲシテ言ハシメレバ、

臺灣ニハ内地移民ヲ入レル餘地ハ餘リナ

イ、其臺灣ニ内地移民ヲ行フト云フコトニ

付キマシテハ、是ハ特殊ノ使命ガナケレバ

ナラヌ等ナノデス、ソコデ今回農業移民ヲ

此會社デ御經營ニナルニ付テハ、何ノ目的

デ内地移民ヲヤラレルカト云フコトヲ先ヅ

第一ニ御伺致シテ置カナケレバナラス

○北島政府委員 此會社トシテ實行致シマ

スル移民ハ、先程申上ゲマシタ通りニ、大

體一万七千人、面積ニ致シマシテ一万七千

甲歩バカリノ豫定デゴザイマスガ、移民ノ

コトニ付キマシテハ先程總務長官カラモ申

上ゲマシタ通りニ、現在官營移民トシテ方

方ニ移民ヲヤッテ居リマス、此會社ガ出來マ

シタ以上ハ、一切ノ經費ヲ此會社ニ補助致

シマシテ、所謂官營ノ代リニ此會社ニ代行

シテ貰フト云フ趣旨ヲ以テ、此會社ニ移民

事業ヲヤラセヨウ、此會社トシテハ、所謂

營利ノ事業トシテ移民事業ヲ經營スルノデ

ハナク、總督府ニ代ッテ、國ニ代ッテ、移民事

業ヲ經營シヨウト云フ豫定ニナツテ居リマ

ス

○東郷委員 拓務當局ニ斯ウ云フコトヲ申

上ゲテハ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌ

ガ、異民族ノ内ニ對スル移民事業ハ非常ニ

困難ナ仕事ダト思ヒマス、是ハ内外其例ガ

多イノデス、ソコデ總督府ガ先年特ニアノ

交通ノ不便ナ、色々ノ條件ニ於テ移民地ト

シテ條件ノ惡イ東海岸ニ、官營移民ヲ經營

シタノニハ大キナ目的ガアッタト思ヒマス、

私營移民ハ——臺灣當局ニ斯ウ云フコトヲ

申上ゲテ恐縮デスケレドモ、最初西海岸ニ

於テ私營移民ガ行ハレテ、大失敗ヲシタ、

又東海岸ニ於テモ、此資料ノ中ニモアルヤ

ウニ、臺東附近ニ製糖會社等ガ私營移民ヲ

ヤッタガ巧ク行カナイ、ソコデ官營移民デ

行カナケレバナラスト云フ主張ガ容レラレ

テ、實ハ私が自ら調査ニ行ッテ、其報告ニ依ッテ、初メテ官營移民ハ明治四十三年カラ始ッテ譯デスガ、中々移民事業ハ困難ナノデス、自分達ガ其局ニ當ッテ見テモ……併シ

ダラウカ、私多少疑問ガアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

困難ナ仕事デモ之ヲヤラナケレバナラス理由ガアルカラヤッテ來タ譯デスガ、ソレガ

○平塚政府委員 先刻北島政府委員カラ説明セラレマシタ通り、先ヅ大體ニ於テ總督府ガ計畫ヲ致シテ居リマス其移民ノ計畫ヲ

途中デ官營移民ガ廢マッテ、御承知ノ通り臺東開拓會社ニ補助金ヲヤッテ、私營移民ヲヤ

會社ヲシテヤラセル、ソレハ豫定地或ハ收容ノ力、其他色々經濟關係等ヲ調べマシテ、

ルコトニ變更サレタ、其後ノ成績ハ、此御報告ヲ拜見シテモ餘リ進展シテ居ナイ、ソ

先刻説明セラレマシタ通りノ程度ニ於テ此會社ヲシテヤラセヨウト云フノデアリマ

メニナツタ、其成績ガ非常ニ好イト聞イテ居リマス、今御話ノヤウニ、移民事業ハ營利

ニ經營ヲサセルコトハ尙ホ一層有利ニ地方ノ開發ガ出來ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、

ノ目的ニハ適シナイ、是ハモウ世界歴史ニ其實例ガ多イノデス、臺灣デモヤハリサウ

又移民ノ仕事モ尙ホ一層有效ニ進展セシムルコトガ出來ルダラウ、斯ウ考ヘテ居ルヤ

云ツタヤウナ成績ヲ舉ゲテ居ル譯デスガ、ソコデ官營移民デ現在相當ナ成績ヲ舉ゲテ居

ウナ譯デアリマス

ラレルナラバ、何モ之ヲ會社ニ移シテ、私營移民トシテ、オヤリニナル必要ハナイノ

○東郷委員 御計畫ハ分リマシタガ、尙ホ疑問ガアリマスカラ御尋致シマス、先程申

デハナイカ、補助金デモヤラレルノカ、或ハ現在ノ臺灣總督府ガヤッテ居ル官營移民

上ゲマシタヤウニ、移民事業ハ會社トシテノ經營デハ經濟的カラ言ヘバ中々困難ナ仕

ノ經費ソックリヲ此會社ニヤッテ、補助金ノ意味デナク、費用全部ヲヤッテ、サウシテ總督

事デアル、ソレ故ニ外國アタリニ於ケル斯ウ云ツタヤウナ趣旨ノ會社ハ、皆行詰ッタ例

府ニ代ッテ此事業ヲヤラセルト云フコトノヤウニ窺ハレマスガ、ソレ程マデシテモ、

ガ非常ニ多イノデス、我が日本ニ於テモ、東拓アタリガ最初大イニ内地移民ヲヤル計

此會社ニ移民事業ヲヤラセル必要ガアルノ

畫デアッタノニ、中々巧ク行カナイト云ツタ

ヤウナ實例モアリマス、國ガ自ら官營移民

ヲヤッテ都合ノ惡イヤウナ地域ニ對シテハ、ソレハ國ニ代ルベキ特殊ナ會社等ニ移民事

業ヲヤラセルコトモ適切デアリマセウ、或ハ滿洲國等ニ對スル移民事業ノ如キハ、是

ハ會社ニヤラセテ政府ガ助力ヲスルト云フコトガ必要デアリマスケレドモ、臺灣ノ如

キ地域ニ於テ餘リ内地人ヲ入レル餘地モナイヤウナ處ニ、態々總督府ガ今官營デ立派

ナ成績ヲ舉ゲテ居ルモノヲ、其儘經費ヲ會社ニ移讓シテヤラセル必要ハナイデハナイ

カト思ヒマス、平塚長官ノ言ハレルヤウニ、生産物其他ノ販賣斡旋トカ云ツタヤウナコ

トハ、是ハ又別問題ニナリマスガ、移民事業其モノハドウモ私サウ云フ感じガ致シマ

ス、是ハ併シ私ノ考デスカラ、是レ以上御尋スル必要モナイト存ジマスガ、左様ナ感

ジガシマス、餘程此問題ハ會社經營ノ上ニ於テハ慎重ニ御考慮ニナルコトガ必要デハ

ナイカト思ヒマス

移民ノ問題ノ序ニ御伺シテ置キマスガ、臺灣ハ人口ノ問題カラ言ヘバ私ハ内地ノ移

民ヲ入レル餘地ノ少イ處デアルト考ヘマスガ故ニ、内地移民ハ或ル特殊ナ目的、使命

ノ爲ニ行ハルベキ事業デアルト言ハナケレバナラス、臺灣自體、所謂本島人自體ガ非

常ニ蕃殖力ガ多イノデ、人口ガドン／＼増加シテ居リマスガ、今ニ臺灣其モノガ人口

過剰ヲ懸ヘテ、何處カニ臺灣本島人ヲ移住セシメナケレバナラスヤウナ時期ガ來ハシ

ナイカ、又我國ノ經濟的發展ヲ遂行スル上ニ於テ、サウ云フ政策ヲ執ルコトガ必要デ

アルノデヤナイカ、斯ウ私ハ考ヘマス、此會社ハサウ云フヤウナコトハ御考ヘニナッ

テ居リマスガ、如何デゴザイマスガ

○平塚政府委員 先刻來人口問題ニ關聯致シマシテ臺灣ノ人口ニ付テモ論及セラレタ

ノデアリマス、只今東郷委員ノ御説ハ全ク臺灣ノ實際ノ狀況ヲ御覽ニナツタ結果ノ御

説デアルト拜承致シマスル次第デアリマシテ、内地移民ノ適當ナ場所ト云フモノハ、

面積ノ割合ニ比較致シマシテ餘リ多クハナイノデアリマス、併シ尙ホ一層山地ノ開發

ヲ圖ルト云フヤウナコトニ相成リマスレバ、氣候、風土等カラ考ヘマシテ内地ノ人

ガ移住ヲシ、事業ヲ計畫スルニ適當デアラウト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、本

島人ヲ他ノ方面ニ移民ヲセシムルコトハドウカト云フ結局ノ問題デアリマスルガ、是

ハ臺灣ノ人口ノ政策ノ上カラ考ヘマスルト、又現在内地ノ各府縣ト臺灣ノ人口ノ稀

薄ノ程度トモ比較致シマスルト、早晚サウ

云フ必要アル時期ガ到來スルモノデアラウト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、併シソレ等ノ問題ニ付キマシテハ、此會社設立ニ當リマシテ將來ドウスルカト云フコトニ付テハ、十分考慮シテ居ルノデアリマスルガ、考慮ヲ致シテ居ルト云フ點デ一ツ御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス、餘リ詳シク申上ゲテハ如何トモ考ヘマスルノデ、何卒其位デ御承知ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○東郷委員 此會社ガ臺灣島内ダケデナク、南ノ方ニ經濟的ニ仕事ヲスルト云ツタヤウナコトニ本當ニ努力サレル場合ニ於テハ、勞力其他ノ問題カラ考ヘテモ、臺灣本島人ト云フモノヲ其方面ニ活動サセルコトガ一ツノ大キナ要素デハナイカト考ヘマス、故ニ會社經營ノ上ニハ斯ウ云フヤウナコトモ何卒御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ序デスカラ御尋シテ置キマスガ、此移民——十年間ニ集團デ十八箇所ニ二十移民村ヲ建設スルト云フ計畫ニナッテ居リマスガ、是ハ御差支ナケレバ其場所別ニ面積ヲ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、今ハナイデセウカラ、後デ宜シウゴザイマスガ、アレバ御示ヲ願ヒマス

○北島政府委員 是ハ分ッテ居リマスケレ

ドモ、寧ロ讀上ゲテモドウカト思ヒマスカラ、寫シヲ取ッテ差上ゲルコトニ致シマス

○東郷委員 ドウゾ御願致シマス——此會社ノ使命ガ臺灣島内及ビ南支南洋ノ拓殖資金ヲ融通スルコトニナッテ居ルノデスガ、サウシマス——或ハ他ノ諸君カラ御聽キニナツタカモ知レマセヌガ、臺灣ニ於テハ特殊銀行トシテ臺灣銀行ガアリ、又是ト相連絡シテ南支、南洋ニ於テ資金融通ノ目的ヲ持ツ華南銀行ガ現ニアル譯デスガ、是等ノ金融機關ト此會社トノ關係ハ將來ドウナリマセウカ、一寸ソレモ伺ッテ置キマス

○平塚政府委員 華南銀行トノ關係ニ於キマシテハ別段交渉ハナイノデアリマシテ、全ク別モノデゴザイマス、華南銀行ハ華南銀行トシテ經營ヲ致シ、助成ヲ致シテアリマスモノハ從來ノ方針ニ依ッテ進ム積リデアリマス、他ノ金融ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテハ、臺灣銀行ト華南銀行トノ使命モアリマスルガ、ソレ等ノ衝突ノナイヤウニ十分協調シテアル考デ居リマス、當業者トモ連絡ヲ付ケテ居ルヤウナ次第デアリマス

○東郷委員 其次ハ此會社ノ監督ニ關スル問題デスガ、是ハ本會議ニ於テモ質疑應答ガアリ、又委員會ニ於テモ繰返サレタコト

ト思ヒマスガ、重複ノ嫌ヒガアリマスケレドモ御尋致シマス、拓務大臣ハ本會議ノ質疑ニ對シテ臺灣島内ノコトハ臺灣總督、海外ニ於ケルコトハ拓務大臣ガ大體ニ於テ監督スル方針ダ、斯ウ云フ御答辯ダツタト思ヒマスガ、是ハ實際問題トシテ非常ニ難シイコトデヤナイカト思フノデス、此會社ガ臺灣島内及ビ南支南洋等ニ色々ノ仕事ヲスルノデスカラ、ドウモ此部分ダケハ臺灣總督、是カラ先ハ拓務大臣ト云ツタヤウナ監督ノ仕方ハ餘程困難デヤナイカ、又事實サウ云フ風ナヤリ方ヲシテ行ツタナラバ、ソコニ非常ナル混亂ヲ來シヤシナイカ、是ハヤハリ第一次の監督機關トシテハ臺灣總督、而シテ第二次監督機關トシテハ拓務大臣、斯ウ云フコトニシテ行カレテ何處ニ不便ガアルノダラウカ、斯ウ考ヘマス、例ヘバ東拓ノ監督權ガ拓務大臣ニアルカラ、臺灣拓殖モ同様ナ會社ダカラ、拓務大臣ガアルノダト云ツタヤウナ議論モ立チ得ルコトダト思ヒマスケレドモ、言フマデモナク東拓ハ東京ニ本店ヲ持ッテ居リマス、併シ今度出來ルト云フ臺灣拓殖會社ハ臺北ニ本店ヲ置クト云フコトニナッテ居リマス、サウスルト本店ノアル地元ノ臺灣總督ガ一次的ニ之ヲ監督シテ、サウシテ總督ヲ更ニ監督

督ヲシテ居ル拓務大臣ガ之ヲ監督シテ行ク、斯ウ云フコトニ問題ハナイノデヤナイカト私ハ思ヒマス、臺灣總督府ノ官制ヲ見マシテモ第三條ニ「總督ハ拓務大臣ノ監督ヲ承ケ諸般ノ政務ヲ統理ス」ト斯ウハッキリ書イテアリマス、臺灣總督ハ拓務大臣ノ監督ヲ受ケ諸般ノ政務ヲ統理シテ居ラレルノデスカラ、此拓務諸會社ノ事務モ臺灣總督ガ統括シテ居レバ問題ハナイト思フ、サウ云フコトデナイト、或ル部分ハ總督、或ル部分ハ拓務大臣ト云ッテ之ヲ御分チニナルコトハヤカマシクナル、統治ヲスル上カラ言ッテモ、是ハ適當デヤナイノデヤナイカト考ヘマス、實際問題トシテ總督、ソレニ拓務大臣ト懇談ヲシテ、サウシテ行カレレバソレデ立派ニ行クノデヤナイカ、餘リ拓務大臣ガ細カイ事務的ノ事マデサウ喙ヲ容レラレルヨリハ、容レラレヌデ總括シテ行カレル方ガ、斯ウ云フ大キナ會社トシテハ却テ成績ガ好イノデヤナイカ、斯ウ云フ感ジガ致シマス、御差支ナケレバ拓務大臣モ一應御説明ヲ願ヒマス

○永田國務大臣 此前モ申上ゲタカト存ジマスガ、監督ノコトハ——斯ウ云フ拓殖ニ關スル、臺灣島内ノ拓殖ニ關スルコトハ、

ドウシテモ臺灣總督ヲ監督スルト云フコト
ガ事實ニ於テ宜カラウト思フノデアリマ
ス、唯對外的ノ海外ニ於ケル事柄ニ付キマ
シテハ、此方ニ於テモ種々外務省ヤ其他ノ
方面カラモ色々ト註文ガアリマシテ、其間
ノ種々ノ折衝ヲ要スルコトガ多イト考ヘラ
レルノデ、ソレデ萬事臺灣總督ニ委セテヤ
ラスト云フヨリモ、ヤハリ臺灣總督ノ意見
ヲ聽ク場合ガ多イノグラウト思ヒマスガ、
コチヲノ方デ直接ニヤル方ガ便宜デアラ
ウ、斯ウ云フ積リデ海外ニ於ケルモノハ直
接ニ監督スルト云フ目安デ勅令ヲ作ル考デ
居ルノデアリマス

○東郷委員 其點ハ極メテ大切ナ問題ト思
ヒマスガ、私先程申上ゲタヤウナ意味ガ一
番宜イデヤナイカト思ヒマスガ、尙ホ一ツ御
考慮ヲ願ッテ置キマス、尙ホ私ハ南洋方面ノ
コトヲ少シ承リタイノデスケレドモ、外務
大臣御出席ノ上ノ方ガ私ハ宜イト思ヒマス
ノデ、是ハ保留致シテ置キマシテ、次ノ機
會ニ大臣ニ對シテ發言ヲ御許ヲ願ヒマス

○櫻井委員長 一寸此場合政府當局ニ願ッ
テ置キタイト思フノデスガ、先刻宮古君ノ
御質問ノ中、樺太、朝鮮、臺灣等、外地ニ
對シテ將來ノ位人口ガ入り得ルカト云フ
コトニ對シテ當局ハ御答ガナカッタノデア

リマス、是ハ成程突込シテ話ヲシヨウトシ
マスレバ、外國ハ關係スルコトモアリマス
ルシ、又異民族ニ關係スル點モアリマスル
カラ、極メテ「デリケート」ナ所ガアリマス
シ、或ハ御避ケニナッテ居ル點モアルカモ
知レマセヌガ、併ナガラ是ハ拓務行政ノ上
ニヤハリ最重要ナ基本トナルベキ問題デ
ナイカト思フノデアリマス、人口問題ノ豫
想ハ是ハ困難ナコトハ勿論デアリマス、生
活ノ條件ト、産業經濟ノ條件ト、生活標準
ト云フモノトヲ照シ合セテ考ヘナケレバナ
ラスノデアリマスカラ、ソレニ外國ノ事情
ガ加ッテ行キマスカラ、始終動イテ居ル問題
ニ對シテ見込ヲ立テルト云フコトハ困難デ
アルコトハ勿論デアリマス、併ナガラ私
ハ全然立タナイコトハナカラウト思フ、例
ヘバ北海道ノ二十箇年計畫、是ハ詳シイ數
字ハ覺エテ居リマセヌガ、總力三百万ノ人
口ヲ約六百万ニスル、生産ハドノ位殖エル、
地域ハドウカ、資源ハドウカ、總テ相當合理
的ニ、少クトモ二十箇年ノ計畫ヲ立テテ、
尙ホ此上ニ三百万ノ人口ヲ入レルト云フ計
畫ガ案ノ内容デナイカト思フ、サウ云フコ
トヲ以テ見マスレバ、樺太ニシマシテモ、
北海道ノ二十年ノ拓殖計畫ヲ先ヅ參考ニシ
テ、樺太ノ資源、現在ノ資源、將來ノ増加

發展スベキ經濟ノ情勢、資源ノ關係等ヲ綜
合シテ考ヘレバ、例ヘバ十年前、二十年先
ハドウト云フ目安ガ立テラレルノデハナイ
カ、之ヲ立テナケレバ本當ノ拓務行政ノ基
本計畫ガ立タナイヤウニ思フ、單リ是ハ外
地バカリデナク、日本ノ内地ノ人口ニ對シ
テモソレヲ想像ヲシテ、ソレカラ拓務大臣
ハ滿洲及ビ南米、南洋ヲ移民ノ目的地トス
ルト言ハレマシタガ、ソレニ對シテモ大凡
何十箇年ニドノ位、ドノ方面ト云フヤウナ
計畫マデモ立テテ、其計畫ニ當嵌メルヤウ
ニシテ行カナケレバ、本當ノ活潑ナ行キ方
ガ出來ナイデヤナイカト思フノデアリマス
ガ、成ベクナラバ一ツ次回マデニ、此宮古
君ノ御質問ニ對シテ、或ル程度ノ御答辯ガ
出來レバ仕合セト思ヒマスガ、ソレモ出來
ナケレバ他ノ機會ニ於テデモ、是ハ議員ト
シテモ將來聽キタイコトデアラウト思ヒマ
スガ、サウ云フ數字モ伺ヘルヤウナコトニ
願ヒタイト云フコトヲ、一ツ希望ヲ申上ゲ
テ置キマス

一寸此場合御諮リヲ致シマスガ、尙ホ臺
灣拓殖會社法案ニ付キマシテノ質疑ガ殘ッテ
居リマス、此質疑ハ今日ハ此程度ニ止メマ
シテ、是ハ次回ニ譲ルコトト致シマシテ、尙
ホ鐵道補助法ノ質疑ガ中途デ留保ニナッテ

居リマス、之ヲ今日片付ケタイト思ヒマス
ガ、御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○櫻井委員長 左様ニ決定致シマス——宮
古君

○宮古委員 極ク簡單デスカラ時間モ澤山
要リマセヌ、一寸御伺シタイノデスガ、鐵
道補助法改正法律案ノ第一條ニ「臺灣總督
ハ臺灣ニ於テ公衆ノ用ニ供スル爲經營スル
私設鐵道ニ對シ該鐵道營業開始ノ日ヨリ十
五年ヲ限リ補助金ヲ交付スルコトヲ得」ト
云フノデスガ、此營業開始ノ日ハ何日デス
カ、之ヲ先ヅ承リタイト思ヒマス

○平塚政府委員 營業ノ開始ハ臺北鐵道株
式會社ハ大正十年ノ一月デアリマス、萬華
ト公館トノ間ガ一月デ、公館ト新店トノ間
ガ三月デアリマス、ソレカラ臺中輕鐵ノ方
ハ營業開始ハ大正十三年八月デアリマス

○宮古委員 ソレハ分リマシタ、補助法デ
補助ヲスルノハ二ツノ會社、即チ臺北鐵道
株式會社ト臺中輕鐵株式會社ト此二ツノ會
社ニ限ルノデアリマスカ

○平塚政府委員 二會社シカゴザイマセヌ

○宮古委員 第十條ニ「本法ハ專用鐵道ヲ
公衆ノ用ニ供スル鐵道ニ變更シタル私設鐵
道及本法施行前營業ヲ開始シタル私設鐵道

ニ之ヲ適用セズ但シ此等ノ私設鐵道ニシテ交通ノ要路ニ當リ軌間三呎六吋以上ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラストアリマスガ、此但書ノ私設鐵道ト云フノハドウ云フモノガアルノデスカ

○平塚政府委員 是ハ但書ニ該當スルモノガ澤山ゴザイマス、製糖會社デヤツテ居リマス軌道ナドモアリマスガ、ソレハ此限リニアラズトシテ除外シテアリマス

○宮古委員 一寸意味ガ分リマセヌガ、補助スルノハ二鐵道ニ限ルト云フノデスカ、然ルニ第十條ニ依ルト但書ノモノハ此限リニアラズダカラ、ヤハリ補助スル鐵道ノ中ニ入ルヤウニ見エルノデスカ、ソレハドウ云フ風ニ調和スルノデスカ

○平塚政府委員 左様デゴザイマス、前ノ説明ハ要領ヲ得ナイ點ガアリマシタガ、此臺北鐵道ガ丁度三呎六吋以上ニナツテ居リマスルノデ、此但書ノ中ニ臺北鐵道ガ入ルノデゴザイマス

○宮古委員 ソレデハ十條ニアル但書ハ、即チ此二鐵道ニ是ガヤハリ入ッテシマフト云フコトニナルノデスカ

○平塚政府委員 臺北鐵道ダケガ入ルコトニナリマス

○宮古委員 左様デゴザイマス、是デ私

ノ質疑ハ終リマシタ

○櫻井委員長 外ニ鐵道ニ關スル御質疑ハアリマセヌデスカ……ソレデハ臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ニ對スル質疑ハ是デ終了ヲ致スコトニ致シタイト思ヒマスガ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○櫻井委員長 ソレデハ御異議ナイモノト認メマシテ、質疑ハ終了ト決定致シマシタ

○川島委員 會期切迫シテ居ル際デアリマスカラ、殊ニ今日ハ午前九時カラ只今マデブツ續ケニ質疑應答ガ重ナラレマシテ、相當ニ質問モ進行ヲ致シマシタシ、次會ダケデ質問ヲ終了スルコトニ致シタイト思フノデアリマス、殊ニ出來ルナラ次會モ午前中位デ質問ガ終ルコトニナリマスレバ、即日各黨ノ黨議ヲ纏メテ、本會議上程ノ運びニモナリ得ルノデアリマスカラ、ドウカ次會ニハサウ云フ御方針ノ下ニ、先程鈴木君並ニ東郷君カラ御要求ニナツテ居ル、總理大臣、軍部大臣、外務大臣ニ開會ノ初メカラシテ御出席ニナルヤウニ、豫メ御通告ヲ願ッテ置キタイト思ッテ居リマス、是ダケ一ツ御諮リ願ヒタイトデアリマス

○櫻井委員長 委員長トシマシテ成ベク川島君ノ御趣旨ノ通りニ致シタイト思ヒマ

スガ、實ハ實際ノコトヲ申シマス、會議ハ

月曜ノ午前九時ニ開キタイト斯ウ云フコトヲ委員課ニ申シマス、其通り參ルコトモアリマスシ、又場所ト速記ノ關係デ、ソレハ御免願ヒタイトカ、或ハ時間ヲ十時カラニ願ヒタイトカ云フコトモ起リ得ル場合ガアルノデアリマス、ソレガ起リマセヌケレバ御趣旨ニ依リマシテ月曜アタリノ午前九時ト云フコトヲ豫定シタイト思ヒマスガ、ソレモ或ハ日曜開會出來レバ日曜ニ繰上ゲルコトニナルカモ知レマセヌ、ソレカラ尙ホ又大臣ハ三大臣、總理大臣、外務大臣、軍部大臣ノ出席要求モアリマス、是モ御要求ヲ滿シマスノニハ、ドウシテモ或ハ午前中片付ケタイト思ヒマシテモ、多少午後ニ互ル場合モアルカモ知レマセヌガ、川島君ノ今ノ御動議ノ御精神ニハ全然御同感デアリマスカラ、成ベク希望ニ副ヒマスコトニシテ、茲ニ御諮ヲ致シテ決定事項マデニハ至ラズニ、一ツ委員長ニ御委セ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○鈴木委員 先刻私ガ軍部大臣ト申上ゲマシタノハ、陸軍大臣、海軍大臣ノコトデアリマスカラ……

○櫻井委員長 ソレデハ次會ノ開會ハ公報ヲ以テ御知ラセヲ致スコトニ致シマシテ、

今日ハ是ニテ散會致シマス
午後五時四十五分散會

昭和十一年五月十五日印刷

昭和十一年五月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社